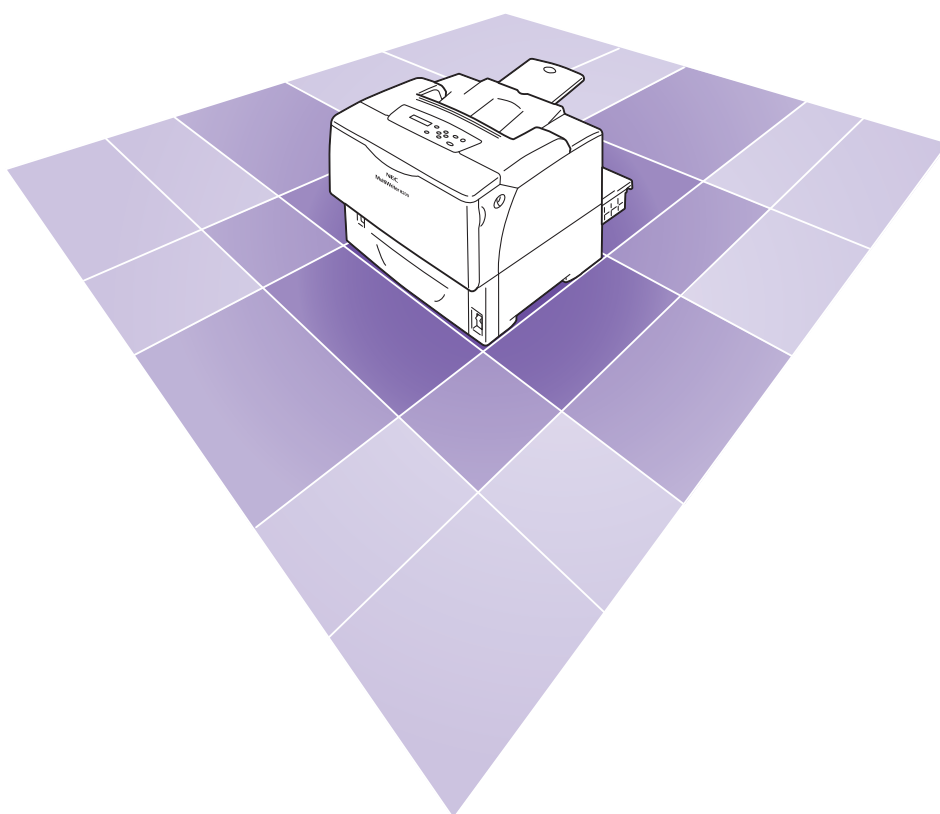
MultiWriter 8450N/8250N/8250 レーザプリンタ

ユーザーズマニュアル

帳票No. DE4371J9-2
部番　604E 45881
2009年11月　　第1版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。
お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

警告
新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、サービス窓口へお問合せください。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「危険」、「警告」、「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
注意	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は、「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の３種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起	注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		爆発するおそれがあることを示します。

	感電のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止	行為の禁止は、「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		

行為の強制	行為の強制は、「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。		アース線を接続してください。感電や発火のおそれがあります。

ライセンスについては、「ライセンスについて」（P. 7）に記載してあります。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

平成明朝体 ™W3、平成角ゴシック体 ™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意
①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
　万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
　また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

目次

はじめに

このたびは MultiWriter 8450N/8250N/8250 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。
製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に必ず本書をお読みのうえ、正しくご利用ください。
本書は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。
本書は、読み終わったあとも、必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。
なお、本書に一部姉妹機 MultiWriter 8500N に類似するイラストを使用している箇所がありますが、姉妹機 MultiWriter 8500N を示してはおりません。

［お願い］保証書は大切に保管してください。

日本電気株式会社

本書で使用している記号

注記：注意すべき事項を記述しています。

ポイント：補足事項を記述しています。

➔：参照先を記述しています。

[ ]：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示される項目を表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。

〈 〉：キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

＞：操作パネルのメニューやCentreWare Internet Servicesのメニューの階層を表します。

また、本書内の画面例、手順例は、OS は Microsoft® Windows® XP、およびアプリケーションはワードパッドを使用しています。

ライセンスについて

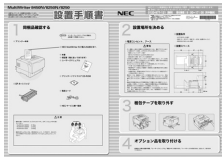
RSA BSAFE について

本機（マルチプロトコル LAN カード（オプション））は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

JPEG コードについて

本プリンターのソフトウエアには、the Independent JPEG Group で作成されたコードの一部を利用しています。

DES 暗号について

This product includes software developed by Eric Young.
(eay@mincom.oz.au)

AES 暗号について

Copyright (c) 2003, Dr Brian Gladman Worcester, UK. All rights reserved.
This product uses published AES software provided by Dr Brian Gladman under BSD licensing terms.

XPS（XML Paper Specification）について

This product may incorporate intellectual property owned by Microsoft Corporation. The terms and conditions upon which Microsoft is licensing such intellectual property may be found at http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=52369.

マニュアル体系

最初に読むマニュアル	プリンター本体の設置	**設置手順書**
	環境設定やプリンタードライバーのインストール	**マニュアル（HTML 文書）** 詳しくは ➔ 30 ページ 「プリンターソフトウエア CD-ROM［**オンラインマニュアル**］に収録」
プリンターを使用中に読むマニュアル	ユーザーズマニュアルで解らないこと、技術情報などについて知りたいと思ったら	**ユーザーズマニュアル** 紹介しきれない内容や、もっと詳しい情報を知りたい ↓ **活用マニュアル (PDF)*1** 詳しくは ➔ 9 ページ 「プリンターソフトウエア CD-ROM［**オンラインマニュアル**］に収録」
	エミュレーションの使い方*2	**各エミュレーション設定ガイド (PDF)*1** 「プリンターソフトウエア CD-ROM［**オンラインマニュアル**］に収録」

*1：PDF マニュアルを見るには、Adobe® Reader® が必要です。

*2：本機搭載のエミュレーション機能（ESC/P、PCL）については、すべての機能を満たすものではありません。

●オプション品同梱マニュアル

本機のオプション品には、取扱説明書が同梱されているものもあります。オプション品の設置手順や、操作方法、ソフトウエアのインストール方法などを説明しています。

活用マニュアル目次（参考にしてください）

安全にお使いいただくために

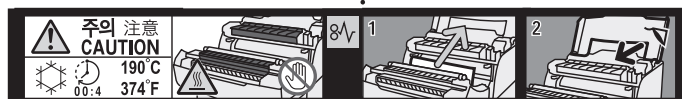
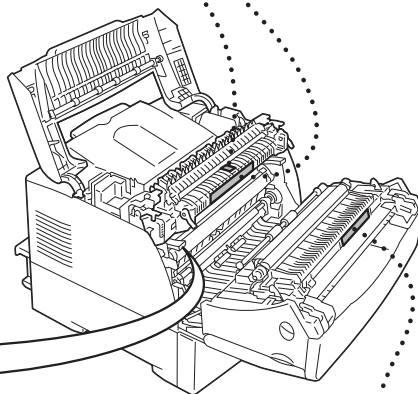
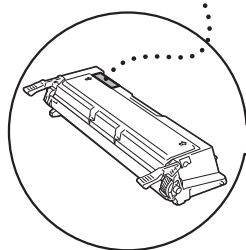
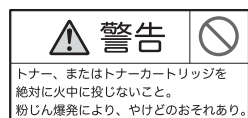
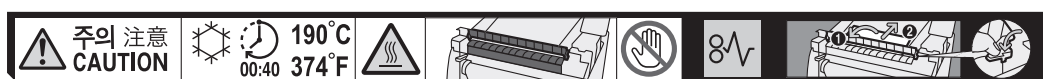
警告ラベルについて

MultiWriter 8450N/8250N/8250 内には、警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。
もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない状態でしたら販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。
特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

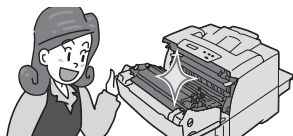
주의 注意
CAUTION
00:40
190°C
374°F

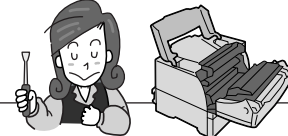
警告
トナー、またはトナーカートリッジを
絶対に火中に投じないこと。
粉じん爆発により、やけどのおそれあり。

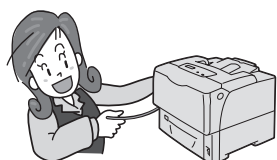
주의 注意
CAUTION
190°C
374°F
1
2

安全上のご注意

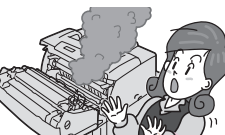
ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

⚠ 警告

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーバー光が目に入ると失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。（レーザー光は目に見えません）。（このプリンターは、IEC60825-1規格に基づくクラス１レーザー製品です。）

分解・修理・改造はしない

マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

プリンターの隙間や通気口に、クリップやホチキスの針など金属類や針金などの異物を差し込まないでください。プリンター内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

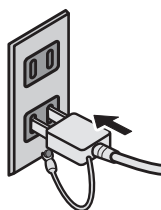
煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音、プリンター外側の発熱、部品の破損などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

電源コードを踏まない

機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

電気を通しやすい紙は使用しない

電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

電源コードのアース線を取り付ける

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

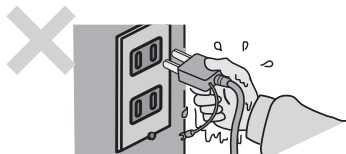
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

カートリッジを火の中に投げ入れない

EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

清掃に指定されたものを使用する

プリンターの性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

添付CD-ROMは対応プレーヤーで使用する

付属のCD-ROMをCD-ROM対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

掃除機でトナーを吸い取らない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固くしぼった布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

⚠ 注意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

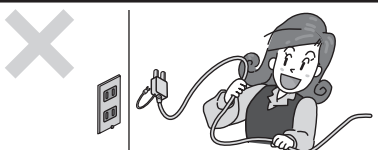
落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがありますが、この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときはすぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

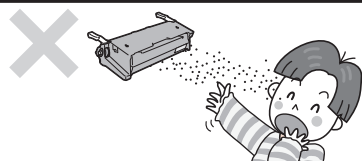
電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

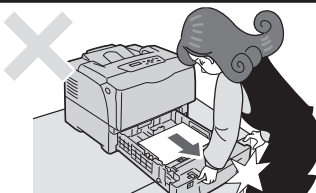
高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。
特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

用紙カセットを勢いよく引き出さない

用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

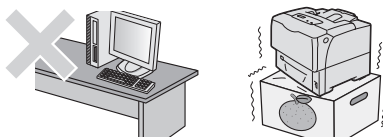
直射日光が当たるところには置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。
以下のような場所には機械を設置しないでください。
- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど

プリンターを運ぶときは2人以上で

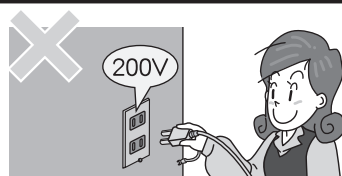
機械の重さ（本体のみ、消耗品を含む）は、次のとおりです。
必ず、2人以上で持ち運んでください。
MultiWriter 8450N　:　21.8kg
MultiWriter 8250N　:　21.8kg
MultiWriter 8250　:　20.8kg

機械を持ち上げるときは、1人は機械正面（操作パネル側）、もう1人は機械背面に向かって立ちます。左右両側の下方にあるくぼみに2人で手をかけ、しっかりと持ってください。
指示した場所以外を持って持ち上げることは、絶対にしないでください。

不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

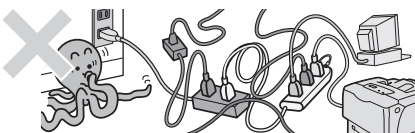
専用電源コード以外は使わない

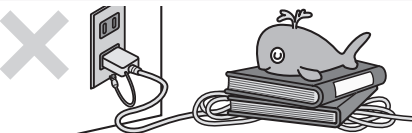
プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

延長コードを使わない

添付の電源コードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

コンセントからプラグを抜き差ししない

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

連休などで長期間、機械を使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
・装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがる場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

添付の電源コードを他の装置や用途に使わない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

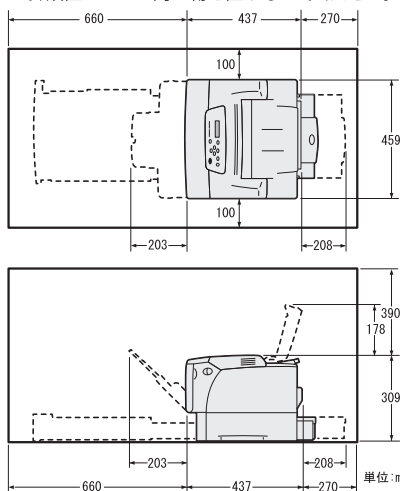
換気や通風を十分行う

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

トナーに触れたり、吸引したり、目や口に入れない

EPカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。
また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

通気口はふさがない

プリンターには通気口があります。プリンターの通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。
プリンターを安全に正しく使用し、プリンターの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、プリンターの異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

電源プラグ/電源コードを点検する

1か月に一度はプリンターの電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。
- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
- 電源コードにきれつや擦り傷などがないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。

プリンターを傾けて設置しない

プリンターを10度以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

専用キャスタ台をご使用の場合防止用ストッパーをロックする

プリンターを設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。
ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

安全スイッチを無効にしない

プリンターの安全スイッチを無効にしないでください。
プリンターの安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。プリンターが作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

結露注意

本機器の使用環境は次のとおりです。
温度：10～32.5℃
湿度：20～80%
ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

環境について

- 回収した EP カートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となった EP カートリッジは適切な処理が必要です。EP カートリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ずお買い求めの販売店、またはサービス窓口にお渡しください。
- 粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマークプリンターの物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しております EP カートリッジを使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法：ビジネス機械・情報システム産業協会（旧日本事務機械工業会）規定の JBMS-66 に準拠した測定方法に基づき試験を実施しました。)

規制について

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合せて障害を防止してください。
- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波対策自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - ❑ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
     これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
   - ❑ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - ❑ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
   - ❑ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
   - ❑ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
   - ❑ 役所または公務員の印影、署名、記名。
   - ❑ 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

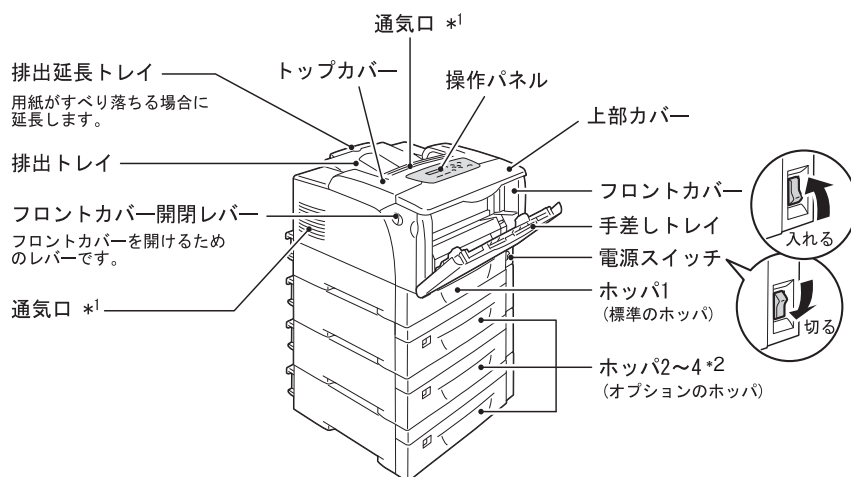
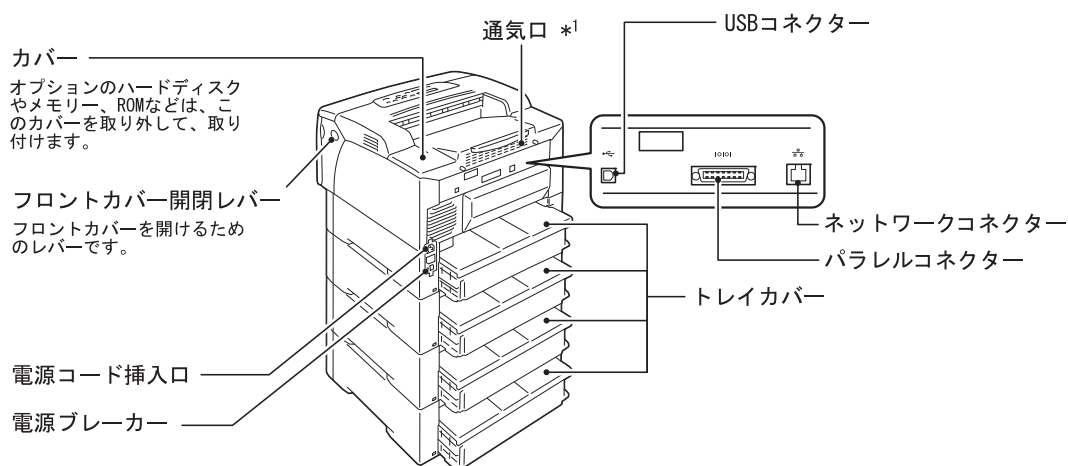
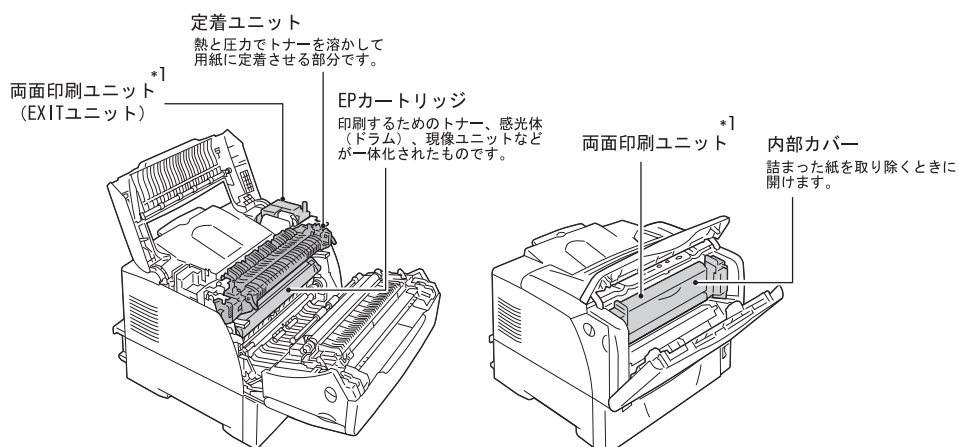
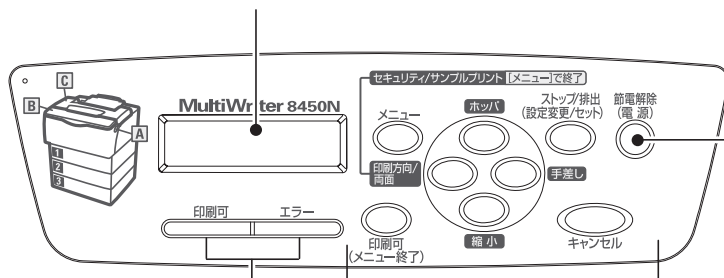
   (1) 複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

   (2) 改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

   (3) 送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

   権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。
   - ❑ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
   - ❑ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
   - ❑ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
   - ❑ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
     ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
   - ❑ 学校教科書への掲載。
     ただし、権利者への補償金が必要です。
   - ❑ 学校その他教育機関における複製。
     ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
   - ❑ 試験問題としての複製。
     ただし、権利者への補償金が必要です。

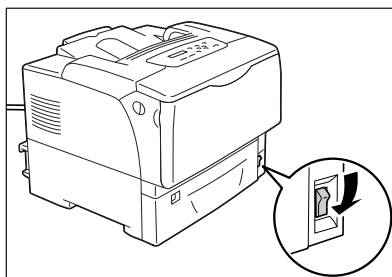
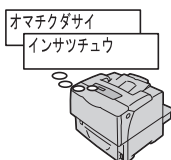
各部のなまえ

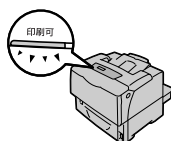
●プリンター前面と左側面

●プリンター右側面と背面

*1：通気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、機械が故障する可能性があります。
*2：説明に使用しているイラストは、MultiWriter 8450N を例にしています。オプションの増設ホッパは、MultiWriter 8250N/8250 では2段までです。

●操作パネル

〈節電解除（電源）〉は、〈節電解除〉ボタンと（電源）ランプの機能を持っています。
節電モード（スリープモード）になると、操作パネルは、このランプだけが点灯します。

操作パネルについての詳細 ➔ 活用マニュアル「2 プリンターの基本操作」

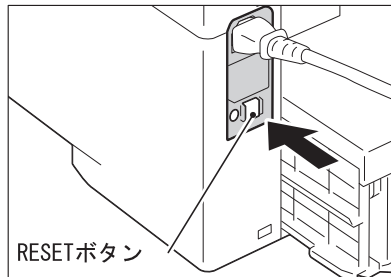
電源を切るときのお願い

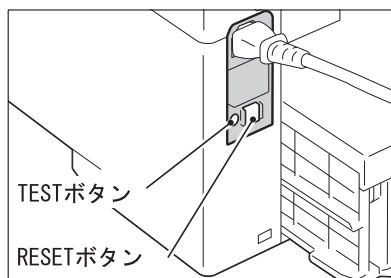
通常の操作時に電源を切るときは、操作パネルのメッセージやランプの状態で、プリンターが処理中でないことを確認してください。

次のようなときには、電源を切らないでください！

［**オマチクダサイ**］*1 や［**インサツチュウ**］と表示されているときは、プリンターで何か処理をしています。

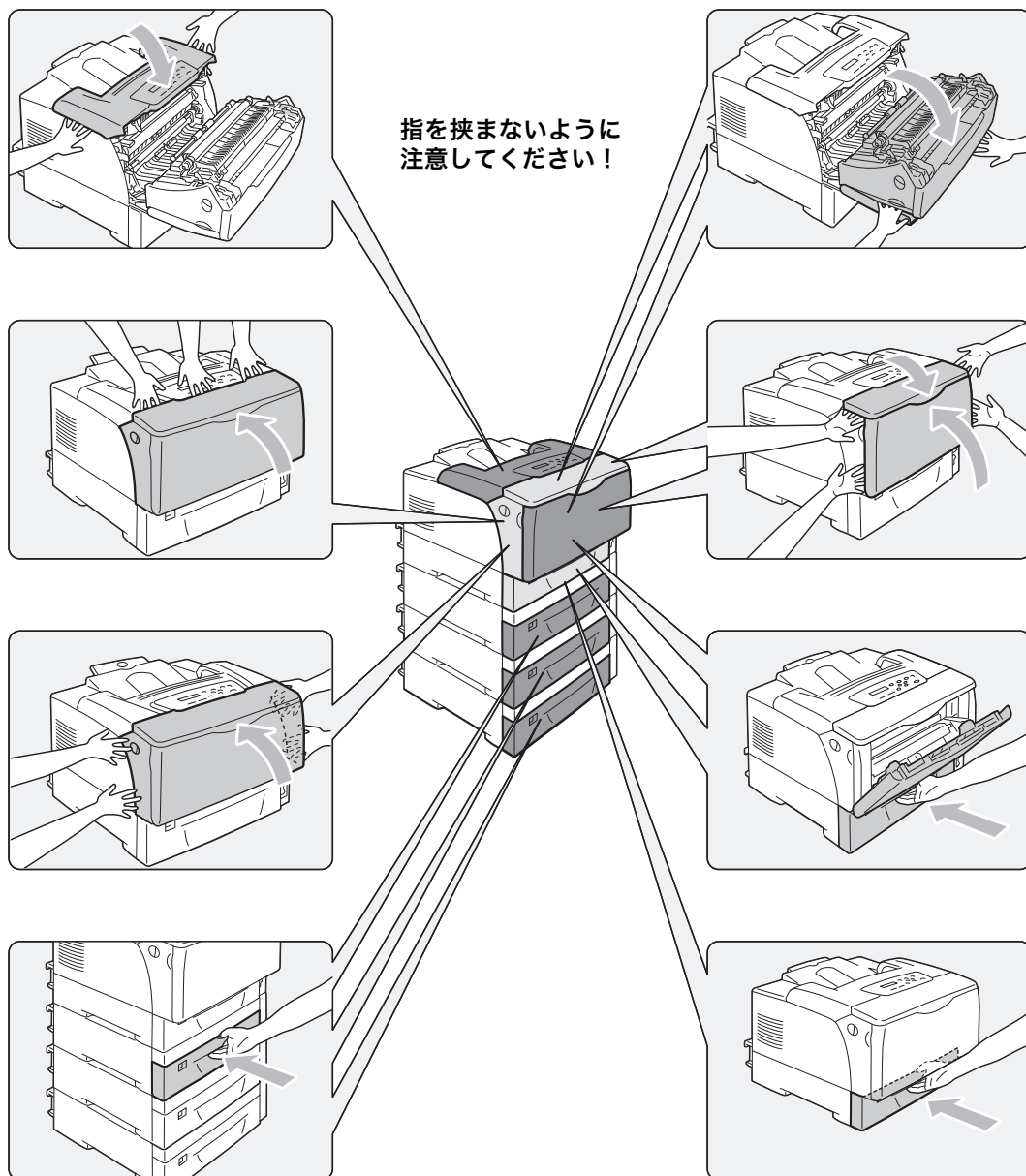
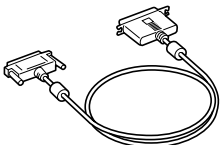
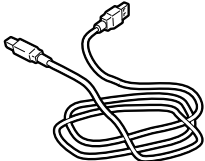
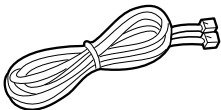
*1　プリンターの電源を入れたあと、ヒートローラーが一定の温度になり、印刷が可能になるまでの状態です。

〈**印刷可**〉ランプが点滅中は、プリンターがデータを受信しています。

●漏電ブレーカーについて

本機の背面左側には、漏電ブレーカーがついています。
機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。

漏電ブレーカーが動作したときは、機器の絶縁状態を点検したあと、RESET ボタンを押してください。
機器の絶縁状態が改善されないと、またすぐに漏電ブレーカーが動作します。このような場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

また、1 か月に一度は機械の電源スイッチを切り、漏電ブレーカーが正常に働くか確認してください。正常に動作しない場合にアースが接続されていないと、感電のおそれがあります。
漏電ブレーカーの確認手順は次のとおりです。
異常などがある場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

1. 機械の電源スイッチを切ります。
2. 機械の本体背面左側にある漏電ブレーカーの TEST（切）ボタンを、先の細い棒などで押します。
3. 漏電ブレーカーの RESET（入）ボタンが上がったことを確認します。
4. 確認後、漏電ブレーカーの RESET（入）ボタンを押します。（テストが解除されます。）

カバーや用紙カセット開閉時のお願い

カバーを開け閉めしたり、引き出した用紙カセットを元に戻したりするときは、プリンター本体との間に指を挟まないように注意してください。

プリンターの設置が終わったら

●お客様登録のご案内

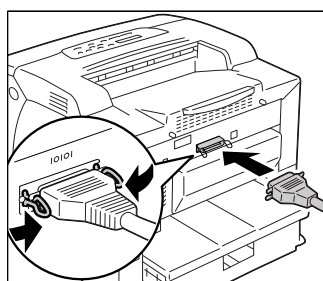
お客様登録をしていただきますと、安心・充実したサービス＆サポートが受けられます。
まず、お客様登録をお勧めします。
詳しくは、添付の「NEC サービス網一覧表」をごらんください。

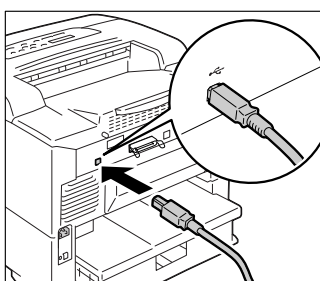
ケーブルを接続する

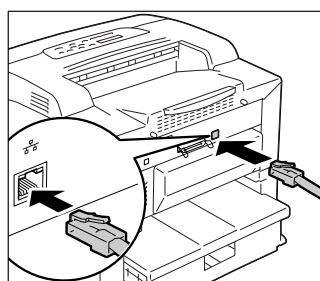
インターフェイスケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。
インターフェイスケーブルは、お使いの環境に合わせて用意してください。

コンピューターと直接接続する		ネットワークを経由する
パラレルケーブル	**USB ケーブル**	**ネットワークケーブル**
型番： PC-PRCA-01、PC-CA202、PC-CA204	型番： PR-UCX-02	型番： PK-CA117、PK-CA118
弊社オプション品のパラレルケーブルを用意してください。弊社オプション品以外のケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあります。	弊社オプション品のケーブルを用意してください。	10BASE-T/100BASE-TX に対応したストレートケーブルを用意してください。

インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

パラレル接続の場合

他方は、コンピューターへ

USB 接続の場合

他方は、コンピューターへ

ネットワーク接続の場合

他方は、Hub（ハブ）などのネットワーク機器へ

ネットワークを設定する

ここでは、TCP/IP プロトコルを使用するための環境を設定する方法を説明します。
その他の環境でのネットワーク設定 ➔ プリンターソフトウエア CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）

プリンターの環境を確認する

TCP/IP プロトコルを使用するためには、IP アドレスの設定が必要です。
工場出荷時の本機は、［**IP アドレス シュトクホウホウ**］が［**DHCP/Autonet**］に設定されています。そのため、DHCP サーバーがあるネットワーク環境では、本機をネットワークに接続するだけで、自動的に IP アドレスが設定されます。
［プリンター設定リスト］を印刷して、［IPv4］または［IPv6］* に IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。
リストの印刷方法 ➔ 62 ページ
IP アドレスに IPv6 を使用するには（Windows Vista の場合）➔ 活用マニュアル

ネットワーク

ファームウェアバージョン	**.**
MACアドレス	08:00:37:**:**:**
Ethernet設定	自動(100M（全二重))
TCP/IP	
IP動作モード	デュアルスタック
IPv4	
IPアドレス取得方法	DHCP/Autonet
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.254
ステータス	正常
IPv6	
IPアドレスの手動設定	しない

例）IPv4 アドレス環境の場合

* IPv6 を使用するには、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。

IP アドレスを設定する

［プリンター設定リスト］の IP アドレスが「0.0.0.0」だった場合は、操作パネルから、［**IP アドレス シュトクホウホウ**］を［**パネル**］に変更し、IP アドレスを設定します。IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

ポイント

操作パネルの基本的な使い方は、次のとおりです。

- 操作パネルが真っ暗な場合は、節電モード（スリープモード）中です。その場合は、最初に〈節電解除〉ボタンを押して、節電モードを解除してから、ほかのボタンを押します。
- 〈▲〉〈▼〉ボタンで表示メニューを切り替えます。
  オプション品の装着やプリンターの設定状態によって、押す回数が異なります。
  目的の項目が表示されるまで押してください。
- 〈▶〉ボタンで選択、間違ったら、〈◀〉ボタンで選択前に戻ります。
- 〈**メニュー**〉ボタンで、いつでも手順 1 に戻ります。

1 操作パネルの〈**メニュー**〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

ﾒﾆｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾄｹﾞﾝｺﾞﾉ ｾｯﾃｲ

2 [**キカイ カンリシャ メニュー**]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾒﾆｭｰ
ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ

3 〈▶〉ボタンで選択します。
[**ネットワーク / ポート セッテイ**] が表示されます。

ｷｶｲ ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ

4 〈▶〉ボタンで選択します。
[**パラレル**] が表示されます。

ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
ﾊﾟﾗﾚﾙ

5 [**TCP/IP**]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ﾈｯﾄﾜｰｸ/ﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
TCP/IP

6 〈▶〉ボタンで選択します。
[**IP ドウサモード**] が表示されます。

TCP/IP
IPﾄﾞｳｻﾓｰﾄﾞ

7 [**IPv4**] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

TCP/IP
IPv4

8 〈▶〉ボタンで選択します。
[**IP アドレス シュトクホウホウ**] が表示されます。

IPv4
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ

9 〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

IPｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
DHCP/Autonet *

10 [**パネル**] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

IPｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
ﾊﾟﾈﾙ

11 〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。
[**デンゲンノ キリ/イリデ セッテイガ ユウコウニナリマス**] と 3 秒間表示されたあと、設定画面に戻ります。
プリンターの電源は、ゲートウェイアドレスを設定したあとで入れ直します。このまま先に進んでください。

IPｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
ﾊﾟﾈﾙ *

12 〈◀〉ボタンで、[**IP アドレス シュトクホウホウ**] に戻ります。

IPv4
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ

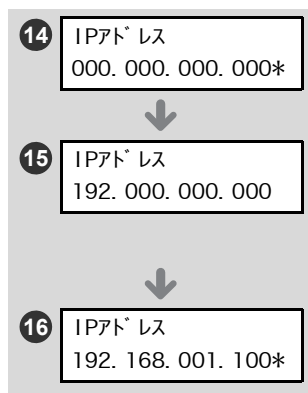
13 〈▼〉ボタンで、[**IP アドレス**] を表示します。

IPv4
IPｱﾄﾞﾚｽ

⑭〈▶〉ボタンで選択します。
現在の IP アドレスが表示されます。

⑮〈▲〉〈▼〉ボタンで最初のフィールドに値を入力したら、〈▶〉ボタンで次のフィールドに移動します。
〈▲〉〈▼〉ボタンは、押し続けると値が 10 ずつ変わります。

⑯他のフィールドも同様に入力し、最後の４つめのフィールドを入力したら、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。

⑰続けて、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを設定する場合は、〈◀〉ボタンを押して、手順⑱に進みます。
これで、操作を終了する場合は、手順㉕に進みます。
サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要かどうかは、ネットワーク管理者に確認してください。

●サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定

⑱［**サブネット マスク**］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

⑲〈▶〉ボタンで選択します。
現在のサブネットマスクが表示されます。
サブネットマスクの初期値は「255.255.0.0」です。

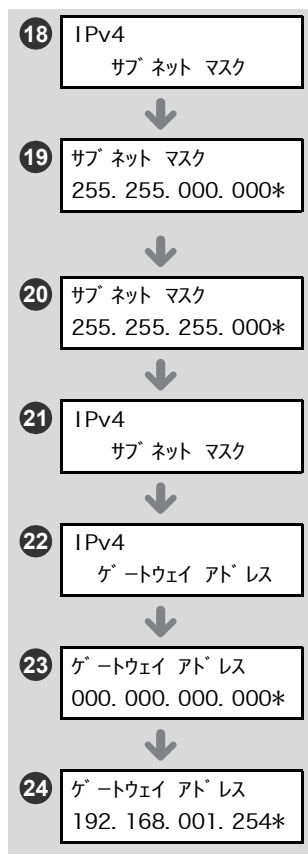
⑳IP アドレスと同様に、サブネットマスクを入力し、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。

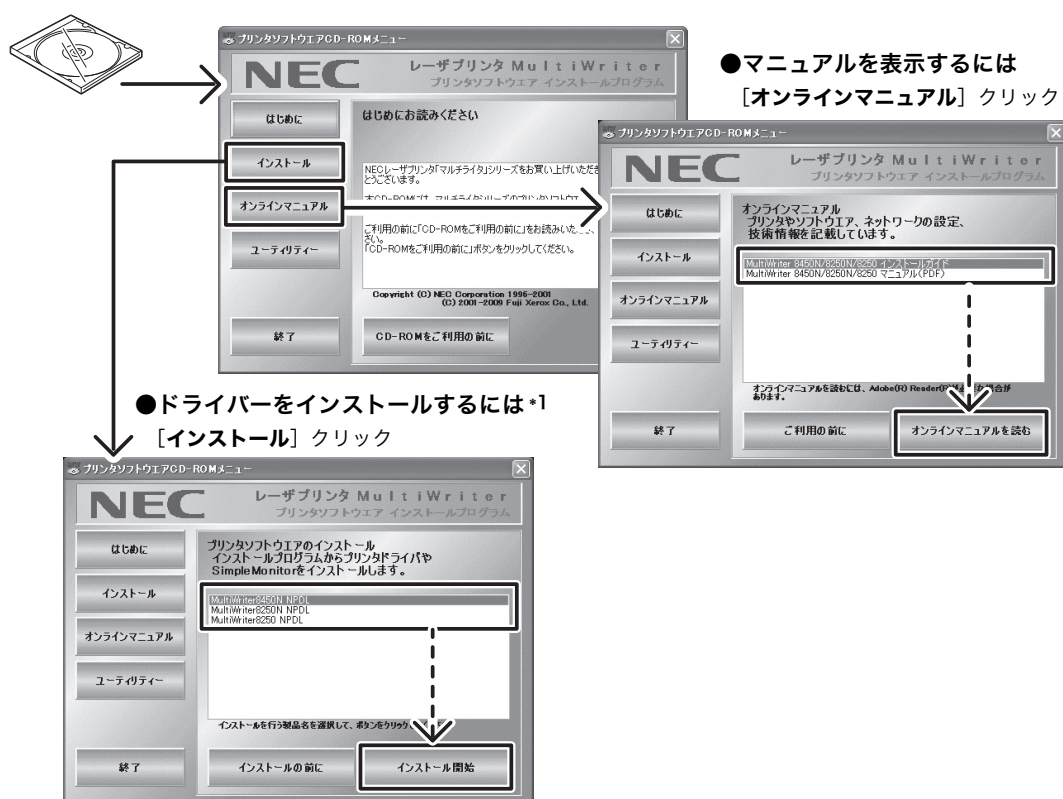
㉑〈◀〉ボタンで、［**サブネット マスク**］に戻ります。

㉒〈▼〉ボタンで、［**ゲートウェイ アドレス**］を表示します。

㉓〈▶〉ボタンで選択します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

㉔IP アドレスと同様にゲートウェイアドレスを入力し、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。

㉕これで、すべての設定が終了です。
プリンターの電源を切り、入れ直します。

プリンタードライバーをインストールする

コンピューターから印刷するために、プリンターソフトウエア CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。プリンタードライバーのインストール方法は、コンピューターと本機の接続方法によって異なります。
CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）で手順を確認してから、実行してください。

*1：プリンタードライバー以外のソフトウエアをインストールするには、［**ユーティリティー**］をクリックします。

アンインストールしたいときには

プリンターソフトウエア CD-ROM では、プリンタードライバーアンインストールツールを提供しています。詳しくは、CD-ROM 内のマニュアル（HTML 文書）を参照してください。
また、プリンターソフトウエア CD-ROM からインストールした、その他のソフトウエアをアンインストールする場合は、各ソフトウエアの ReadMe ファイルを参照してください。

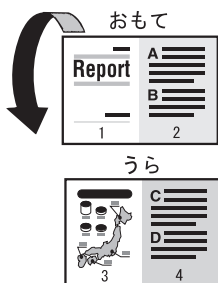
2

印刷のしかた

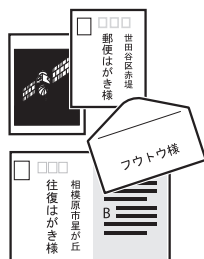
どんな印刷ができるの？

知っていると使いたくなる機能の一部を、紹介します。これらの機能は、プリンターのプロパティダイアログボックス*1 で設定できます。

自動両面機能とまとめて 1 枚（N アップ）*2

両面印刷機能と、複数の原稿を 1 枚に縮小して印刷する「まとめて 1 枚」を併用すれば、4 ページ分（2 アップの場合）の原稿が 1 枚の用紙の表裏で収まります。

はがき、封筒

はがきや封筒にも印刷できます。

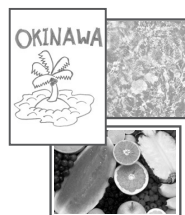
使用できる用紙 ➔ 42 ページ
はがきや封筒への印刷方法 ➔ 36 ページ

OHP 合紙

OHP フィルムを印刷するときに、フィルムとフィルムの間に自動的に用紙を挿入します。フィルムの内容が確認しやすくなります。

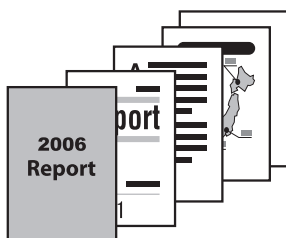
➔プリンタードライバーのヘルプ

画質調整

写真や文字原稿、図、表、グラフなど、印刷する原稿の内容に合わせて画質を調整できます。

➔プリンタードライバーのヘルプ

表紙付け機能

表紙だけ、色紙や厚紙を使って印刷できます。

➔プリンタードライバーのヘルプ

スタンプ

「社外秘」などの特定の文字を重ねて印刷できます。

➔プリンタードライバーのヘルプ

*1：プロパティダイアログボックスでは、プリンターが持つさまざまな機能を利用するための設定項目がタブ別に用意されています。アプリケーションから印刷時に表示したり、［**プリンタと FAX**］（OS によっては［**プリンタ**］）ウィンドウにある、本プリンターアイコンから表示したりすることができます。
*2：MultiWriter 8250 で両面印刷をする場合は、両面印刷ユニット（オプション）が必要です。

セキュリティープリント *3

あらかじめプリンターにデータを送っておいて、操作パネルから印刷を指示します。目の前で印刷するので、機密情報も安心です。
➔プリンタードライバーのヘルプと活用マニュアル

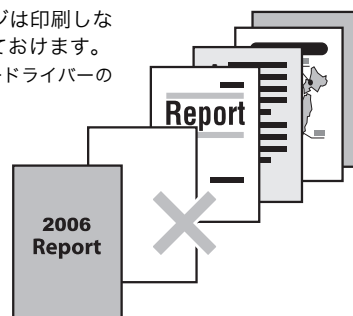
お気に入り

よく使う印刷設定をプリンタードライバーのプロパティで［**お気に入り**］に登録して印刷できます。

サンプルプリント *3

まず、1部だけサンプルを印刷して、結果を確認します。ミスプリントによる紙の無駄を防ぎます。
➔プリンタードライバーのヘルプと活用マニュアル

白紙節約

白紙のページは印刷しない、と決めておけます。
➔プリンタードライバーのヘルプ

*3：ハードディスク（オプション）が必要です。

上記の他に、ポスターや製本印刷も追加されたプリンタードライバーを、弊社ホームページのみで提供しています。
http://www.nec.co.jp/products/laser からダウンロードして、ご使用ください。

印刷の基本操作と中止のしかた

❶ アプリケーションの［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

❷［**印刷**］ダイアログボックスで本プリンターを選択します。

❸［**詳細設定**］をクリックし、プロパティダイアログボックスを表示します。

❹［**原稿サイズ**］や［**出力用紙サイズ**］、およびその他の使用したい印刷機能を設定します。
例：2アップ

ポイント

- のりなしの封筒を印刷する場合、フラップ部分も用紙サイズに含まれます。あらかじめユーザー定義用紙として用紙サイズを登録し、指定してください。

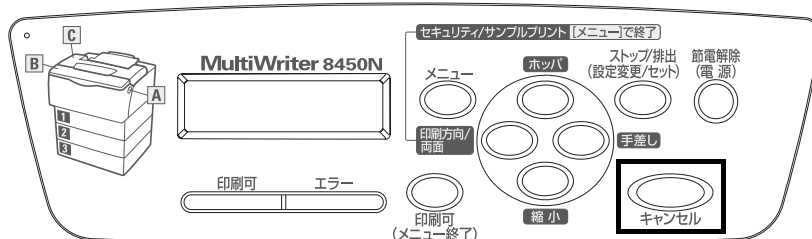
❺［**OK**］をクリックします。

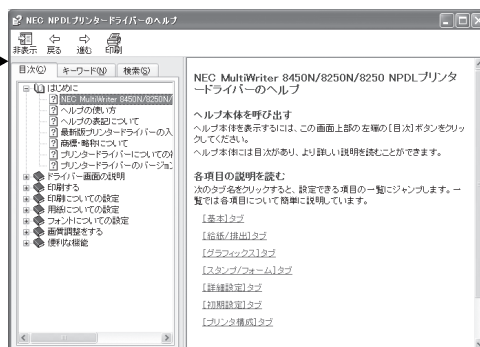
❻［**印刷**］ダイアログボックスに戻るので、［**ページ範囲**］を確認し、［**印刷**］をクリックします。
これで、印刷データがプリンターに送信されます。

印刷を中止するには

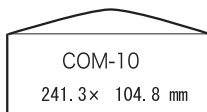
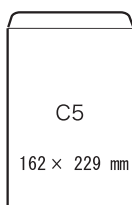
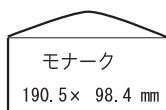
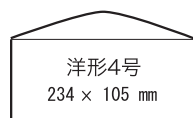
画面右下のタスクバー上のプリンターアイコン をダブルクリックします。
表示されたウィンドウから、中止したいドキュメント名をクリックし、削除（〈**Delete**〉キーを押す）します。

削除するドキュメント名がウィンドウに表示されない場合は

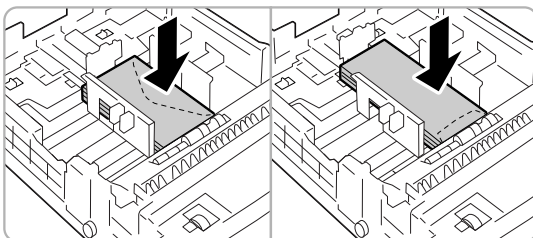
プリンターの操作パネルで、〈**キャンセル**〉ボタンを２秒以上押します。

設定項目の機能について知りたいときは　ー プリンタードライバーヘルプ ー

［**ヘルプ**］をクリックすると、
項目の説明などを見ることができます。

封筒やはがきに印刷するには

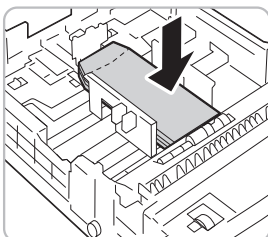
封筒やはがきは、手差しトレイまたはホッパ１～４にセットします。手差しトレイの場合は、印刷面を下にして、ホッパ１～４の場合は、印刷面を上にしてください。
封筒やはがきをホッパの用紙カセットにセットした場合、用紙サイズ設定ダイヤルは、「＊」に合わせます。

封筒の場合　封筒には、フラップが付いているので、あて名面にだけ、印刷できます。

■ホッパ１～４の場合

フラップ部分がのり付きの封筒

例）洋形４号、モナーク、COM-10、DL　例）長形３号、C5

あて名面を上にし、フラップを閉じて、右側にしてセット

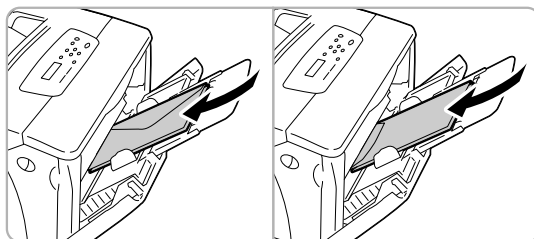
あて名面を上にし、フラップを閉じて、手前側にしてセット

フラップ部分がのりなしの封筒

例）長形３号、C5

あて名面を上にし、フラップを開いて、奥側にしてセット

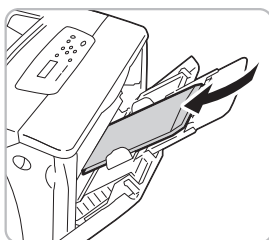
■手差しトレイの場合

フラップ部分が
のり付きの封筒

例）洋形４号、モナーク、COM-10、DL　例）長形３号、C5

あて名面を下にし、
フラップを閉じて、
右側にしてセット

あて名面を下にし、
フラップを閉じて、
奥側にしてセット

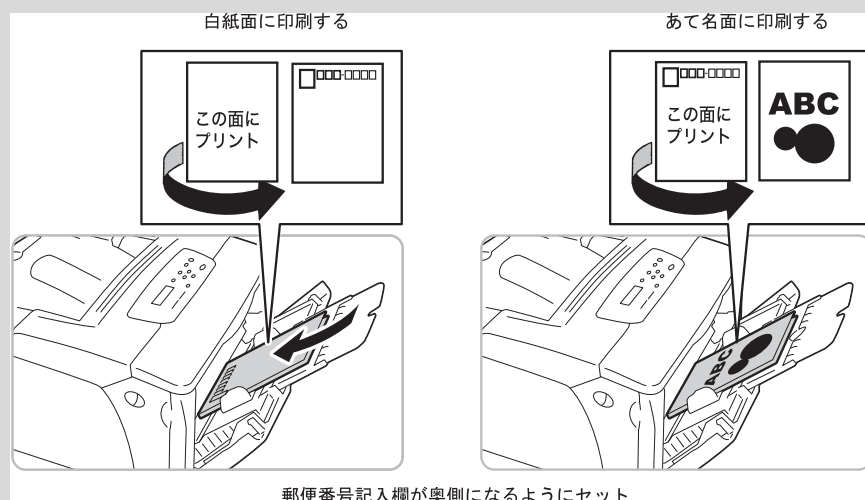
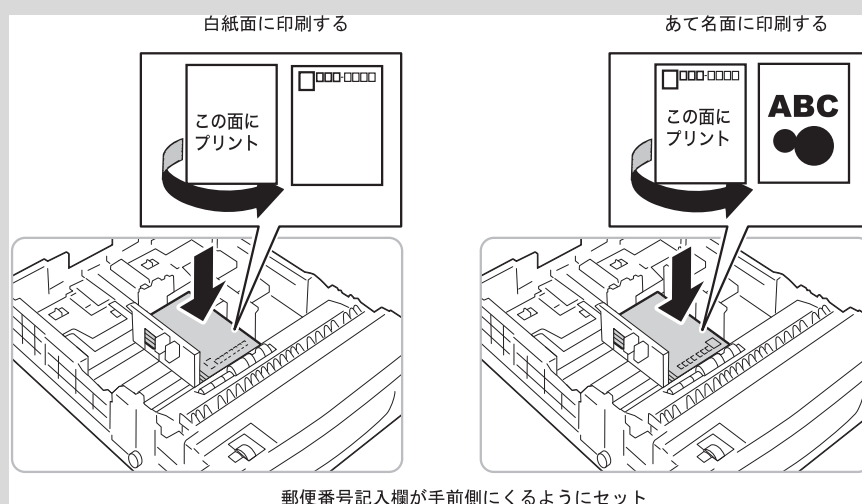
フラップ部分が
のりなしの封筒

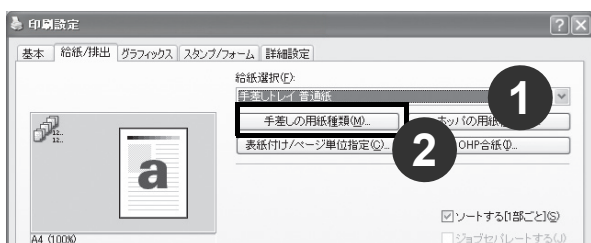
例）長形３号、C5

あて名面を下にし、
フラップを開いて、
手前側にしてセット

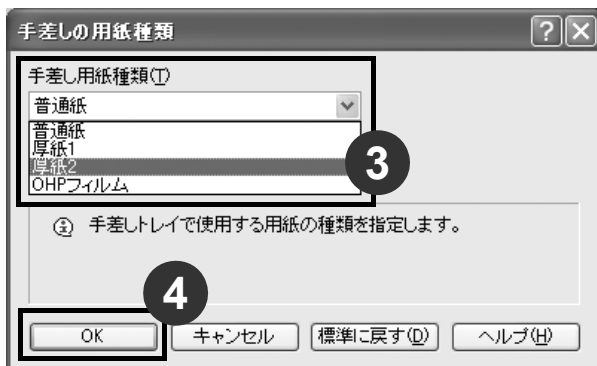
NPDL プリンタドライバの設定

・ はがき、往復はがきの場合、原稿サイズ設定は［はがき］［往復はがき］を選択してください。
・ 封筒洋形４号の場合、原稿サイズ設定は［封筒 洋形 ４ 号］を選択してください。
・ 洋形４号以外の封筒の場合、原稿サイズ設定はユーザー定義サイズを設定し、選択してください。
　のりなしの封筒で、フラップをたたまない（開く）で用紙をセットする場合
　ユーザー定義サイズにフラップ部分の印刷領域を含めてください。その部分を考慮し、プリンタドライバーの印字位置調整機能で印刷位置を調整してください。
　さらに、原稿の向きを［原稿 180°回転］機能を有効にして、印刷方向を回転させる必要があります。

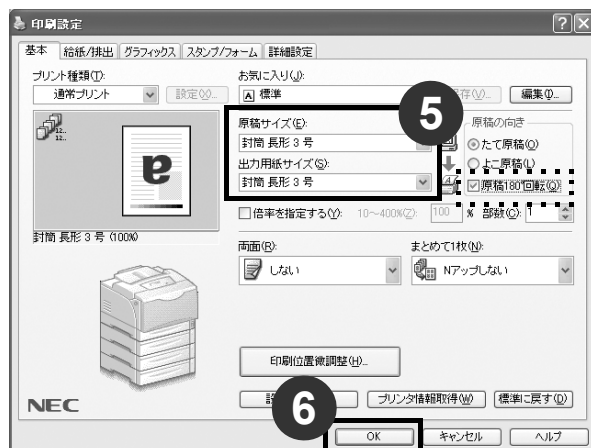
はがきの場合

■手差しトレイの場合

■ホッパ１～４の用紙カセットの場合

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

印刷時は、プリンターのプロパティダイアログボックスで、次の設定をします。

❶［**給紙 / 排出**］タブで、［**給紙選択**］に［**手差しトレイ**］を選択します。

❷［**手差しの用紙種類**］をクリックします。

❸［**手差し用紙種類**］に［**厚紙 2**］を選択します。

ポイント

- 用紙種類は正しく設定してください。
  封筒：［**厚紙 2**］
  はがき：［**厚紙 2**］

❹［**OK**］をクリックします。

❺［**基本**］タブで、［**原稿サイズ**］、および［**出力用紙サイズ**］を［**封筒長形 3 号**］に設定します。はがきの場合は［**はがき**］に設定します。

ポイント

- のりなしの封筒を印刷する場合、フラップ部分も用紙サイズに含まれます。あらかじめユーザー定義用紙として用紙サイズを登録し、⑤で指定してください。
- 封筒に印刷する場合は、セットした封筒の種類によって、［**原稿 180°回転**］にチェックを付けます。

❻［**OK**］をクリックします。

これで封筒とはがきの用紙サイズおよび用紙種類が設定できました。

定形でない用紙に印刷するには

出力用紙サイズメニューにない定形外の用紙は、ユーザー定義用紙としてプリンタードライバーに登録すれば、メニューに追加できます。
なお、定形外用紙をホッパ 1 ～ 4 にセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定し、操作パネルでホッパの用紙サイズを設定してください。

プリンター側の設定 ➔ 50 ページ

❶［**スタート**］→［**プリンタとFAX**］を選択します。

❷本プリンターのアイコンを選択して、［**ファイル**］メニュー→［サーバーの**プロパティ**］を選択します。

❸［**用紙**］タブをクリックします。

❹［**新しい用紙を作成する**］にチェックを付けます。

❺任意の用紙名を入力します。

❻用紙サイズを入力します。

ポイント

● プリンターにセットできる用紙の大きさ（幅 75 ～ 297mm、高さ 148 ～ 431.8mm）を設定してください。

❼［**用紙の保存**］をクリックします。

❽［**用紙**］ボックスに指定した用紙名が追加されたことを確認して、［**OK**］をクリックします。

これでユーザー定義の用紙サイズが登録できました。

3

用紙と消耗品

使用できる用紙について知りたい

本プリンターで使用できる用紙の規格は、手差しトレイ、ホッパ 1、ホッパ 2 〜 4（オプション）ともに 60 〜 216g/m^2（g/m^2: メートル坪量 [*1]）、両面印刷の場合は 60 〜 190g/m^2 です。
次に、弊社が推奨、または使用できることを確認している用紙の一部を紹介します。
これ以外の用紙については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

商品名	メートル坪量[*1]	用紙種類の設定	用紙の特長と使用上の注意
P 紙　※標準紙	64g/m^2	普通紙	社内配布資料や一般のオフィス用の中厚口用紙
P 紙厚口	78g/m2	普通紙	社内配布資料や一般のオフィス用で、うら写りが少なく両面印刷に適した厚口用紙
C2	70g/m^2	普通紙	一般のオフィス用で、うら写りの少ない用紙
C2r	70g/m^2	普通紙	古紙パルプ 70% 配合の再生紙
FR	64g/m^2	普通紙	環境配慮型パルプを原料とした用紙
G70	67g/m^2	普通紙	古紙パルプ 70% 配合の再生紙
OHP フィルム A4（クリア）（GAAA5224）	-	OHP フィルム	枠なしの OHP フィルム
ラベル用紙 （A4 20 面カット）	-	厚紙 1	全面シールのラベル紙。また、ラベル紙を取り扱うときには、ラベル紙の取扱説明書も参照してください。
郵便はがき （日本郵便製）	190g/m^2	厚紙 2	郵便はがき、往復はがき
郵便往復はがき （日本郵便製）			
封筒 E506 ハート社製初芝 山形　YS-14	-	厚紙 2	市販の封筒 使用できるサイズ ➔ 36 ページ

*1：メートル坪量とは、1m^2 の用紙 1 枚の質量をいいます。

●カラー用 OHP は使用できる？

オイルを使わないプリンターなので、オイルコーティングしてあるカラー用 OHP を使用すると紙づまりの原因になります。上記の表に示す、白黒用 OHP をご利用ください。

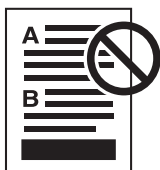
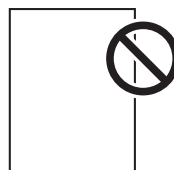
●厚紙は対応している？

手差しトレイ、ホッパ 1、オプションのホッパ 2 ～ 4 で、81 ～ 216g/m^2 までの厚紙が使用できます。
厚紙を使う場合は、プリンタードライバーでの設定のほかに、プリンター側で用紙種類を厚紙に設定する必要があります。
工場出荷時の状態では、ホッパおよび手差しトレイに用紙をセットしたときに、操作パネルに用紙種類を設定するメッセージが表示されます。
セットした用紙に合わせて正しく設定してください。

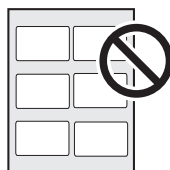
プリンター側の設定 ➔ 45 ページ

●使用できない用紙

適切でない用紙は、紙づまりや故障の原因になります。使用しないでください。

●カラー用OHPフィルム

●ほかのプリンターで印刷した用紙

●インクジェット専用紙

●テープ付きの封筒
●凹凸や止め金がある封筒

●多色刷りのはがき
●インクジェット用郵便はがき
●カールしたはがき

●全体がシールにおおわれていないラベル紙

●折り目、しわ、カール紙

- ●コート紙
- ●厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- ●湿っている用紙、ぬれている用紙
- ●静電気で密着している用紙
- ●貼り合せた用紙、のりが付いた用紙
- ●紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- ●表面加工されたカラー用紙
- ●うら写り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
- ●ミシン目のある用紙
- ●熱で変質するインクを使った用紙
- ●感熱紙
- ●カーボン紙
- ●ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- ●ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ●酸性紙（文字ボケが出る場合）
- ●タックフィルム
- ●水転写紙
- ●布地転写紙
- ●穴あき用紙

●両面印刷ができる用紙のサイズや種類は？

MultiWriter 8450N/8250N は標準、MultiWriter 8250 はオプションの両面印刷ユニットを取り付けると、自動両面印刷をすることができます。自動両面印刷ができる用紙のサイズと種類は、次のとおりです。なお、紙質や用紙の繊維方向などによっては、正常に印刷されない場合があります。

サイズ	用紙種類
A3、B4、A4、A4、B5、A5、11×17"、8.5×14"、8.5×13"、8.5×11"、5.5x8.5"、7.25×10.5"、往復はがき、はがき ユーザー定義（幅100～297mm、長さ148～431.8mm）	普通紙（60 ～ 80g/m^2）、 厚紙 1（81 ～ 156g/m^2）、 厚紙 2（157 ～ 190g/m^2）*

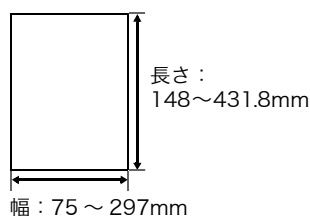
MultiWriter 8250 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

* 厚紙 2 の用紙規格は 216g/ ㎡までですが、両面印刷可能な規格（メートル坪量）は 190g/ ㎡までです。

●裏紙は使用できる？

使用できません。故障や紙づまりの原因になるので、裏紙は使用しないでください。

●定形外サイズの用紙に印刷できる？

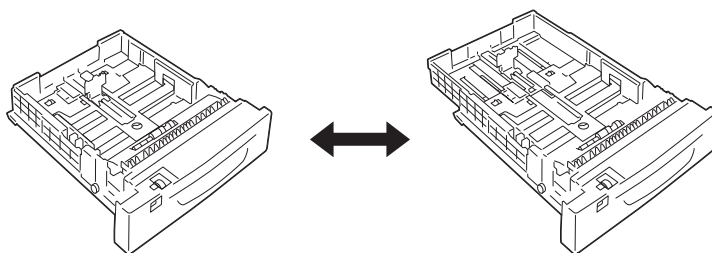
本プリンターでは、手差しトレイ、ホッパ 1、およびオプションのホッパ 2 ～ 4 に定形外用紙をセットできます。頻繁に印刷する帳票などが定形外サイズの場合には、ホッパ 1 ～ 4 にセットしておくと、いつでも、一度に大量の印刷ができます。手差しトレイと各ホッパにセットできるサイズは、次のとおりです。

定形外サイズの用紙をセットした場合は、印刷する前に Windows（サーバーのプロパティ）で登録する必要があります。また、定形外サイズの用紙を手差しトレイまたはホッパにセットした場合は、プリンター側でも用紙サイズを設定します。

サーバーのプロパティでの設定 ➔ 40 ページ
プリンター側の設定 ➔ 50 ページ

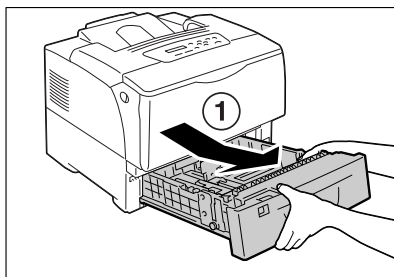
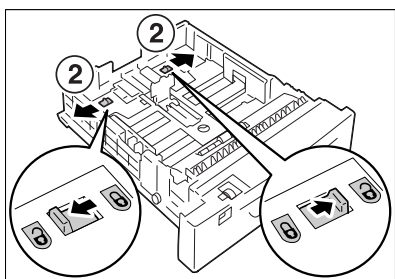
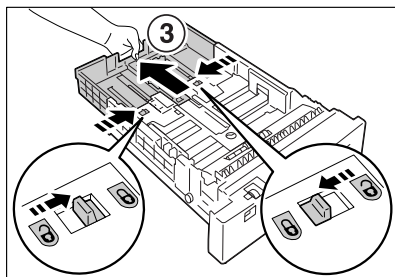
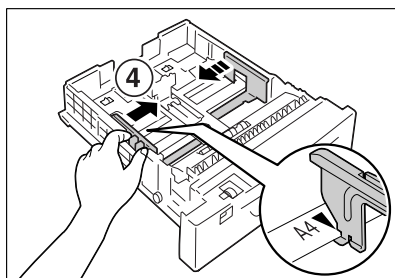
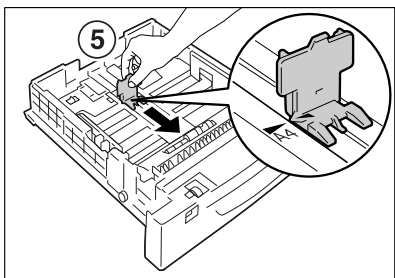
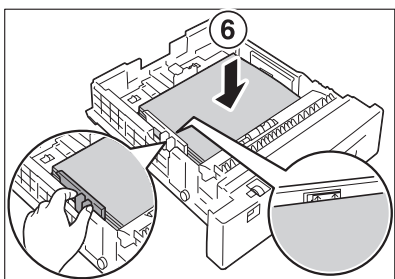
- ご使用になる前に、事前の十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。

用紙のセットのしかた

ホッパ 1 〜 4

本機では、B4、A3、11x17" など、用紙の縦が A4（297mm）よりも長い用紙をホッパにセットする場合は、用紙カセットを引き伸ばします。この場合、本体の奥行きよりも用紙カセットの長さが長くなるため、用紙カセットが背面から突き出た状態になります。
また、A5、B5、A4、8.5x11" サイズの用紙をよこ置きでセットする場合は、用紙カセットが伸びているとセットできません。その場合は、用紙カセットの長さを元に戻します。
用紙カセットを引き伸ばす（縮小する）手順は、次の手順 2 〜 3 で説明しています。
用紙カセットの長さを変更する必要がない場合は、手順 2 〜 3 は不要です。

ここでは、ホッパ 1 に用紙をセットする例で説明します。用紙をセットする方法は、どのホッパでも同じです。

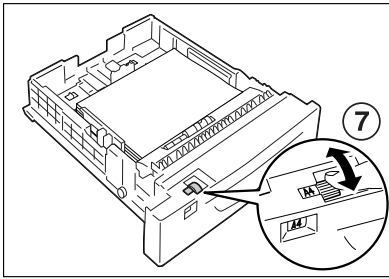
注記

- 印刷中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙づまりの原因になることがあります。
- 本機は、電源を入れた状態で用紙をセットしてください。

1. 手前を持ち上げるようにして、用紙カセットを引き抜きます。

2 用紙カセットの長さを変更する必要がない場合は、手順４に進んでください。
用紙カセットの長さを変更する場合は、用紙カセットの左右の突起部を外側に動かして、ロックを解除します。

3 用紙カセットを引き出し（縮め）ます。
手順 2 で解除したロックが自動的にかかるまで、引き出し（縮め）てください。（例：用紙カセットを引き出す場合）

4 左の用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙のサイズまで動かします。（例：A4 サイズをよこ置きにする場合）

5 縦の用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙のサイズまで動かします。
用紙サイズの ► マークの先端と、用紙ガイドの ◄ マークの先端を合わせてください。

6 印刷する面を上にして、用紙をセットします。

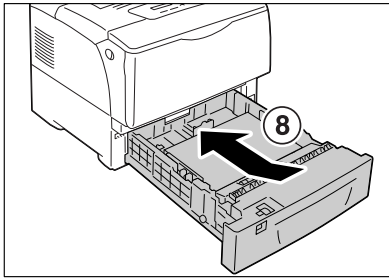
ポイント

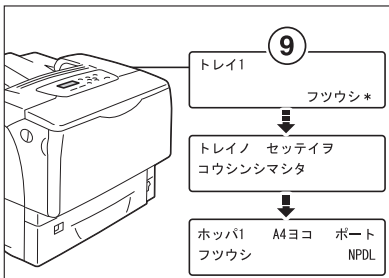
- セットした用紙が用紙上限線を超えていないことを確認してください。紙づまりの原因になることがあります。

注記

- セットした用紙が左右の用紙ガイドで挟まれているか確認してください。**再び用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙の端に押し当てるよう動かしてください。**

❼ **用紙サイズ設定ダイヤル**で、セットした用紙に合わせて、用紙サイズ表示を設定します。

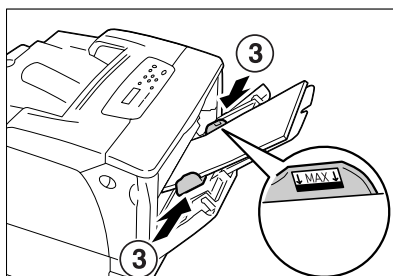
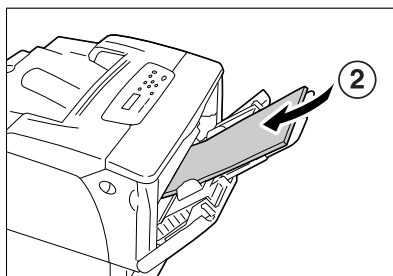
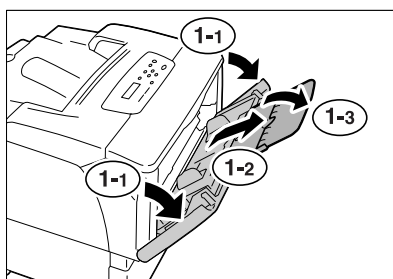
ポイント

- はがきや封筒をセットした場合、用紙サイズ設定ダイヤルは、「＊」に合わせます。

❽ 用紙カセットを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

指挟みに注意 ➔ 24 ページ

❾ 操作パネルに用紙種類を設定する画面が表示された場合は、セットした用紙の種類を設定します。
セットした用紙種類が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。

●セットできる用紙のサイズと種類

サイズ	種類	最大収容枚数
A3、B4、A4、 A4、B5、A5、 11×17"、8.5×14"、 8.5×13"、8.5×11"、 5.5x8.5"、7.25×10.5"、 はがき、往復はがき、 封筒(洋形4号、長形3号、COM-10、 モナーク、DL、C5)、 ユーザー定義（幅 75 ～ 297mm、 長さ 148 ～ 431.8mm）	普通紙（60 ～ 80g/m2)、 厚紙 1 (81 ～ 156g/m2)、 厚紙2(157～216g/m2)、 OHP フィルム	用紙カセット（250 枚） 坪量 64g/m2 の普通紙　約250枚 郵便はがき　約100枚 封筒（洋形 4 号）約 20 枚 ラベル紙　約180枚 OHP フィルム　約100枚
		用紙カセット（550 枚） 坪量 64g/m2 の普通紙　約550枚 郵便はがき　約230枚 封筒（洋形 4 号）約 60 枚 ラベル紙　約250枚 OHP フィルム　約100枚

手差しトレイ

❶ 手差しトレイカバーを開けます。長い用紙をセットする場合は、延長トレイを引き出します。

- 手差しトレイには、用紙以外のものは置かないでください。
- 延長トレイは、さらに広げることもできます。

❷ 印刷する面を下にして、用紙をセットします。

❸ 用紙ガイドを動かして、用紙の端に合わせます。

ポイント

- 用紙ガイドは、軽く当ててください。強すぎたり、ゆるいと紙づまりの原因になります。
- セットした用紙が用紙上限線を超えていないことを確認してください。

●セットできる用紙のサイズと種類

サイズ	種類	最大収容枚数
A3、B4、A4、 A4、B5、A5、 11×17"、8.5×14"、 8.5×13"、8.5×11"、 5.5x8.5"、7.25×10.5"、 はがき、往復はがき、 封筒(洋形4号、長形3号、COM-10、 モナーク、DL、C5)、 長尺紙（297×900mm)、 ユーザー定義（幅 75 ～ 297mm、 長さ 148 ～ 431.8mm)	普通紙（60 ～ 80g/m^2)、 厚紙 1 (81 ～ 156g/m^2)、 厚紙2(157～216g/m^2)、 OHP フィルム	坪量 64g/m^2 の普通紙 約 150 枚 郵便はがき 約 50 枚 封筒（洋形 4 号）約 10 枚 ラベル紙 約 75 枚 OHP フィルム 約 75 枚 または、17.5mm 以下

●ホッパおよび手差しトレイにセットする用紙のサイズと種類について

ホッパに用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きを、用紙サイズ設定ダイヤルで設定します。定形外サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定します。また、手差しトレイおよびホッパに定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルでサイズを設定します。
また、用紙の種類も自動的に検知できないため、設定が必要です。用紙の種類の設定が、手差しトレイおよびホッパにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が悪くなったりすることがあります。正しく、用紙種類を設定してください。
用紙種類は、あとからでも操作パネルを使って変更できます。また、印刷時にプリンタードライバーから設定することもできます。
詳しくは ➔ 活用マニュアル

ホッパの用紙種類を変更するには

ここでは、操作パネルでホッパ１～４の用紙種類を変更する手順を説明します。

❶操作パネルの〈**メニュー**〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

❷［**キカイ カンリシャ メニュー**］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

❸〈▶〉ボタンで選択します。
［**ネットワーク / ポート セッテイ**］が表示されます。

❹［**プリント セッテイ**］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

❺〈▶〉ボタンで選択します。
［**インジノウド**］が表示されます。

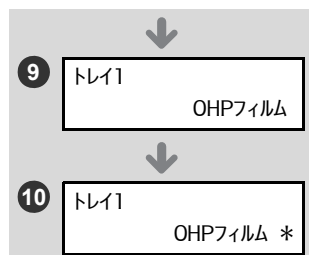
❻［**ヨウシ シュルイ**］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

❼〈▶〉ボタンで選択します。
［**トレイ 1**］が表示されます。

❽設定したい手差しトレイまたはホッパが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

9 設定したい用紙種類が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。（例：OHP フィルム）

10 〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。

11 〈**メニュー**〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

手差しトレイおよびホッパの用紙サイズを定形外サイズにするには

ここでは、操作パネルで手差しトレイ、ホッパ 1、およびオプションのホッパ 2 〜 4 の用紙サイズを定形外サイズに設定する方法を説明します。定形外サイズから定形サイズの用紙に変更した場合は、用紙サイズ設定ダイヤルで設定してください。

1 操作パネルの〈**メニュー**〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 [**キカイ カンリシャ メニュー**]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

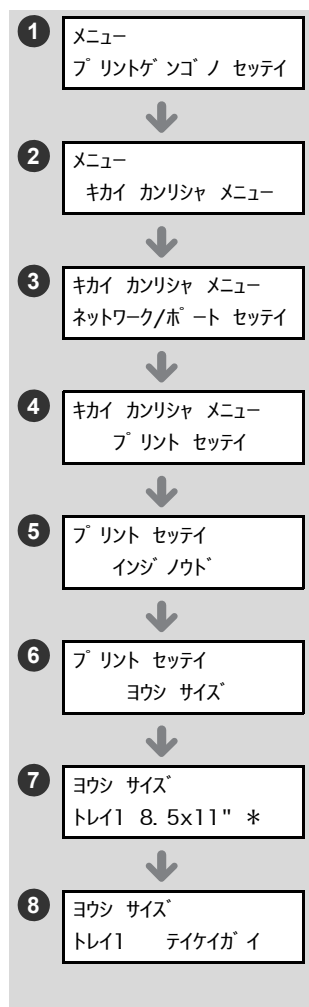
3 〈▶〉ボタンで選択します。
[**ネットワーク / ポート セッテイ**] が表示されます。

4 [**プリント セッテイ**] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

5 〈▶〉ボタンで選択します。
[**インジノウド**] が表示されます。

6 [**ヨウシ サイズ**] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

7 〈▶〉ボタンで選択します。
[**トレイ 1**] が表示されます。

8 設定したい手差しトレイまたはホッパが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉ボタンで右のフィールドに移動してから、〈▼〉ボタンを押します。
[**テイケイガイ**] が表示されます。

⑨〈**ストップ / 排出**〉ボタンで選択します。
［**タテ（Y）ホウコウ ノ サイズ**］が表示されます。

⑩〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

⑪〈▲〉〈▼〉ボタンで、たて方向のサイズを入力します。
（例：431mm）

⑫〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。

⑬たて方向のサイズの設定が終わったら、次によこ方向のサイズを設定します。
〈◀〉ボタンで、［**タテ（Y）ホウコウ ノ サイズ**］に戻ります。

⑭〈▼〉ボタンを押します。
［**ヨコ（X）ホウコウ ノ サイズ**］が表示されます。

⑮〈▶〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

⑯〈▲〉〈▼〉ボタンで、よこ方向のサイズを入力します。
（例：297mm）

⑰〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。

⑨ トレイ1ノ テイケイガ イ
タテ (Y) ホウコウ ノ サイズ

⑩ タテ (Y) ホウコウ ノ サイズ
148mm ＊

⑪ タテ (Y) ホウコウ ノ サイズ
431mm

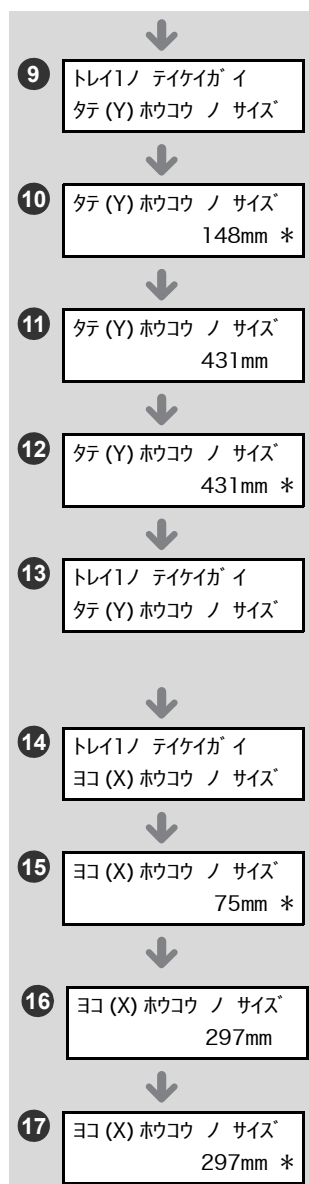
⑫ タテ (Y) ホウコウ ノ サイズ
431mm ＊

⑬ トレイ1ノ テイケイガ イ
タテ (Y) ホウコウ ノ サイズ

⑭ トレイ1ノ テイケイガ イ
ヨコ (X) ホウコウ ノ サイズ

⑮ ヨコ (X) ホウコウ ノ サイズ
75mm ＊

⑯ ヨコ (X) ホウコウ ノ サイズ
297mm

⑰ ヨコ (X) ホウコウ ノ サイズ
297mm ＊

⑱ほかのホッパも設定する場合は、手順 8 の画面が表示されるまで〈◀〉ボタンを押して、同様に設定します。
設定を終了する場合は、〈**メニュー**〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

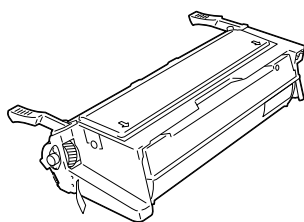
●設定値を簡単に確認できる方法は？

［パネル設定リスト］の［プリント設定］内にある［用紙サイズ］で確認できます。

リストの印刷方法 ➔ 62 ページ

消耗品について知りたい

●消耗品を注文するには

各消耗品の型番は次のとおりです。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

EP カートリッジ

消耗品の種類	型番	印刷可能ページ数（参考値）
EP カートリッジ 6K	PR-L8500-11	約 6,000 ページ
EP カートリッジ 14K	PR-L8500-12	約 14,000 ページ

注記

- 印刷可能ページ数は、A4 サイズ、像密度 5% の印字比率で、普通紙を片面連続印刷した場合の参考値です。印刷内容、用紙サイズや種類、使用環境などにより、実際の印刷可能ページ数は、参考値と異なる場合があります。
- 本機は、純正の消耗品を使用しているときに印刷品質やプリンター性能がもっとも安定するように設計されています。純正品と異なる仕様の消耗品を使用すると、プリンター本来の性能を発揮できない場合や、仕様外の消耗品が原因でプリンター本体が故障したときに有償修理となる場合があります。純正品をご使用いただけますと､万一のトラブルのときも安心してサポートを受けることができます。本来の性能を得るためにも、純正品の使用をお勧めします。

像密度とは？

印字された用紙の上にどれだけ像が載っているかを表します。印刷すると、像の部分にはトナーがのりますので、言い換えれば、A4 サイズでの像密度 5%という表記は、A4 用紙全体の面積中 5%にトナーがのっていることを表します。

●［コウカンジキ］と表示された！

メッセージ	状態 / 原因 / 対処
ホッパ 1 A4 ヨコ ポート トナーカートリッジノ ↑↓ ホッパ 1 A4 ヨコ ポート コウカン ジキデス	すぐに交換する必要はありませんが、EP カートリッジの予備を用意してください。
トナーカートリッジノ コウカンジキデス ↑↓ ［ストップ］ヲ オスト プリント デキマス	すぐに交換する必要はありませんが、EP カートリッジの予備を用意してください。 〈ストップ / 排紙〉ボタンを押すと、印刷を継続することができます。 **補足** ・EP カートリッジの交換時期を検出してからは、A4 サイズ、像密度 5%の印刷比率で換算した 100 ページ分の印刷が行えます。

●消耗品の寿命は？

上記の表の印刷可能ページ数を、おおよその目安にしてください。
ただし、印刷できるページ数は、印刷条件や原稿の内容によって大きく変化します。

詳しくは ➔ 活用マニュアル

●使用済み消耗品は回収している？

ご使用済みの NEC 製 EP カートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。
ご使用済みの NEC 製 EP カートリッジは捨てずに、EP カートリッジに同梱されている「消耗品回収のご案内」をご覧いただき処理するか、サービス窓口までお持ち寄りください。なお、その際は EP カートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。
（EP カートリッジ回収に関する Web ページ「EP カートリッジ : 環境活動」
URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/ep/ ）

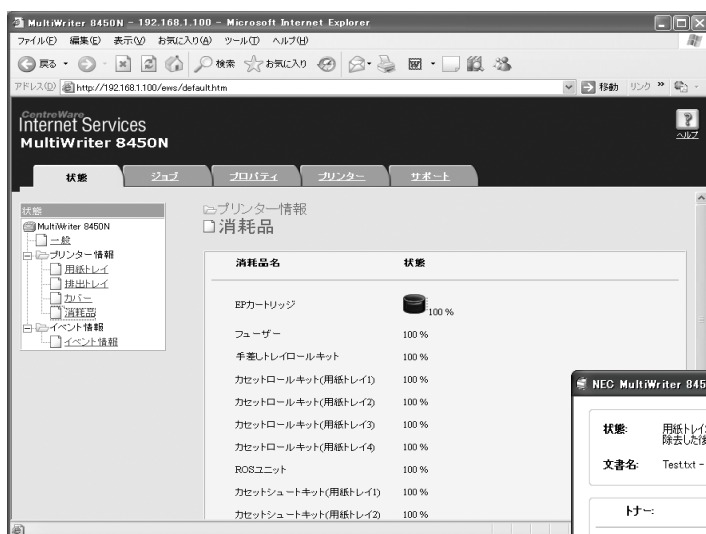
●トナーセーブ機能って、どのくらい節約できる？

プリンタードライバーで［**詳細設定**］タブの［**トナー節約**］をオンにすると、トナーの量が約 30% 節約でき、ランニングコストの低減に貢献します。
ただし、その分、全体的に色が薄くなるので注意してください。

●消耗品の残量がわかる方法は？

CentreWare Internet Services という管理ツールでは、Web ブラウザーを使用して、ネットワーク上のプリンターの消耗品や用紙の残量を確認できます。
また、SimpleMonitor では、ローカルに接続されているプリンターの状態を確認できます。

CentreWare Internet Services➔ 69 ページ
SimpleMonitor➔ 活用マニュアル

CentreWare Internet Services の表示例

SimpleMonitor の表示例

消耗品の交換手順

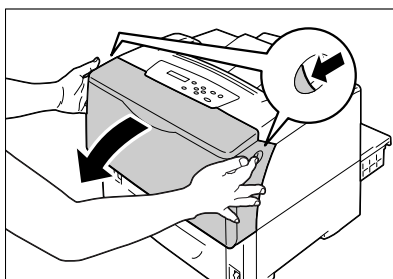
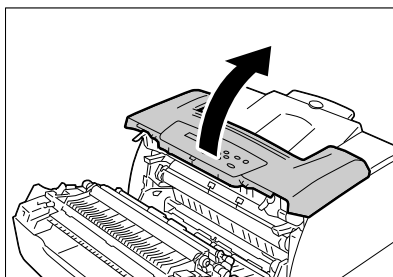
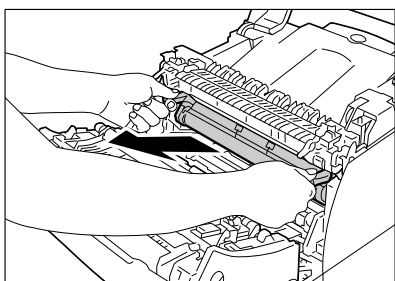
● EP カートリッジを交換するには

⚠注意
・ EP カートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。 次の事項に従って、応急処置をしてください。 ・ トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。 ・ トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。 ・ トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

交換手順は、次のとおりです。EP カートリッジを交換するときは、プリンター内部も清掃します。

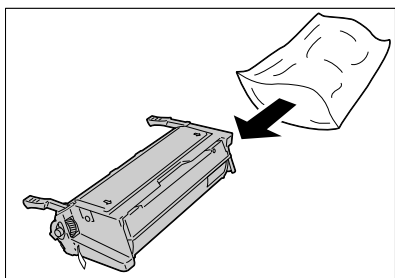
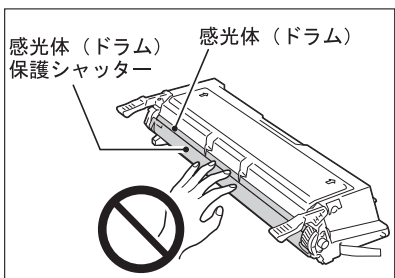
● EP カートリッジを交換するときは、**本機の電源を入れたまま**行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

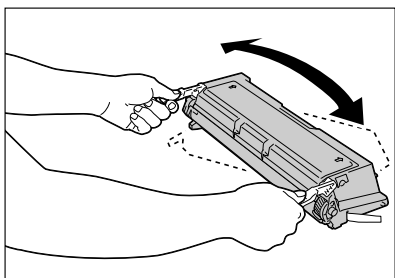
1 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイカバーを閉じます。

● 手差しトレイカバーを閉じるとき、カバー（左右）とプリンター本体の間に指を挟まないように注意してください。

2 フロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

3 トップカバーを開けます。

❹ 図のように EP カートリッジの取っ手を持ち、EP カートリッジを取り出します。

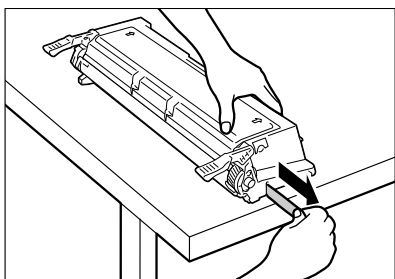
- EPカートリッジは手前にスライドさせて取り出します。

注記

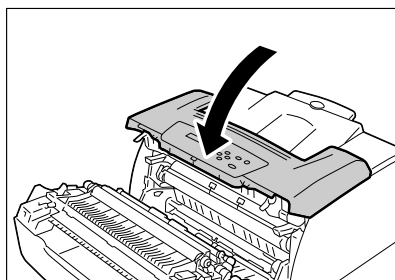
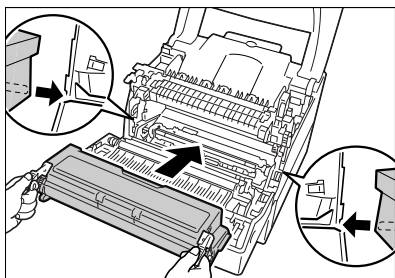
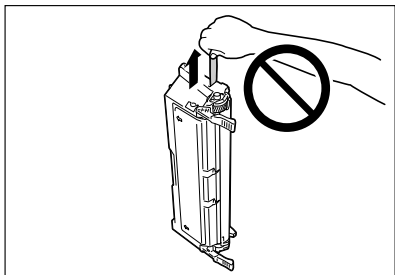
- トナーで手や衣服を汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

❺ 新しい EP カートリッジを袋から取り出します。

注記

- EP カートリッジの感光体（ドラム）保護シャッター、および感光体（ドラム）には触らないようにしてください。

❻ トナーを均一にするため、EP カートリッジを水平に持ち、10 回程度、図に示す方向にゆっくり振ります。

注記

- EP カートリッジは、図のように両端の取っ手を持ってゆっくり振ってください。

❼ EP カートリッジの取っ手を手前にして、机など水平な面に置いて、側面から出ているトナーシールの端を持ち、ゆっくり引き抜きます。

注記

- トナーシールを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。

- 正常に引き抜くと、トナーシールは約 70cm の長さになります。正常に引き抜けなかったときは、プリンターを購入した販売店に連絡してください。
- トナーシールを引き抜くときに少量のトナーが出ることがあります。手や衣服などを汚さないように注意してください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

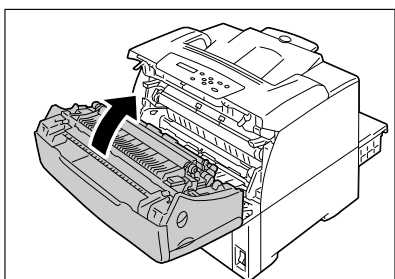
- EP カートリッジを立てた状態でトナーシールを引き抜かないでください。EP カートリッジを立てた状態でトナーシールを引くと、途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。
- トナーシールが途中で引き抜けなくなった状態、または途中で切れた状態のままEPカートリッジをセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンター本体に障害が生じることがあります。
- トナーシールを引き抜いたあとは、EP カートリッジを振ったり、EP カートリッジに衝撃を与えたりしないでください。

8 図のように、EP カートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取っ手を持ち、EPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせて、スライドさせてセットします。

- EP カートリッジが浮き上がっていたり、斜めになったりせず、確実に奥までセットされていることを確認してください。

注記

- プリンター内部の部品には、手を触れないでください。
- EP カートリッジが確実にセットされていることを確認してください。

9 トップカバーを閉じます。

⑩フロントカバーを閉じます。

4

プリンターの操作・設定

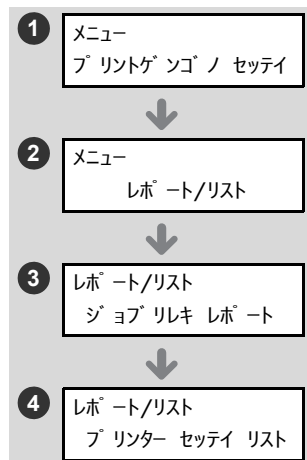
ー管理者向けー

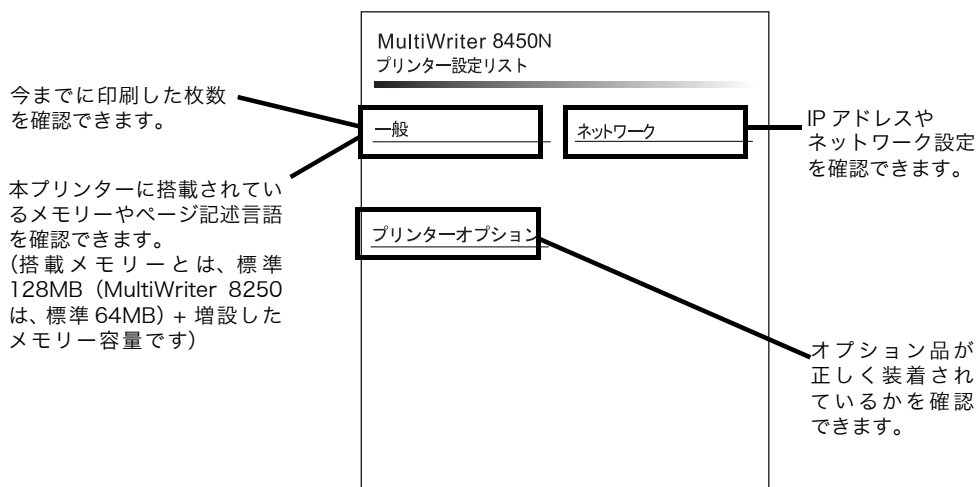
プリンター設定リストを印刷するには

［プリンター設定リスト］は、プリンターの構成や、ネットワーク設定を確認できるリストです。また、本プリンターでは、操作パネルでの設定値を確認できる［パネル設定リスト］や、使用できるフォントの印字例を確認できる［フォントリスト］なども印刷できます。次の手順 4 で印刷したいリスト名を選択してください。

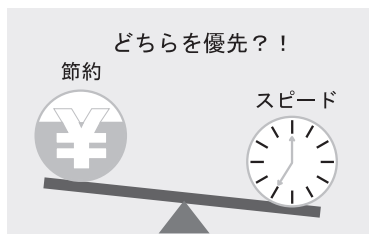
注記
プリンター設定リストを印刷できるのは、A4□だけです。A4 用紙をよこ置きにセットしてから、操作してください。

プリンターで印刷できるリストの種類 ➔ 活用マニュアル

1. 操作パネルの〈**メニュー**〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［**レポート / リスト**］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉ボタンで選択します。
［**ジョブリレキ レポート**］が表示されます。
4. ［**プリンター セッテイ リスト**］が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈**ストップ / 排出**〉ボタンで印刷します。

● ［プリンター設定リスト］で確認できることの一例

次の例は、MultiWriter 8450N のプリンター設定リストです。

節電モードをオフにしたい

本プリンターには、低電力モード（消費電力 約 20W 以下）と、スリープモード（消費電力 約 5W 以下）の 2 種類の節電モードがあります。
工場出荷時は、1 分間印刷データを受信しないと、低電力モードに移行し、さらに 1 分間データを受信しないと、スリープモードに移行する設定になっています。
低電力モードになると、操作パネルの下段に「セツデンチュウ」と表示されます。
スリープモードになると、〈電源〉ランプだけが点灯し、ほかのランプは消灯します。ディスプレイも消灯し、何も表示されません。

節電モードは、消費電力を節約するたいへんうれしい機能ですが、その一方で、印刷を指示してから印刷されるまでの時間が通常より長くなってしまいます。
節電機能を完全に働かないようにすることはできませんが、節電機能に切り替わる時間を長くすることで対応できます。

●スリープモードを無効にする

より消費電力を節約するスリープモードを無効にします。

1. 〈**メニュー**〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［**キカイ カンリシャ メニュー**］が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
3. ［**システム セッテイ**］が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
4. ［**スリープ モード**］が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
5. ［**ムコウ**］が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。

これで、スリープモードには切り替わらなくなりました。

●低電力モードを無効にする

低電力モードを無効にします。

6. 〈◀〉ボタンで、［**スリープ モード**］に戻ります。
7. 〈▲〉ボタンで［**テイデンリョク モード**］を表示し、〈▶〉ボタンで選択します。
8. 〈▲〉または〈▼〉ボタンで［**ムコウ**］を表示し、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。
9. 〈**メニュー**〉ボタンを押します。

補足
・ 低電力モードを無効にするには、あらかじめスリープモードを無効にする必要があります。

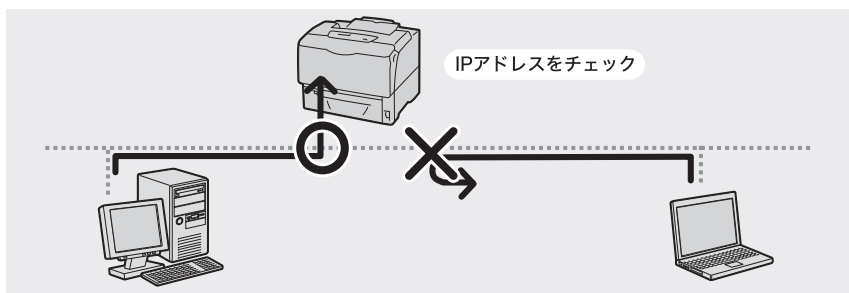
プリンター設定を勝手にさせない - パネルロック -

人がたくさん出入りするような場所では、操作パネルを暗証番号でロックしておくと安心です。これによって、メニュー画面を表示するためにはパスワードの入力が必要になります。
勝手に設定内容を見たり、変更したりされる心配はなくなります。

1. 〈**メニュー**〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [**キカイ カンリシャ メニュー**] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
3. [**システム セッテイ**] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
4. [**ソウサパネル セッテイ**] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
5. [**ソウサパネル セイゲン**] が表示されていることを確認し、〈▶〉ボタンで選択します。
6. 〈▼〉ボタンで [**スル**] を表示し、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。
7. 〈◀〉ボタンで、[**ソウサパネル セイゲン**] に戻ります。
8. 〈▼〉ボタンで [**アンショウバンゴウ セッテイ**] を表示し、〈▶〉ボタンで選択します。
9. [**ゲンザイノバンゴウ**] と表示されるので、現在の暗証番号を入力します。〈▶〉ボタンで桁を移動しながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで 1 桁ずつ数字を入力します。工場出荷時の状態では、[0000] に設定されています。
10. 暗証番号が入力できたら、〈**ストップ / 排出**〉ボタンを押します。入力した値が正しければ、[**アタラシイバンゴウ**] と表示されます。
11. 任意の 4 桁の数字を、同様に入力し、最後に〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。
12. 確認のため、表示された画面でもう一度同じ暗証番号を入力し、最後に〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。
13. 〈**メニュー**〉ボタンを押します。

この暗証番号は、次回メニュー画面を表示するときから有効です。
なお、暗証番号を忘れてしまって、どうしても思い出せない場合は、活用マニュアルを参照して、暗証番号を初期化してください。
また、本機能は、CentreWare Internet Serivces からも設定できます。
詳しくは ➔ 69 ページ

IP アドレスでユーザーを制限したい

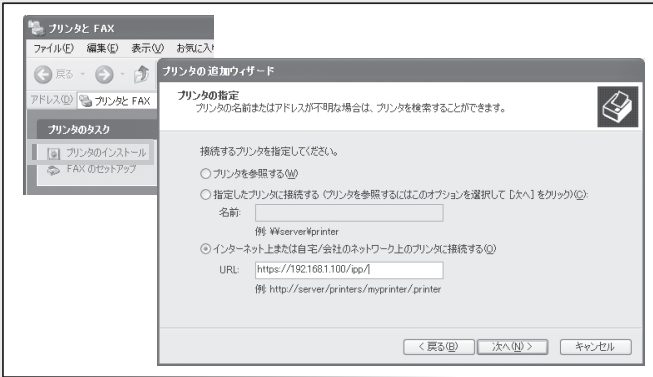
LPD プロトコル、または Port9100 プロトコルを使用して印刷する場合、本プリンターでは、コンピューターの IP アドレスを使って、印刷ができるユーザーを制限できます。
制限したい IP アドレス、アドレスマスクを入力し、モード（許可 / 拒否 / しない）を設定します。IP アドレスは、5 個まで登録できます。
設定する前に、LPD および Port9100 以外の印刷ポートを停止してください。

IP アドレス 192.168.100.10 からの印刷だけを許可する場合を例に説明します。

その他の設定例 ➔ 活用マニュアル

1. 〈**メニュー**〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ［**キカイ カンリシャ メニュー**］が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
3. ［**ネットワーク / ポート セッテイ**］が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
4. ［**ウケツケ セイゲン**］が表示されるまで〈▼〉ボタンを押し、〈▶〉ボタンで選択します。
5. ［**フィルター 1 IP アドレス**］が表示されていることを確認し、〈▶〉ボタンで選択します。
6. 〈▲〉〈▼〉ボタンで、受信制限をしたい IP アドレス（192.168.100.10）を入力します。
   フィールドを移動するときは、〈▶〉ボタンを押します。
7. IP アドレスが入力できたら、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。
8. 〈◀〉ボタンで［**フィルター 1 IP アドレス**］に戻ります。
9. 〈▼〉ボタンで［**フィルター 1 マスク**］を表示し、〈▶〉ボタンで選択します。
10. IP アドレスと同様にアドレスマスク（255.255.255.255）を入力し、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。
11. 〈◀〉ボタンで［**フィルター 1 マスク**］に戻ります。
12. 〈▼〉ボタンで［**フィルター 1 モード**］を表示し、〈▶〉ボタンで選択します。
13. 〈▼〉ボタンで［**キョカ**］を表示し、〈**ストップ / 排出**〉ボタンで決定します。
14. 設定が終わったら、〈**メニュー**〉ボタンを押します。

暗号化通信でデータを守る！

コンピューターからプリンターに印刷するときに、通信経路を SSL*1 で暗号化して送信します。仮にネットワーク上で不正アクセスしようとしても、経路が暗号化されているため情報の漏洩を抑止します。
この機能は、CentreWare Internet Services での設定情報のやり取りや、IPP プロトコルを使用したコンピューターからの印刷で利用できます。
この機能を使用するには、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。

●暗号化機能を使用するためには

詳しくは ➔ 活用マニュアル

*1：Secure Socket Layer: インターネット上で機密性の高い情報をやり取りできるようにするために、米 Netscape 社が開発したセキュリティー機能付きの HTTP プロトコルです。

認証機能を使って、個人別の利用状況を管理する

本プリンターには、利用できる機能に制限をかける認証機能があります。
認証機能を使用した場合は、あらかじめプリンターに登録したユーザー ID によって利用できるユーザーを限定し、その印刷についても、印刷枚数などの上限値を設定したりすることができます。
この機能を利用すると、［プリンター集計管理レポート］でユーザー別の利用状況が集計されるので、利用者にコスト意識を浸透させ、無駄な印刷の削減にもつながります。
詳しくは ➔ 活用マニュアル

● ［プリンター管理集計レポート］の印刷例

［プリンター集計管理レポート］は、操作パネルの［**レポート / リスト**］＞［**シュウケイ レポート**］を選択すると、印刷できます。
リストの印刷方法 ➔ 62 ページ

ユーザーID	ユーザー名	上限ページ数		累積ページ数		累積枚数
		白黒	カラー	白黒	カラー	
1	User01	9999000	999900	0	0	0
2	User01	1000	無効	0	0	0
	Report/List			150	0	150
	総合計			150	0	150

プリンター集計レポートについて

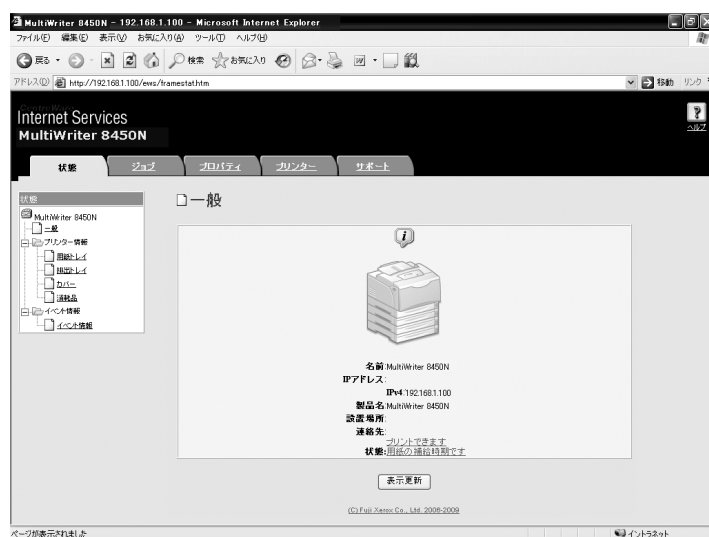
認証機能は、工場出荷時の状態では無効に設定されています。このとき、操作パネルから［シュウケイ レポート］を選択すると、［プリンター集計レポート］が印刷されます。
［プリンター集計レポート］では、ジョブオーナー別にページ数や、総枚数などを確認できます。

ジョブオーナー名	ページ数	枚数
User1	549	549
User2	2	1
User3	1	1
UnknownUser	1	1
Report/List	0	0
総合計	553	552

プリンターの設定・管理用ツールについて

本書では、操作パネルからプリンターを設定する方法を中心に説明していますが、本プリンターには、次のような便利なツールも用意されています。

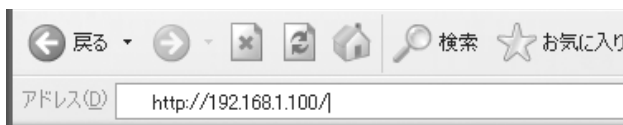
CentreWare Internet Services
ー　席にいながらプリンターの状態が確認できる　ー

CentreWare Internet Services では、コンピューターから Web ブラウザーを使ってジョブの管理やネットワーク設定、用紙やトナーの残量などが確認できます。

また、CentreWare Internet Services の［**プロパティ**］タブでは、操作パネルと同様な設定ができるだけでなく、CentreWare Internet Services でなければ設定できない項目もあります。

○：設定可能、△：一部可能、×：設定不可

設定項目	操作パネル	CentreWare Internet Services
ポートの起動	△	○
IP アドレスの設定	○	○
メール環境の設定	×	○
プリンターの状態の確認	×	○
プリントデータ（ジョブ）の状態の確認	×	○
IP アドレスによる利用制限	○	○
個人の認証情報の設定（UserID とパスワード）	△	○
データの暗号化に関する設定	△	○

●起動のしかた

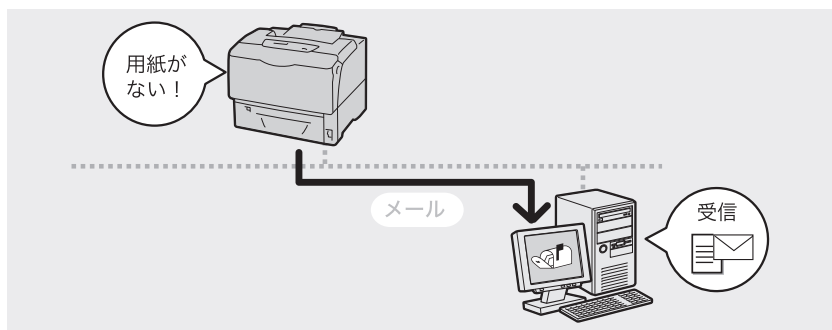
Web ブラウザーのアドレス欄に、http:// に続けて、本機の IP アドレスを入力すれば起動できます。

●各機能について知りたいときは

［**ヘルプ**］ボタンをクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。

StatusMessenger　ー　エラーを知らせてくれる　ー

トナーの残量が少ない、紙づまりが起きている、用紙がない、などのエラーやプリンターの状況を指定したメールアドレスに通知するように設定できます。この機能を「StatusMessenger」といいます。
StatusMessenger 機能を使用するには、CentreWare Internet Services で、［**StatusMessenger**］ポートを起動にして再起動したあと、メール環境や通知先のアドレスを設定します。

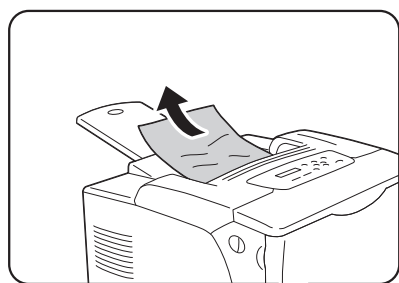
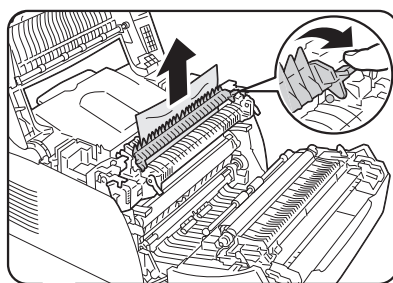
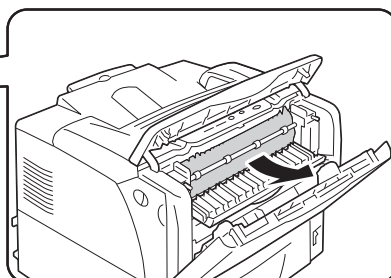
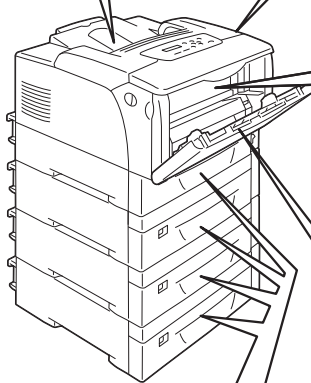
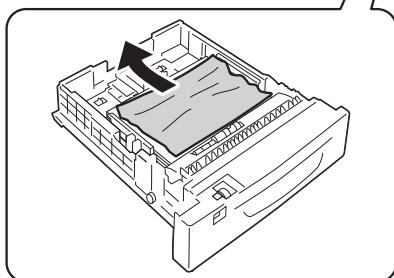
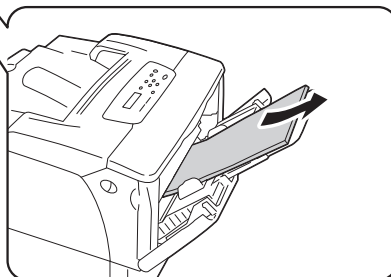
➔ 活用マニュアル

5

困ったときには

●トラブルの原因は、本プリンターの注意制限の場合もあります。注意制限事項については、活用マニュアルを参照してください。

●解決策が見つからないときは、または処置をしても改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

紙づまりの処置

用紙が詰まったときには、操作パネルにエラーメッセージが表示されます。
メッセージに従って、カバーを開けたら、下の図で紙づまりの位置を確認します。
手差しトレイに用紙をセットしている場合は、手差しトレイの用紙を取り除き、手差しトレイカバーを閉じてから、フロントカバーを開けてください。そのあと、次ページから説明している各位置の対処方法を参照して、用紙を取り除いてください。

ポイント

- 手差しトレイに用紙をセットしている場合は、まず、手差しトレイの用紙を取り除き、手差しトレイカバーを閉じてから、フロントカバーを開けたり、用紙カセットを引き出したりしてください。
- 紙づまりの対処でカバーを閉じるときは、指を挟まないように注意してください。

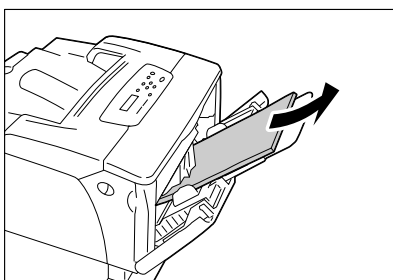
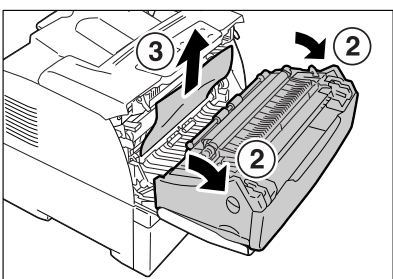
⚠注意

- 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。
  特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
- 定着部は高温になっています。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺は触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

紙づまり除去方法アイコンを知っていますか？

機械に貼られているラベル中の下図のアイコンは、紙づまり除去方法という意味です。用紙が詰まったときには、このアイコンがついているラベルの指示も参考にしてください。

紙づまり除去方法アイコン

手差しトレイでの紙づまり

❶ プリンターの電源は入れたまま、手差しトレイに詰まっている用紙はそのままにして、残りの用紙を取り除きます。

❷ 本体左右側面にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

指挟みに注意 ➔ 24 ページ

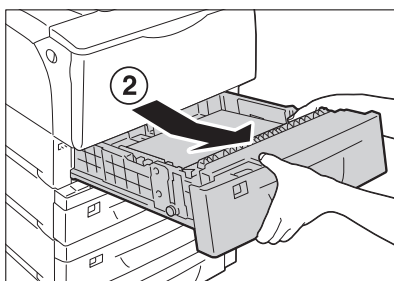
❸ 詰まっている用紙を取り除きます。

⚠注意

- 定着部は高温になっています。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺は触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

❹ フロントカバーを閉じます。

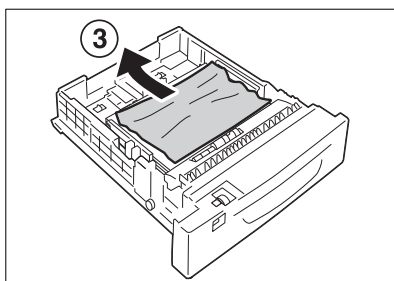
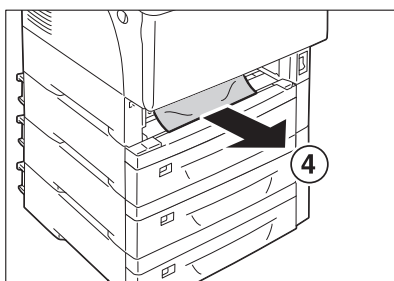
指挟みに注意 ➔ 24 ページ

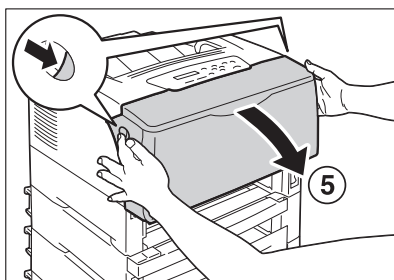
ホッパ / 用紙カセット 1 〜 4 での紙づまり

1 プリンターの電源は入れたまま、手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイカバーを閉じます。

指挟みに注意 ➔ 24 ページ

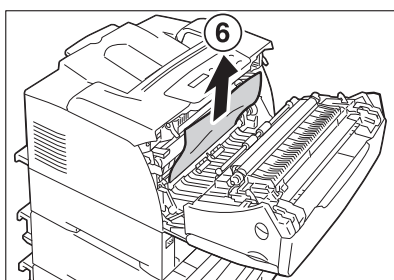
2 用紙カセットをゆっくりと引き出し、プリンターから取り外します。

注記

- メッセージに複数のホッパ/用紙カセットが表示されている場合は、下のホッパ / 用紙カセットから順に確認してください。
- ホッパにセットされた用紙は、ホッパの手前側を経由してプリンター本体に送られます。この部分に用紙が詰まった場合、下の用紙カセットから順に抜き出さないと上段の用紙カセットが抜き出せないことがあります。
- 用紙カセットは、2 つ以上を同時に引き出すことはしないでください。

3 詰まっている用紙や、しわになっている用紙を取り除きます。

4 プリンター内部に詰まっている用紙がある場合は、破れないように注意して引き出します。

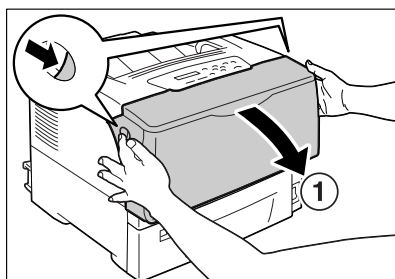
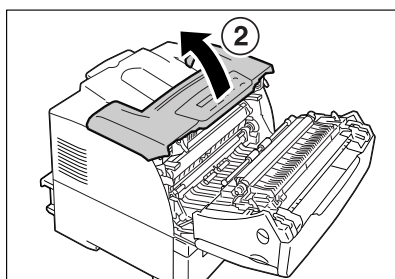
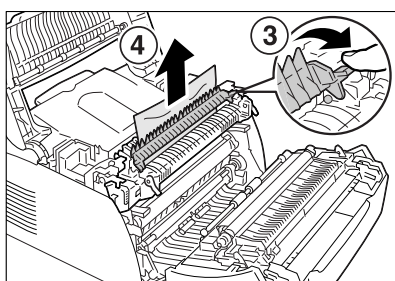
⚠注意
・ 定着部は高温になっています。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺は触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

5 本体左右側面にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

ポイント

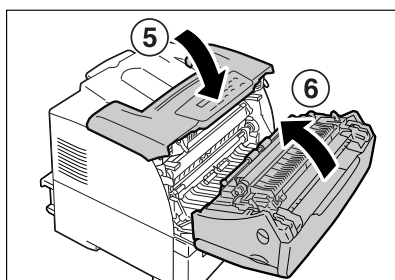
- フロントカバーは、必ず開けてください。プリンター内部に詰まっている用紙がない場合でも、カバーを開閉しないと、エラーは解除されません。

❻詰まった用紙がある場合は、取り除きます。内部に破れた紙片が残っていないかを確認します。

❼フロントカバーを閉じ、用紙カセットをプリンターの奥までしっかり押し込みます。

指挟みに注意 ➔ 24 ページ

定着ユニットでの紙づまり

❶プリンターの電源は入れたまま、本体左右側面にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開けます。

❷トップカバーを開けます。

❸必要に応じて、定着部カバーを、右側のレバーを持って開けます。

⚠注意
・ 定着部は高温になっています。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺は触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

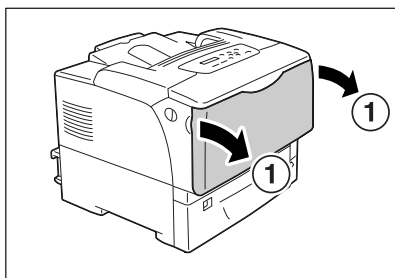
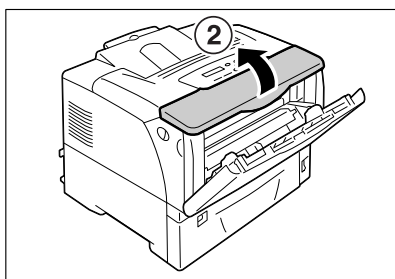
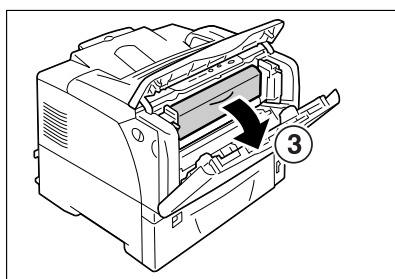
❹もう一方の手で詰まっている用紙を取り除きます。

❺トップカバーを閉じます。

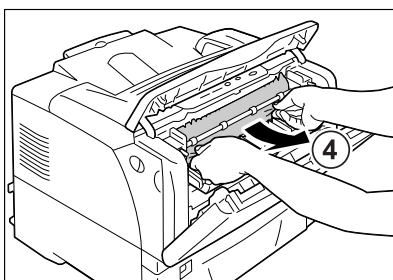
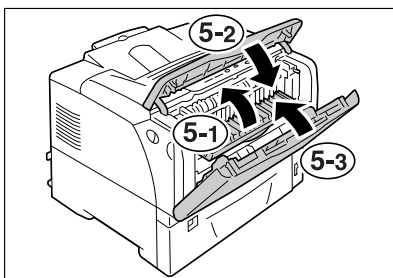
❻フロントカバーを閉じます。

指挟みに注意 ➔ 24 ページ

両面印刷ユニットでの紙づまり

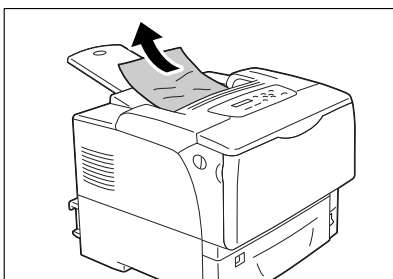
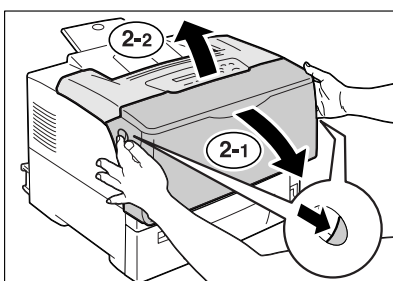
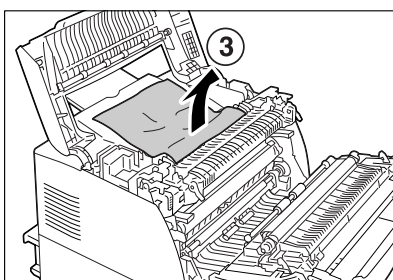
補足

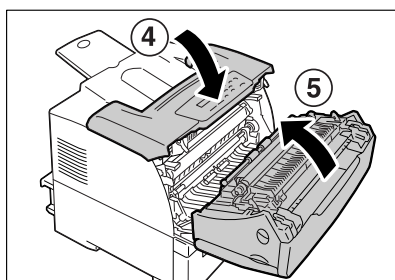
・ MultiWriter 8250 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

❶プリンターの電源は入れたまま、手差しトレイカバーを開けます。

❷上部カバーを開けます。

❸中央の取って部分を持って、両面印刷ユニットの内部カバーを開けます。

❹詰まっている用紙を取り除きます。

❺内部カバー、上部カバー、手差しトレイカバーの順で閉じます。

指挟みに注意 ➔ 24 ページ

排紙部での紙づまり

❶プリンターの電源は入れたまま、詰まっている用紙を取り除きます。

❷トップカバーの内部に用紙があるときは、本体の左右側面にあるフロントカバー開閉レバーを引きながら、フロントカバーを開け、トップカバーを開けます。

❸詰まっている用紙を取り除きます。

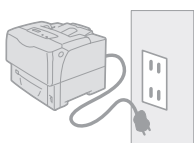
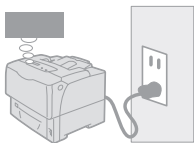
⚠注意
・ 定着部は高温になっています。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺は触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

❹トップカバーを閉じます。

指挟みに注意 ➔ 24 ページ

❺フロントカバーを閉じます。

指挟みに注意 ➔ 24 ページ

機械本体のトラブルや操作で困った！

●電源が入らない

電源コードを差し込み直したり、コンセントの位置を変えたりして、電源を入れ直してください。
それでも電源が入らない場合は、機械の故障かもしれません。
お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

●パネルが真っ暗　ー電源は入っているのに、パネルに何も表示されていない！ー　ー操作パネルのボタンを押しても画面が変わらない！ー

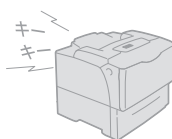
節電モード（スリープモード）に入っている可能性があります。
操作パネルの〈**節電解除**〉ボタンを押してください。節電モードを解除できます。
節電モードが解除できないときは、電源コードがきちんと差し込まれていることを確認して、電源を入れ直してください。
それでも何も表示されない場合は、機械の故障かもしれません。
お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

●異常な音がする

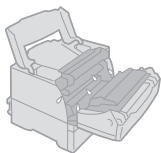
次の点を順番に確認してください。

1. プリンターの設置場所は、水平ですか。
安定した平面の上に移動してください。

2. 用紙カセットが外れていませんか。
用紙カセットをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。

3. プリンター内に異物が入っていませんか。
電源を切り、機械内部の異物を取り除いてください。機械を分解しないと取り除けない場合は、無理をせずに、サービス窓口にご連絡ください。

●節電モードに移行しない

操作パネルで低電力モードおよびスリープモードへの移行を［**ムコウ**］に設定している可能性があります。
その場合は、［**キカイ カンリシャ メニュー**］＞［**システム セッテイ**］＞［**テイデンリョクモード**］および［**キカイ カンリシャ メニュー**］＞［**システム セッテイ**］＞［**スリープ モード**］を［**ユウコウ**］にしてください。

●機械内部に結露が発生！

操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間で水滴がなくなり、正常に使用できます。
長期間使用しない場合は、電源をお切りください。消費電力の節約になります。

●紙づまりが頻発するのですが

紙づまりの原因になる代表的なものを紹介します。
確認してみてください。

1. プリンタードライバーや操作パネル、用紙カセットの用紙サイズ設定ダイヤルで、用紙種類や用紙サイズを正しく設定していますか。
設定を確認してください。特に、定形外用紙を使用している場合は、用紙サイズの設定が実際の用紙よりも小さいと、紙づまりが起こることがあります。

2. 弊社が推奨している適切な用紙を使用していますか。

適切な用紙を使用してください。
➔ 42 ページ

3. 用紙が湿気を含んでいませんか。

新しい用紙と交換して、試してください。

4. 用紙の搬送路に異物や紙片がありませんか。

プリンターの電源を切り、内部の異物を取り除いてください。機械を分解しないと取り除けない場合は、無理をせずに、サービス窓口にご連絡ください。

● IP アドレスや MAC アドレスを確認する方法がわからない

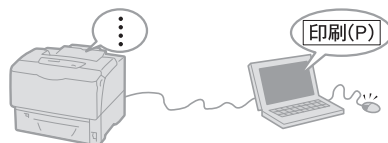
本プリンターに設定されている IP アドレスや MAC アドレスを知りたいときは、［**プリンター設定リスト**］を印刷してみるのがお勧めです。「**ネットワーク**」で確認できます。
➔ 62 ページ

●ブラウザーで設定しようとすると、パスワード入力画面が出た

CentreWare Internet Services で、プリンターの設定を変更するには、機械管理者 ID とパスワードが必要です。CentreWare Internet Services の機械管理者 ID とパスワードの初期値は、次のとおりです。
機械管理者 ID：admin
パスワード：NECPRADMIN

印刷できない、遅くて困った！

●印刷できない

次の点を順番に確認してください。

1. 電源は入っていますか。

電源コードがきちんと差し込まれているか、電源スイッチが「I」側になっているかを確認します。
電源コードは、念のため、プリンターとコンセントの両方をチェックしてください。

2. インターフェイスケーブルは、正しく差し込まれていますか。

いったん抜いてから、差し込み直してください。

3. 〈**印刷可**〉ランプが消えていて、パネルに何か表示されていませんか。

［**オフライン**］と表示されている場合は、〈**メニュー終了**〉ボタンを押して、オフライン状態を解除してください。
メニュー画面になっている場合は、〈**メニュー**〉ボタンを押して、メニューを設定している状態を解除してください。

4. 〈**エラー**〉ランプが**点滅**していませんか。

この場合は、お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

5. 〈**エラー**〉ランプが**点灯**していて、パネルに何か表示されていませんか。

メッセージによっては、お客様で対処できるものもあります。「エラーメッセージ一覧（50 音順）」および「エラーコード一覧」をごらんください。
本書に記載されていないメッセージやエラーコードが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
➔ 93、98 ページ

6. 使用するポートは［**キドウ**］になっていますか。

ポートの状態は、［**プリンター設定リスト**］または［**パネル設定リスト**］で確認できます。［**テイシ**］の場合は、操作パネルで［**キカイ カンリシャ メニュー**］＞［**ネットワーク / ポート セッテイ**］から使用するポートを選択し、［**ポートノキドウ**］を変更してください。

7. パラレルケーブルで接続時、コンピューターは双方向通信に対応していますか。

購入時、本プリンターの双方向通信の設定は［**ユウコウ**］になっています。コンピューターが双方向通信に対応していないと印刷できません。この場合は、操作パネルで［**キカイ カンリシャ メニュー**］＞［**ネットワーク / ポート セッテイ**］＞［**パラレル**］＞［**ソウホウコウ ツウシン**］を［**ムコウ**］にしてください。

8. ネットワークプリンターの場合、プリンターの IP アドレスは正しく設定されていますか。また、受信制限の設定が間違っていませんか。

機械管理者に本機の設定が正しいかどうかを確認してもらい、必要であれば変更してください。

9. それでも解決しない場合は、機械の故障かもしれません。

サービス窓口にお問い合わせください。

●印刷が遅い

印刷する用紙の種類（はがきや OHP フィルムなど）やサイズ、原稿の複雑さによっては、印刷に時間がかかる場合があります。
それでも、どうしても遅くて困る！という場合は、次のことを試してみてください。印刷にかかる時間を短縮できることがあります。

1. プリンターのプロパティダイアログボックスの［**詳細設定**］タブにある［**解像度**］を下げて、印刷してみてください。

2. TrueType フォントの印刷方法によっては、印刷に時間がかかることがあります。プリンターのプロパティダイアログボックスの［**詳細設定**］タブにある［**TrueType フォント置換**］で、TrueType フォントの印刷方法を変更して、印刷してみてください。
➔ プリンタードライバーのヘルプ

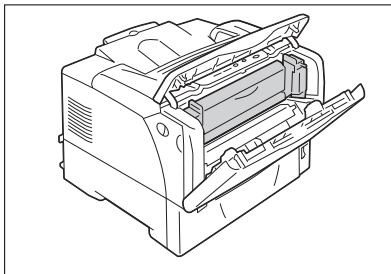
●〈印刷可〉ランプが点灯、点滅したまま、機械が止まってしまう

データがプリンター内部に残っています。
操作パネルで、〈**キャンセル**〉ボタンを 2 秒以上押して印刷を中止するか、〈**ストップ / 排出**〉ボタンを押して残っているデータを強制排出してください。

●自動両面印刷ができない

両面印刷ユニット＊が正しく取り付けられていない可能性があります。本体の左右側面にあるフロントカバー開閉レバーを引きながらフロントカバーを開け、両面印刷ユニットが、正しくプリンターのコネクターに接続されていることを確認してください。

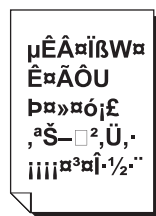
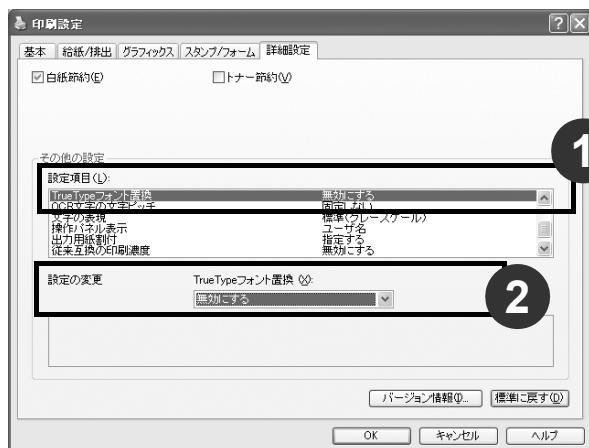
＊: MultiWriter 8250 の場合は、両面印刷ユニットはオプションです。

➔ 両面印刷ユニットの設置手順書

印字品質や画質で困った！

活用マニュアルには、症状別により細かく分けて、対処法を説明しています。
本書で解決できない場合は、そちらもごらんください。

●文字化けする。画面表示と印刷結果が一致しない

印刷時にプリンターのプロパティダイアログボックスで、［**詳細設定**］タブにある［**その他の設定**］の［**設定項目**］で［**TrueType フォント置換**］を選択し、［**設定の変更**］で［**無効にする**］を設定して、印刷してみてください。

µÊÂ¤ÏßW¤
Ê¤ÃÔU
Þ¤»¤ó¡£
,ªŠ–□²,Ü,·
¡¡¡¡¤³¤Î·½·¨

●もっと濃くプリントしたい

印刷時にプリンターのプロパティダイアログボックスで、［**グラフィックス**］タブの設定を変更してみてください。

●指でこするとかすれる、トナーが定着しない、トナーで用紙が汚れる

次の点を順番に確認してください。

1. 弊社が推奨している適切な用紙を使用していますか。

適切な用紙を使用してください。

➔ 42 ページ

2. 用紙が湿気を含んでいませんか。

新しい用紙と交換して、試してください。

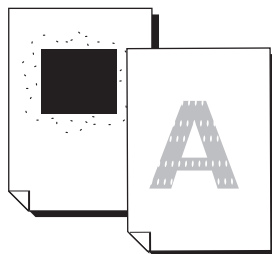
3. 選択されている手差しトレイまたはホッパの用紙種類は適切ですか。

別の用紙種類に設定を変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は厚紙 1 に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。

4. 上記に該当しない場合は、定着ユニットが劣化、または損傷している可能性があります。サービス窓口にお問い合わせください。

●画像の一部白点になる、画像周辺にトナーが飛び散る

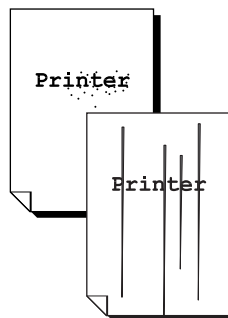
弊社が推奨している適切な用紙を使用していますか。
適切な用紙を使用してください。

➔ 42 ページ

●汚れ、点や線が印刷される

次の点を順番に確認してください。

1. 用紙搬送路に汚れが付着している場合があります。
数枚印刷してください。

2. プリンターの内部が汚れている可能性があります。
その場合は、プリンターの内部を清掃してください。
➔ 活用マニュアル

3. EP カートリッジや定着ユニットの劣化、損傷、または機械の故障かもしれません。
サービス窓口にお問い合わせください。

●かすれ、白抜け、にじみ

次の点を順番に確認してください。

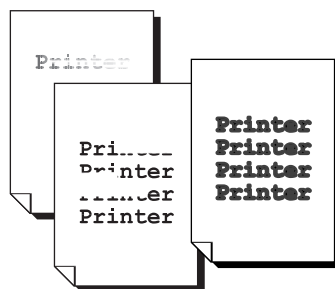
1. 弊社が推奨している適切な用紙を使用していますか。
適切な用紙を使用してください。
➔ 42 ページ

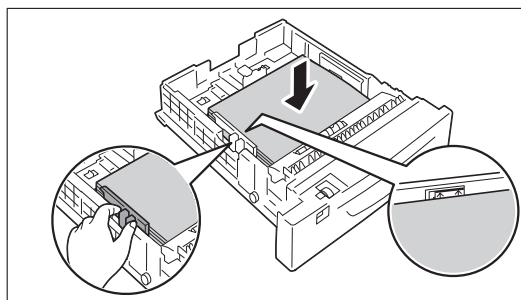
2. 用紙が湿気を含んでいませんか。
新しい用紙と交換して、試してください。

3. EP カートリッジやピックローラが正しくセットされていますか。
正しくセットし直してください。

4. プリンターの内部が汚れている可能性があります。
プリンターの内部を清掃してください。
➔ 活用マニュアル

5. プリンター内部に結露が発生している可能性があります。
操作パネルを使用して、スリープモードへの移行時間を 1 時間以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間で水滴がなくなります。
➔ 80 ページ

6. EP カートリッジや定着ユニットの劣化、損傷、または機械の故障かもしれません。
サービス窓口にお問い合わせください。

●斜めに印刷される

手差しトレイ、または用紙カセットの用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。また、用紙カセットについては、用紙をセットした後に、再び用紙ガイドクリップを指でつまみ用紙の端に押し当てるように動かしてください。セットしている用紙が少量の場合、強い力で用紙ガイドを押し当てると用紙がたわむ場合があります。たわまないよう用紙ガイドを移動させてください。

ポイント

本プリンターでは、増設ホッパ (250)PR-L8500-02、増設ホッパ (550)PR-L8500-03、増設カセット (250)PR-L8500-04、増設カセット (550)PR-L8500-05 は使用できません。正しいオプションを使用してください。

オプション品一覧 ➔ 104 ページ

手差しトレイを使用している場合は、セットする用紙に対して手差しトレイの長さは十分ですか。手差しトレイは、セットする用紙の長さに合わせて、2 段階延長できます。

➔ 48、45 ページ

●写真などがぼやける

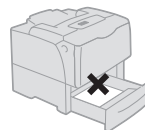
画像処理用アプリケーションなどで、元画像のシャープネスを調整してから印刷してください。

元画像を調整できない場合は、印刷時にプリンターのプロパティダイアログボックスで、［**グラフィックス**］タブにある［**画質調整**］を変更してみてください。

ぼやけた写真

手差しトレイやホッパ、用紙送りで困った！

●ホッパから用紙が給紙されない

次の点を順番に確認してください。

1. 用紙カセットに用紙がセットされていますか。

印刷時に指定したサイズおよび種類の用紙を、
セットしてください。

2. 用紙カセットが外れていませんか。

いったん、用紙カセットを手前に引き出して、再度プリンターの奥までしっかり押し込んでください。

3. 用紙が湿気を含んでいませんか。

新しい用紙と交換して、印刷してみてください。

4. 機械内部に、用紙の紙片や異物が入っていませんか。

プリンターの電源を切り、内部の異物を取り除いてください。簡単に取り除けない場合は、無理をせずに、サービス窓口にご連絡ください。

5. ピックローラが磨耗している、または寿命に達している可能性があります。

はじめに、ピックローラを清掃して、解決するかどうかを試してみます。それでも状態が改善されない場合は、ピックローラの交換が必要かもしれません。サービス窓口にご連絡ください。

ピックローラの清掃 ➔ 活用マニュアル

6. 他機種の用紙カセットを使用していませんか。

本プリンターでは、増設ホッパ (250)PR-L8500-02、増設ホッパ (550)
PR-L8500-03、増設カセット (250)PR-L8500-04、増設カセット (550)
PR-L8500-05 は使用できません。正しいオプションをご使用ください。

オプション品一覧 ➔ 104 ページ

●手差しトレイまたはホッパから用紙が正しく選択されない

プリンターとプリンタードライバーで、次の点を確認してください。

プリンター側

1. 用紙切れではありませんか。

2. 用紙サイズ設定ダイヤルは、セットされている用紙サイズと合っていますか。

3. 手差しトレイまたはホッパの用紙種類は正しく設定されていますか。

4. 定形外用紙をセットしている場合は、用紙のサイズを正しく設定していますか。

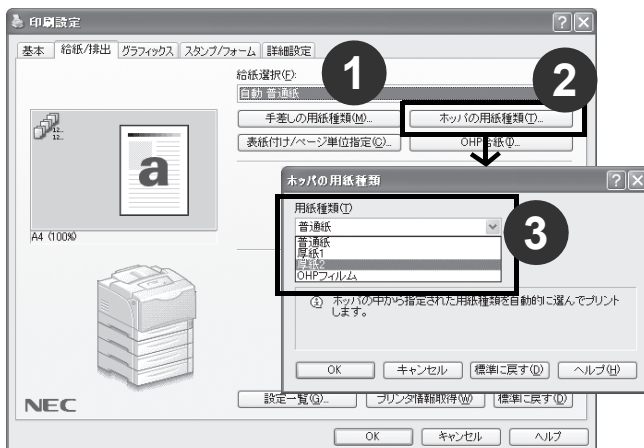
➔ 50 ページ

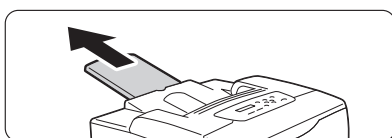
プリンタードライバーの［基本］または［給紙 / 排出］タブ

1. サイズが違う場合

［**出力用紙サイズ**］の設定は正しいですか。また、［**給紙選択**］で、間違った手差しトレイまたはホッパを指定していませんか。

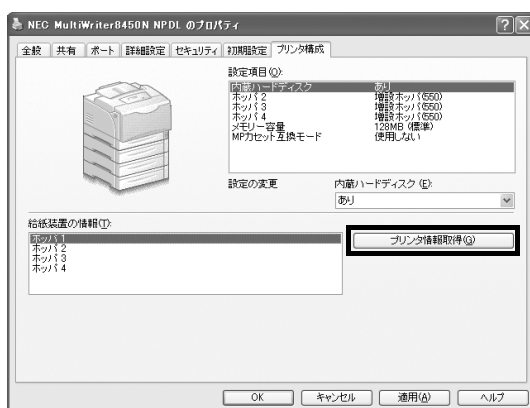
2. 用紙種類が違う場合

普通紙以外に印刷する場合、［**ホッパの用紙種類**］を設定しましたか。
購入時の設定のまま使用している場合は、給紙選択で［**自動**］を設定すると、まず、指定したサイズの普通紙がセットされているホッパから給紙されます。普通紙以外に印刷する場合は、使用するホッパを直接指定するか、ホッパの用紙種類を指定してください。

●排出された用紙がすべり落ちてしまう

気がついたら、プリンターの周りに印刷された用紙が散らばっているなんてことはありませんか。B4 や A3 などの大きいサイズの用紙を印刷することが多い場合は、本プリンターの排出トレイを延長してください。

プリンタードライバーで困った！

●印刷時にプロパティで項目が設定できない

プリンタードライバーには、プリンターに取り付けられているオプションの設定をしないと設定できない機能があります。
［**プリンタ構成**］タブで、オプション品の設定をします。手順は次のとおりです。

1. ［**スタート**］→［**プリンタと FAX**］を選択します。
2. 本機のプリンターアイコンを選択し、［**ファイル**］→［**プロパティ**］を選択します。
3. ［**プリンタ構成**］タブ→［**プリンタ情報取得**］をクリックします。

ポイント

- 設定できないときは、ユーザー権限を確認してください。管理者の権利がないと、設定できません。
- ローカルプリンターの場合は、この機能を使用できません。それぞれのオプションについて、手動で設定してください。
- ネットワークが IPv6 環境の場合、この機能は使用できません。それぞれのオプションについて、手動で設定してください。

●プリンタードライバーをインストールできない

プリンターソフトウエア CD-ROM からインストールしている場合は、同 CD-ROM 内のマニュアルを参照し、インストール方法を確認してください。

マニュアルの表示のしかた ➔ 30 ページ

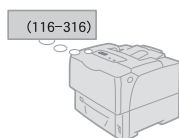
●指定した用紙サイズで印刷ができない。

NPDL プリンタードライバーの用紙サイズ設定が異なっています。
次の表に従って、NPDL プリンタードライバーで選択する用紙サイズを指定してください。
また、下記以外の用紙サイズについては、ユーザー定義サイズ用紙を設定して使用してください。

定型でない用紙に印刷するには ➔ 40 ページ

使用する用紙サイズ	用紙サイズ名
A3	A3
B4	B4（JIS）
A4	A4
B5	B5（JIS）
A5	A5
8.5 x 11"（Letter)	Letter
往復はがき	往復はがき
はがき	はがき
洋形４号	封筒 洋形４号
長尺紙	長尺紙

メッセージで困った！

●エラーメッセージやエラーコードが表示されたら

メッセージに従って対処してください。

エラーメッセージ ➔ 93 ページ
エラーコード ➔ 98 ページ

また、本書に載っていないエラーコードが表示された場合は、エンジニアによる修理が必要になることがあります。
サービス窓口にご連絡ください。

●「紙づまり」が消えない

ちゃんと用紙を取り除いたのに、紙づまりのメッセージが消えない、そのような場合には、もう 1 度、機械の奥のほうまでのぞいてみてください。見えにくいところに、紙片が残っているかもしれません。取れそうにないときは無理をせず、サービス窓口にご連絡ください。
また、フロントカバーの開け閉めでメッセージが消えることがあります。試してみてください。

エラーメッセージ一覧（50 音順）

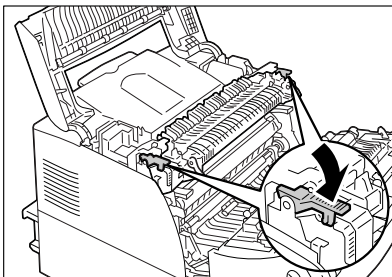
操作パネルにエラーメッセージが表示された場合は、下表を参照して、処置してください。本書に記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

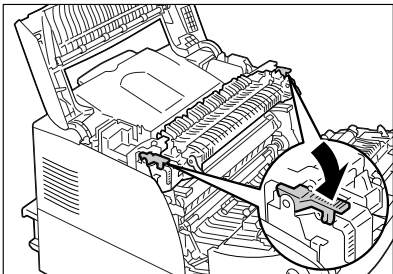
メッセージ	状態 / 原因 / 処置
A [A] ヲアケ ヨウシ ジョキョ トレナケレバ トレイ 1 ヲ ↑↓ ヒキヌキ ヨウシヲ ジョキョシ [A] ヲ アケシメシテクダサイ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 フロントカバーを開け、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 取れないときは、ホッパ 1 の用紙カセットを引き出し、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。 ➔ 72 ページ
PDF インサツキンシデス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	印刷許可されていない PDF 書類を印刷しようとしています。 操作パネルの〈**ストップ / 排出**〉ボタンを押して印刷を取り消します。 印刷許可されていない PDF 書類は印刷できません。
PDF パスワードエラーデス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	PDF ファイルのパスワードとプリンターに設定されているパスワードが一致していません。 操作パネルの〈**ストップ / 排出**〉ボタンを押して印刷を取り消します。 操作パネルで正しいパスワードを設定して、再度実行してください。 ➔ 活用マニュアル
PDL エラー デス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	印刷データの処理の途中でエラーが発生しました。 操作パネルの〈**ストップ / 排出**〉ボタンを押して印刷を取り消します。 印刷データが正しいかを確認してください。
ア インサツメモリーブソク デス [ストップ] ヲ オスト ↑↓ カイゾウド ヲ サゲテ プリントヲ ケイゾク シマス	メモリーが不足して印刷できません。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押すと、印刷できなかったページの解像度を下げて印刷を続けます。〈キャンセル〉ボタンを押すと、印刷を中止します。 同じメッセージが頻繁に表示される場合は、メモリーの増設をお勧めします。
カ カバー [A] ト [C] ヲアケ [E] カラ ヨウシヲ ジョキョ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 フロントカバーとトップカバーを開け、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 ➔ 72 ページ
カバー [A] ／カバー [C] ヲ トジ゛テ クダ゛サイ	フロントカバー、またはトップカバーが開いています。 フロントカバー、またはトップカバーを閉じてください。 ➔ 20 ページ
カバー [D] ヲ トジ゛テ クダ゛サイ	内部カバーが開いています。 内部カバーを閉じてください。 ➔ 20 ページ
カミヅマリデス ホッパ 1 ノ カセットヲ ヒキヌキ ↑↓ ヨウシヲ ジョキョシタアト [A] ヲ アケシメシテクダサイ (ホッパ 1:増設ホッパがないときはホッパと表示)	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 ホッパ 1 の用紙カセットを引き出し、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。フロントカバーの中に詰まった用紙がなくても、カバーを開け閉めするまで、エラーメッセージは解除されません。 ➔ 72 ページ

サ

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
システムエラー デンゲンヲ キリ / イリ スル ***-***	システムエラーが発生しました。 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認してから、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 ➔ 98 ページ
シヨウデキナイ キノウ デス ↑↓ ［ストップ］ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	認証機能を使用して運用している場合、印刷ができるユーザーとして登録されていません。 操作パネルの〈**ストップ/排出**〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 ユーザー登録については、機械管理者に確認してください。
スベテノ ホッパノ ヨウシ カセットヲ ヒキヌイテ ↑↓ ヨウシヲ ジョキョシタアト ［A］ヲ アケシメシテクダサイ	<MultiWriter 8450N の場合 > プリンター内部で紙づまりが発生しています。 すべての用紙カセットを引き出し、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。フロントカバーの中に詰まった用紙がなくても、カバーを開け閉めするまで、エラーメッセージは解除されません。 ➔ 72 ページ
スベテノ ヨウシ カセットヲ セット シテクダサイ	用紙カセットを指定した印刷時に、指定した用紙カセットより上にある用紙カセットのどれかが引き出されています。 用紙カセットを押し込んでください。
ディスクガ イッパイデス ↑↓ ［ストップ］ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	ハードディスク（オプション）の容量がいっぱいです。 操作パネルの〈**ストップ/排出**〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 不要なファイルを削除するなどして、ハードディスクの容量を減らしてください。
テサシカラ ヨウシヲ ジョキョシ ［A］ヲ アケテ クダサイ ↑↓ ［A］ニ ヨウシガアレバ ジョキョ シテクダサイ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 手差しトレイから、詰まっている用紙を取り除いてください。次に、フロントカバーを開け、詰まっている用紙があれば、取り除いてください。 ➔ 72 ページ
テサシ ト ［B］ヲアケ ［D］カラ ヨウシヲ ジョキョシ ↑↓ ［D］ヲトジ ［A］ヲ アケテ ヨウシガ アレバ ジョキョ	両面印刷ユニットで紙づまりが発生しています。 手差しトレイと上部カバーを開け、内部カバーを開けて、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 内部カバーを閉じ、フロントカバーを開けて、紙が詰まっていれば、詰まっている用紙を取り除いてください。 ➔ 72 ページ
テサシ ト ［B］ヲアケ ［D］カラ ヨウシヲ ジョキョシ ↑↓ ［D］ヲトジ ［A］［C］ヲ アケ ヨウシガ アレバ ジョキョ	両面印刷ユニットで紙づまりが発生しています。 手差しトレイと上部カバーを開け、内部カバーを開けて、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。 内部カバーを閉じ、フロントカバーを開けて、紙が詰まっていれば、詰まっている用紙を取り除いてください。 ➔ 72 ページ
テサシニ セット xx xx xxxx	手差しトレイにセットされている用紙サイズが指定と異なります。または、用紙がありません。 手差しトレイにメッセージ（xx xx xxxx）で表示されている用紙をセットしてください。 ➔ 45 ページ

タ

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
テサシノ ヨウシサイズガ チガイマス サイズカクニン	手差しトレイにセットされている用紙のサイズと、プリンタードライバー、または操作パネルの設定が異なります。プリンタードライバー、または操作パネルで設定されているサイズの用紙をセットしてください。
デンゲンヲ キリ / イリ シテクダサイ（***-***）	本機に故障が発生しています。 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「***-***」を確認してから、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 ➔ 98 ページ
トナーカートリッジヲ セット シテクダサイ	EP カートリッジがセットされていません。 本機に適した EP カートリッジを正しくセットしてください。 ➔ 56 ページ
トナーカートリッジノ コウカンジキデス ↑↓ [ストップ] ヲ オスト プリント デキマス	EP カートリッジの交換時期です。トナーが少なくなりました。すぐに交換する必要はありませんが、EP カートリッジの予備を用意してください。また、〈ストップ / 排紙〉ボタンを押すと印刷を継続することができます。 **補足** ・EP カートリッジの交換時期を検出してから、A4 サイズ、像密度 5%の印刷比率で換算した 100 ページ分の印刷が行えます。
トナーカートリッジヲ コウカンシテクダサイ	EP カートリッジの交換が必要です。トナーがなくなりました。新しい EP カートリッジに交換してください。また、一度印刷中のデータを〈キャンセル〉ボタンでキャンセルし、メニュー設定の［トナージュミョウ］を［プリントテイシ シナイ］に設定を変更することで、印刷を継続することができます。 **補足** ・メニュー設定の［トナー ジュミョウ］が［プリントテイシ シナイ］に設定の場合には表示されません。
トナーカートリッジノ ジュミョウデス ↑↓ [ストップ] ヲ オスト プリント デキマス	EP カートリッジの交換時期です。EP カートリッジが寿命です。 新しい EP カートリッジに交換してください。また、〈ストップ / 排紙〉ボタンを押すと印刷を継続することができます。 ➔ 56 ページ **補足** ・〈ストップ / 排紙〉ボタンを押してアラームを解除し、待機状態が 60 分経過すると、再びアラームを表示します。 ・操作パネルのエラーランプはアラームを解除しても点灯します。
ナ ニンショウエラー デス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	認証機能を使用して運用している場合に、本機に印刷できるユーザーとして登録されていません。または、印刷指示時に、プリンタードライバーでユーザー ID やパスワードなどの認証情報が正しく設定されていません。 ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を正しく設定して、再度印刷してください。本機に印刷できるユーザーに登録されているかどうかは、機械管理者に確認してください。 ➔ 活用マニュアル
ハ フォームメモリーブソク デス XXX ハ トウロク デキマセン ↑↓ [ストップ] ヲ オスト ショリヲ ケイゾク シマス	登録番号 XXX のフォームの処理中に、フォームメモリーが不足しました。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押すと、フォーム登録を取り消します。 操作パネルでフォームメモリーの容量を増やしてください。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
プリントシジハ ムコウデス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	印刷指示が無効なため、印刷が実行できません。 プリンタードライバーでのオプション構成の設定が、実際のプリンターと合っていない場合、このメッセージが表示されることがあります。たとえば、両面印刷ユニットが装着されていないのに、プリンタードライバーではありに設定し、両面印刷を実行した場合に表示されます。 操作パネルの〈**ストップ/排出**〉ボタンを押して、印刷を取り消します。正しい印刷指示を設定して、印刷してください。
プリントスウノ ジョウゲンヲ コエマシタ ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	CentreWare Internet Services の［**プリントユーザー制限**］で設定されたプリント枚数の上限を超えました。 操作パネルの〈ストップ / 排出〉ボタンを押して、印刷を取り消します。 プリントユーザー制限については、機械管理者に確認してください。
ホッパ 1 A4 ヨコ ポート トナーカートリッジノ ↑↓ ホッパ 1 A4 ヨコ ポート コウカン ジキデス	EP カートリッジの交換の時期が近づいています。新しい EP カートリッジを準備してください。
ホッパ 2 ト ホッパ 1 ノ ヨウシ カセット ヲ ヒキヌイテ ↑↓ ヨウシヲ ジョキョシタアト [A] ヲ アケシメシテクダサイ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 ホッパ 1 とホッパ 2 の用紙カセットを引き出し、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。フロントカバーの中に詰まった用紙がなくても、カバーを開け閉めするまで、エラーメッセージは解除されません。 ➔ 72 ページ
ホッパ 3,2,1 ノ ヨウシ カセット ヲ ヒキヌイテ ↑↓ ヨウシヲ ジョキョシタアト [A] ヲ アケシメシテクダサイ	プリンター内部で紙づまりが発生しています。 ホッパ 1、2、3 の用紙カセットを引き出し、紙が詰まっている位置を確認してから、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、フロントカバーを開け閉めしてください。フロントカバーの中に詰まった用紙がなくても、カバーを開け閉めするまで、エラーメッセージは解除されません。 ➔ 72 ページ
ホッパ N ニ セット xx xx xxxx (N : 増設ホッパがあるとき、1 ～ 4 のホッパナンバーが表示)	ホッパ N にセットされている用紙サイズが指定と異なります。または、用紙がありません。 ホッパ N にメッセージ（xx xx xxxx）で表示されている用紙をセットしてください。 ➔ 45 ページ
ホッパ N ノヨウシカセットヲ セット シテクダサイ (N : 増設ホッパがあるとき、1 ～ 4 のホッパナンバーが表示)	ホッパを指定した印刷時に、指定したホッパの用紙カセットが引き出されています。 用紙カセットを押し込んでください。
ホッパ N ノ ヨウシサイズガ チガイマス ↑↓ ホッパノ ダイヤルト サイズ ガ アッテイルカ カクニン (N : 増設ホッパがあるとき、1 ～ 4 のホッパナンバーが表示)	ホッパ N にセットされている用紙のサイズと、用紙サイズ設定ダイヤルの設定が異なります。用紙カセットを引き出し、用紙のサイズと用紙サイズ設定ダイヤルを確認し、閉めてください。 ➔ 45 ページ
メモリーブソク デス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	メモリーが不足して印刷できません。 操作パネルの〈**ストップ/排出**〉ボタンを押して、印刷を取り消します。印刷するファイルの量を減らして印刷してください。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、メモリーの増設をお勧めします。

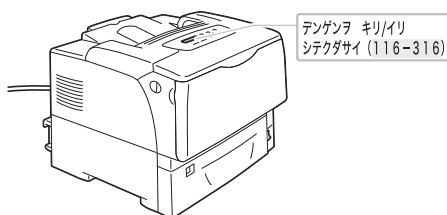
ヤ

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
ヨウシカセットヲ セット シテクダサイ	印刷時に用紙カセットのどれかが引き出されています。 用紙カセットを押し込んでください。
ヨウシシュルイガ フメイデス ↑↓ [ストップ] ヲ オシテ キャンセル シテ クダサイ	［**ヨウシノ ユウセン ジュンイ**］で、すべての用紙種類が［**セッテイ シナイ**］に設定されている状態で自動給紙選択による印刷指示が行われました。 操作パネルの〈**ストップ / 排出**〉ボタンを押して印刷を取り消します。操作パネルで用紙種類の優先順位を設定するか、給紙するホッパまたは手差しトレイを選択してください。 ➔ 活用マニュアル

エラーコード一覧

お客様で対処できるエラーコードについて、下表に記載しました。エラーコードが表示された場合は、まず、下表に該当するエラーコードがないかを確認してください。
エラーコードは、番号の小さい順に並んでいます。

エラーコード	原因 / 処置
010-397	定着ユニットが正しく取り付けられていない、または故障の可能性があります。 電源を切り、フロントカバー開閉レバーを引きながらフロントカバーを開けて、定着ユニットの左右のレバーが、しっかりとロックされていることを確認し、電源を入れ直してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
010-421	有寿命部品（定期交換部品、有償）の定着ユニットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 ➔ 115 ページ
042-401	有寿命部品（定期交換部品、有償）のギアユニットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 ➔ 115 ページ
061-400	有寿命部品（定期交換部品、有償）のレーザユニットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 ➔ 115 ページ
07N-401 （N：1 ～ 4 のナンバーが表示）	用紙カセット N の有寿命部品（定期交換部品、有償）のピックローラキット（トレイ）の交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 ➔ 115 ページ
07N-410 （N：1 ～ 4 のナンバーが表示）	用紙カセット N の有寿命部品（定期交換部品、有償）のカセットシュートキットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 ➔ 115 ページ
075-401	手差しトレイの有寿命部品（定期交換部品、有償）のピックローラキット（手差し）の交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
077-215	プリンター本体に増設ホッパ（オプション）が正しく取り付けられていません。電源を切り、増設ホッパが正しくプリンター本体に取り付けられていることを確認し、もう一度電源を入れ直してください。 **参照** **・ 増設ホッパの設置手順書**

エラーコード	原因 / 処置
077-216	プリンター本体と両面印刷ユニットが正しく接続されていません。電源を切り、両面印刷ユニットのコネクターケーブルが正しくプリンター本体に接続されていることを確認してください。 **参照** **・ 両面印刷ユニットの設置手順書**
077-401	有寿命部品（定期交換部品、有償）のレジユニットの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 ➔ 115 ページ
094-422	有寿命部品（定期交換部品、有償）の転写ローラの交換時期です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 ➔ 115 ページ

エラーコードとは、エラーが発生して印刷が正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合、プリンターの操作パネルに表示される 6 桁の数字です。
このコードは、エラーの原因を突き止めるための、大切な情報です。エラーメッセージとともに、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に次の手順を実行してください。

1. 電源コードおよびインターフェイスケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。

2. 定期的な清掃を行っていたか、EP カートリッジの交換は確実に行われていたかを確認する。

3. 本章の「 紙づまりの処置」(P. 72) ～「 メッセージで困った！」(P. 92) をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行う。

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのメッセージ表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるメッセージ表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NEC サービス網一覧表」をごらんください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

また、修理にお出しいただくときは、「7.10 プリンターを移動するときは」(活用マニュアル) や梱包箱に表示されている手順を参照してプリンターを梱包してください。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

・ プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際は EP カートリッジを取り外してお出しください。
・ ご使用済みの NEC 製 EP カートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。
ご使用済みの NEC 製 EP カートリッジは捨てずに、EP カートリッジに同梱されている「消耗品回収のご案内」をご覧いただき処理するか、サービス窓口までお持ち寄りください。なお、その際は EP カートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。
（EP カートリッジ回収に関する Web ページ「EP カートリッジ : 環境活動」
URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/ep/ ）
回収について ➔ 54 ページ

素朴な疑問

Q.　対応している OS やネットワーク環境は？

A.　使用できるコンピューターの OS と環境は次のとおりです。詳しくは、活用マニュアルを参照してください。

○：標準でサポート、●：オプション

接続形態	ローカル		ネットワーク*1									
ポート名	パラレル	USB *3	LPD	NetWare *2		SMB*2		IPP/ IPPS *2*5	Port 9100	Ether Talk*2	FTP	WSD*2
プロトコル	-	-	TCP / IP	TCP / IP *4	IPX/ SPX	Net BEUI	TCP / IP	TCP/ IP	TCP/ IP	Apple Talk	TCP /IP	WSD
Windows® 98	○	○	○ *6	● *7	●	●	●		○		○	
Windows® Me	○	○	○	● *7	●	●	●	●	○		○	
Windows NT® 4.0	○		○	●	●	●	●		○		○	
Windows® 2000	○	○	○	●	●	●	●	●	○		○	
Windows® XP	○	○	○	●	●		●	●	○		○	
Windows Server® 2003	○	○	○	●	●		●	●	○		○	
Windows Vista®	○	○	○	●			●	●	○		○	●
Windows Server® 2008	○	○	○	●			●	●	○		○	
Windows® 7	○	○	○	●			●	●	○		○	●
Macintosh *8		○	○ *9					● *9		● *10		

*1：MultiWriter 8250 の場合は、標準ではネットワークに対応していません。ネットワーク環境で使用するには、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。

*2：マルチプロトコル LAN カード (オプション) が必要です。WSD は、Web Services on Devices の略称です。
*3：接続するコンピューターに USB ポートが必要です。また、Windows 98/Me の場合は、USB Print Utility を使用します。USB Print Utility は、同梱されているプリンターソフトウエア CD-ROM からインストールできます。
*4：IPv4 のみ対応しています。
*5：IPPS は、Windows Vista/7/Server 2008 には対応していません。
*6：Windows 98 Second Edition 以降をサポートします。
*7：Windows 98/Me の場合は、TCP/IP Direct Print Utility を使用します。TCP/IP Direct Print Utility は、プリンタードライバーをインストーラーからインストールすると、自動的にインストールされます。
*8：Mac OS 9.2 は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が必要です。Mac OS 10.3.9 以降は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けると、Macintosh から PostScript データを印刷できるようになります。また、Macintosh 用のプリンタードライバーを使用しても印刷できます。この場合、対応用紙サイズは、A3、B4(JIS)、A4、B5(JIS)、A5、レター、リーガルです。ほかの用紙サイズおよびユーザー定義サイズは使用できません。PostScript プリンタードライバー（オプションの PostScript ソフトウエアキット装着時）で印刷してください。Macintosh 用プリンタードライバーは、弊社のホームページからダウンロードできます。
*9：Mac OS X 10.3.9 以降
*10：Mac OS X 10.3.9/10.4/10.5 に対応しています。

Q.　Macintosh から印刷できる？

Mac OS 9.2.2 では、オプションの PostScript ソフトウエアキットが必要です。ドライバーは、AdobePostScript プリンタードライバーを使用します。
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6 では、Macintosh 用プリンタードライバーを使用して印刷できます。Macintosh 用プリンタードライバーについては、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。
URL：http://www.nec.co.jp/products/laser
使用できるプロトコルについては、前ページの対象 OS の表、および活用マニュアルをごらんください。
また、MultiWriter 8450N/8250N と MultWriter 8250 では、対応する PostScript ソフトウェアキットが異なります。詳しくは、オプション品一覧をご覧ください。
オプション品一覧 ➔ 104 ページ

Q.　UNIX や Linux から印刷できる？

A.　UNIX からは印刷できません。Linux からは、Linux 用プリンタードライバーを使用して印刷できます。Linux 用プリンタードライバーについては、下記の弊社ホームページをごらんください。
インターネット「NEC Web サイト」
　URL:http://www.nec.co.jp/products/laser/

Q.　メモリーの増設はどのような場合に必要？

A.　本プリンターでは、次のような場合に、オプションの増設メモリを取り付ける必要があります。

・印刷時に［**メモリーブソク デス**］といったエラーメッセージが頻繁に表示される場合
　メモリーの増設をご検討ください。
・PostScript ソフトウエアキットを取り付ける場合（推奨）
　また、プリンタードライバーの解像度の設定と印刷する用紙サイズによって、メモリーの増設が必要な場合があります。
　必要なメモリー容量については、次表を参考にしてください。

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">解像度</th><th rowspan="2">用紙サイズ</th><th colspan="2">片面</th><th colspan="2">両面</th></tr>
<tr><th>出力可能</th><th>推奨容量</th><th>出力可能</th><th>推奨容量</th></tr>
<tr><td rowspan="17">NPDL
プリンター
ドライバー</td><td rowspan="6">400dpi</td><td>A3</td><td rowspan="6">標準
メモリ</td><td rowspan="6">標準
メモリ</td><td rowspan="5">標準
メモリ</td><td rowspan="5">標準
メモリ</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td></tr>
<tr><td>B5</td></tr>
<tr><td>A5</td></tr>
<tr><td>長尺
（297x900mm）</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="6">600dpi</td><td>A3</td><td rowspan="6">標準
メモリ</td><td rowspan="6">標準
メモリ</td><td rowspan="5">標準
メモリ</td><td rowspan="5">標準
メモリ</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td></tr>
<tr><td>B5</td></tr>
<tr><td>A5</td></tr>
<tr><td>長尺
（297x900mm）</td><td>-</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="5">1200dpi</td><td>A3</td><td rowspan="5">標準
メモリ</td><td rowspan="2">320MB/
384MB
（標準
+256MB）</td><td rowspan="3">320MB/
384MB
（標準
+256MB）</td><td rowspan="4">320MB/
384MB
（標準
+256MB）</td></tr>
<tr><td>B4</td></tr>
<tr><td>A4</td><td rowspan="3">標準
メモリ</td></tr>
<tr><td>B5</td><td rowspan="2">標準
メモリ</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>標準
メモリ</td></tr>
</table>

標準メモリは、MultiWriter 8450N/8250N の場合 128MB、MultiWriter 8250 の場合 64MB です。
出力可能：ほとんどのデータで印刷可能ですが、データの種類によって印刷できない場合や、両面印刷時の印刷速度が低下する場合があります。
推奨容量：弊社で推奨するメモリー容量です。
必要なメモリー容量の数値は、本プリンターの使用環境などによっても異なります。
長尺紙の場合、両面印刷および解像度 1200dpi での印刷はできません。

オプション品一覧

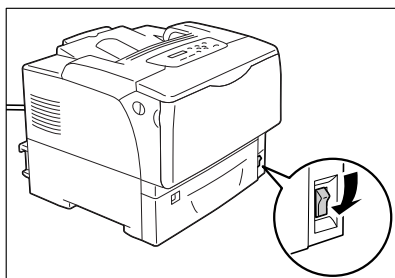
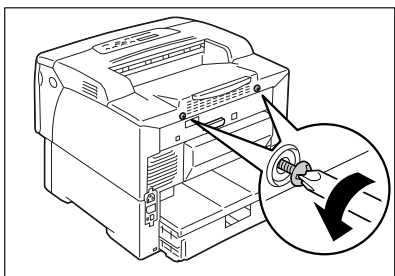
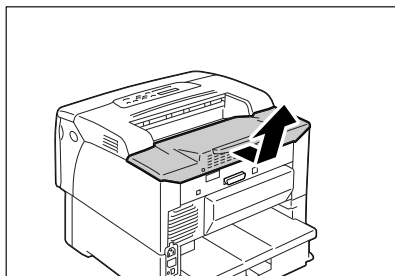
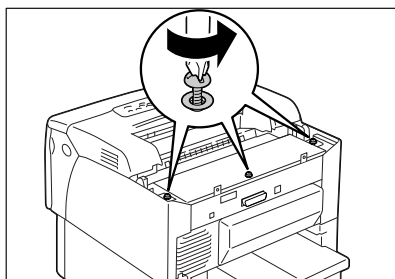
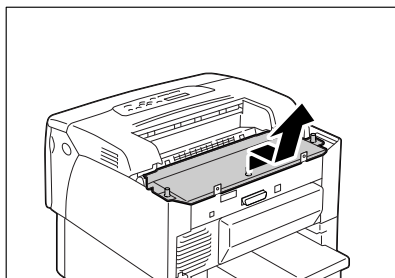
主なオプション品は、次のとおりです。ご注文は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

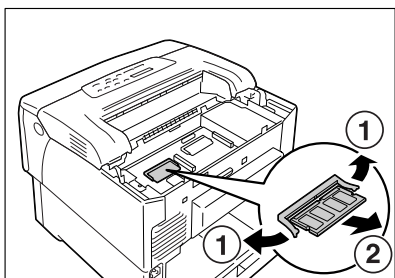
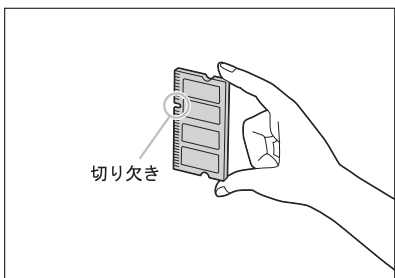
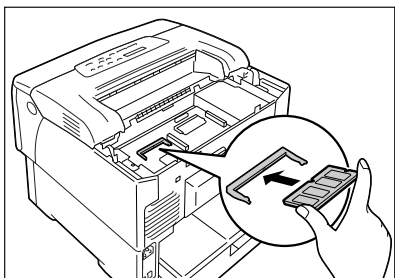
商　品　名	型番	備考
ハードディスク	PR-L2900C-HD	次の機能を使用する場合は､増設ハードディスクが必要です。 ・セキュリティープリント ・サンプルプリント
増設メモリ（256MB）	PR-L7600C-M2	メモリー容量を増やします。 増設メモリを必要とする機能や状況について ➔ 102 ページ
増設メモリ（512MB）	PR-L7600C-M3	
用紙カセット（250 枚）	PR-L8450-04	標準紙（坪量 64g/ ㎡の普通紙）を 250 枚までセットできる用紙トレイです。250 枚トレイが装備されている場合､差し替えて使用できます。
用紙カセット（550 枚）	PR-L8450-05	標準紙（坪量 64g/ ㎡の普通紙）を 550 枚までセットできる用紙トレイです。550 枚トレイが装備されている場合､差し替えて使用できます。
増設ホッパ（250 枚）	PR-L8450-02	標準紙（坪量 64g/ ㎡の普通紙）を 250 枚までセットできる用紙トレイです。プリンター本体に、MultiWriter 8450N では最大 3 段まで、MultiWriter 8250N/8250 では最大 2 段まで取り付けることができます。
増設ホッパ（550 枚）	PR-L8450-03	標準紙（坪量 64g/ ㎡の普通紙）を 550 枚までセットできる用紙トレイです。プリンター本体に、MultiWriter 8450N では最大 3 段まで、MultiWriter 8250N/8250 では最大 2 段まで取り付けることができます。
両面印刷ユニット	PR-L8500-DL	MultiWriter 8250 で、自動で両面印刷する場合に必要です。
PostScript ソフトウエアキット（平成 2 書体）	PR-L8450-PSH	MultiWriter 8450N/8250N に対応します。 Adobe PostScript 3 で印刷できるキットです。 PostScript で、Macintosh からも印刷できるようになります。 使用するには、256MB 以上の増設メモリ（オプション）の取り付けを推奨します。 注記 MultiWriter 8250 では使用できません。
PostScript ソフトウエアキット（平成 2 書体）	PR-L8500-PSH	MultiWriter 8250 に対応します。 Adobe PostScript 3 で印刷できるキットです。 PostScript で、Macintosh からも印刷できるようになります。 使用するには、256MB 以上の増設メモリ（オプション）の取り付けを推奨します。 注記 MultiWriter 8450N/8250N では使用できません。

商　　品　　名	型番	備考
マルチプロトコル LAN カード	PR-L8500-MC	本機を、NetWare や SMB、IPP、EtherTalk、WSD（WSD は、Web Services on Devices の略称です。）環境から使用する場合に必要です。
マルチプロトコル LAN アダプタ	PR-NPX-05	100BASE-TX に対応したパラレルインターフェス直付けのネットワークアダプタ。AC アダプタ添付。Windows　98/Me/2000/XP、Windows NT 4.0、UNIX、Netware に対応。(SimpleMonitor、Printer　MIB、HostResoures MIB には対応していません。)
スキャナユニット (A3 スキャン対応)	PR-MW-SC51	本機のUSB コネクターに接続して使用します。本機にスキャナーを接続すると、コピー機能が使用できるようになります。
スキャナユニット (A4 スキャン対応)	PR-MW-SC41	
スキャナテーブル	PR-MW-ST40	スキャナ設置台。組立式。スキャナテーブルを使用して、本機とスキャナを接続する場合は、専用キャスタ台に増設ホッパ (250) または増設ホッパ (550) のどちらかを 2 段まで取り付けられます。 ただし、MultiWriter 8450N では、増設ホッパ (250) のみの構成で 3 段取り付けることができます。それ以外のプリンターおよび増設ホッパの組み合わせは、3 段取り付けることはできません。
専用キャスタ台	PR-L8450-CT	キャスタ台

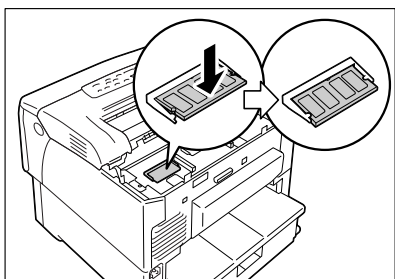
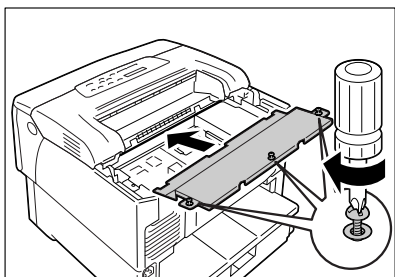
商品の種類や型番は 2009 年 11 月現在のものです。

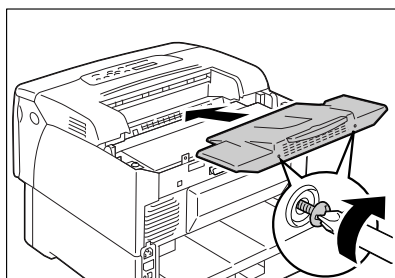
増設メモリの取り付け

ここでは、プリンターに増設メモリ（オプション）を取り付ける手順を説明します。
本プリンターの増設メモリ用スロットは1つです。すでに増設メモリを取り付けている場合は、容量が大きい増設メモリと交換してください。
すでに取り付けられている増設メモリを取り外す手順は、次の手順7で説明しています。はじめてプリンターに増設メモリを取り付ける場合は、手順7は不要です。
なお、増設メモリは、マルチプロトコルLANカード（オプション）と上下に重なるように取り付けます。すでにマルチプロトコルLANカードを取り付けている場合は、いったん取り外す必要があります。マルチプロトコルLANカードの取り外し / 取り付け手順の詳細は、マルチプロトコルLANカードの設置手順書を参照してください。

1. プリンターの電源を切ります。電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。

2. 後部カバーの2か所のネジをドライバーで外します。

3. 後部カバーを手前に引いて取り外します。

4 内部の金属板カバーの 3 か所のネジをドライバーで外します。

5 金属板カバーを手前に引いて取り外します。

6 マルチプロトコルLANカードを取り付けている場合は、いったん取り外します。手順の詳細は、マルチプロトコル LAN カードの設置手順書を参照してください。

7 すでに増設メモリが取り付けられている場合は、メモリーを固定している左右のツメを広げます。メモリーが斜めに持ち上がるので、そのまま斜め方向に引き抜きます。

8 新たに取り付ける増設メモリを、切り欠き部分が中央よりも上側にくるように持ちます。

9 切り欠き部分を本体側の RAM 用スロット（コントローラーボードに「SDRAM op.」と印字されています）の凸部に正しく合わせて、斜めに差し込みます。

ポイント

- 増設メモリは、コントローラーボードの左側のスロットに取り付けます。右側のスロットは、PostScript ROM（オプション）用です。
- 取り付け場所を間違えると、機械が故障する可能性があります。左図で正しい位置を確認してください。

⑩左図のように上から押します。
正しく挿入されると、カチッという音がします。

⑪マルチプロトコルLANカードを取り外した場合は、再度取り付けます。手順の詳細は、マルチプロトコル LAN カードの設置手順書を参照してください。

⑫金属板カバーを戻し、3 か所のネジをドライバーで締めて固定します。

⑬後部カバーを戻し、2 か所のネジをドライバーで締めて固定します。

⑭手順1で取り外した電源コードを接続します。電源スイッチの〈｜〉側を押し、電源を入れます。

これで、増設メモリの取り付けは完了です。
［プリンター設定リスト］を印刷して、［一般］の中の［搭載メモリー］欄を確認することで、増設メモリが正しく取り付けられたかどうかがわかります。［搭載メモリー］は、コントローラーボード上のメモリー 128MB に、ここで取り付けたメモリーの容量を足した数値が表示されます。

リストの印刷方法 ➔ 62 ページ

補足

・ MuliWriter 8250 の場合、標準メモリは 64MB です。

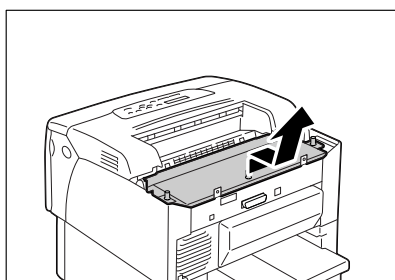
ハードディスクの取り付け

ここでは、プリンターにハードディスク（オプション）を取り付ける手順を説明します。なお、ハードディスクは、PostScript ソフトウエアキット（オプション）の ROM の上に重なるように取り付けます。PostScript ソフトウエアキットを購入している場合は、ハードディスクよりも、先に取り付けてください。取り付け手順は、PostScript ソフトウエアキットの設置手順書を参照してください。

1. プリンターの電源を切ります。電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。

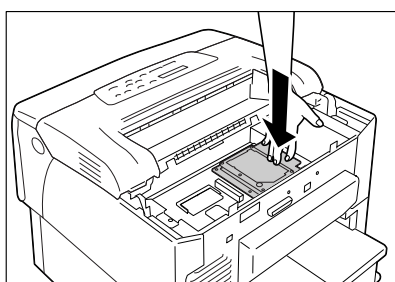
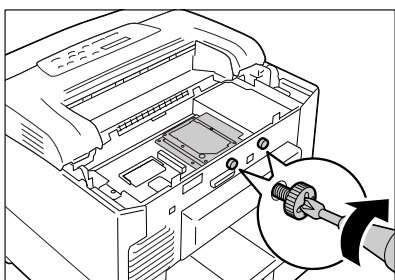
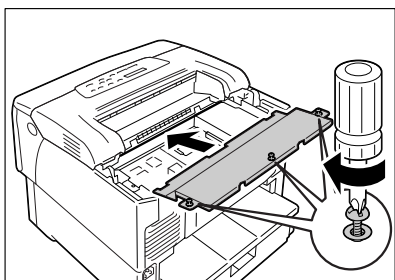
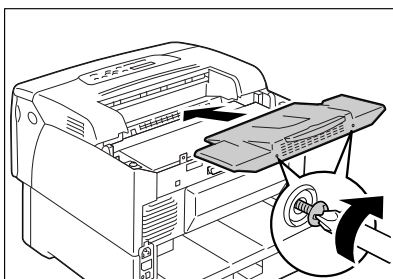
2. 後部カバーの 2 か所のネジをドライバーで外します。

3. 後部カバーを手前に引いて取り外します。

4. 内部の金属板カバーの 3 か所のネジをドライバーで外します。

❺ 金属板カバーを手前に引いて取り外します。

❻ ハードディスクのコネクターを本体側のハードディスク用コネクター（コントローラーボードの右側にあるコネクター）に合わせて、差し込みます。

ポイント

コントローラーボードの左側にあるコネクターは、マルチプロトコル LAN カード（オプション）用です。間違わないように注意してください。

❼ 左図のように上から押して、ハードディスクをしっかりと差し込みます。

❽ 付属の 2 本のネジをドライバーで締めて、外側からハードディスクを固定します。

❾ 金属板カバーを戻し、3 か所のネジをドライバーで締めて固定します。

⑩後部カバーを戻し、2 か所のネジをドライバーで締めて固定します。

⑪手順1で取り外した電源コードを接続します。電源スイッチの〈 | 〉側を押し、電源を入れます。

これで、ハードディスクの取り付けは完了です。
［プリンター設定リスト］を印刷して、［プリンターオプション］を確認することで、ハードディスクが正しく取り付けられたかどうかがわかります。

リストの印刷方法 ➔ 62 ページ

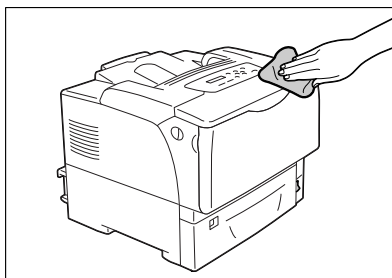
清掃について

⚠注意
機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

●プリンター外部の清掃

約 1 か月に 1 回、プリンターの外部を清掃してください。プリンターの外側を、水でぬらし固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

注記

- 洗剤を直接プリンターに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

●プリンター内部の清掃

紙づまりの処置や EP カートリッジの交換のあとは、カバーを閉じる前に、内部の点検および清掃を行ってください。

・ 紙片が残っている場合は、取り除きます。
・ ホコリや汚れなどがある場合は、乾いた清潔な布などでふき取ります。

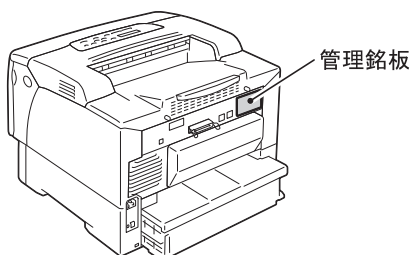
また、次のような症状が発生した場合には、必要に応じて、下記の清掃を行ってください。

症状	清掃	参照
印刷したときに、縦長に白抜けする	プリンター内部の清掃	➔ 活用マニュアル
給紙できない（絵入りのはがきなどを使用した場合に発生することがあります）	ピックローラの清掃	➔ 活用マニュアル

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、お買い求めの販売店、またはサービス窓口へお問合せください。

●お問い合わせの際には

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。販売店、またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

●保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 年間保守契約
  年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- スポット保守修理
  サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- PrinterSupportPack
  プリンター本体購入時から一定期間（3 年 /4 年 /5 年）何度でもオンサイト保守を提供する契約です。

保守サービスの種類

種　類	概　要	修理料金		お支払い方法	受付窓口*1
		保証期間内	保証期間外		
年間契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。)保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング(株)
スポット保守修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。)ご契約は不要です。	無料*2	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1：受付窓口の所在地、連絡先などは、インターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.html をご覧ください。
*2：本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。

保守サービスの最新情報については、インターネットの Web ページ
http://www.nec.co.jp/products/laser/support/ をご覧ください。

●プリンターの寿命について

製品寿命は、次のとおりです。
印刷枚数が 120 万枚*、または使用年数 5 年のいずれか早い方

*： MultiWriter 8450N/8250N/8250 は、有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換が必要です。有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換については、販売店、またはサービス窓口にご相談ください。

●有寿命部品（定期交換部品、有償）について

プリンターの機能・性能を維持するために、印刷ページ数に応じて交換を必要とする部品があり、これを「有寿命部品（定期交換部品、有償）」と呼びます。
有寿命部品（定期交換部品、有償）の推奨交換周期（寿命の目安）は、印刷ページ数によって設定されております。
有寿命部品の交換時期になると、プリンターの操作パネルに次のようなメッセージが表示されます。

```
ﾎｯﾊﾟ1 A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
ｺｳｶﾝｼﾞｷ(***-***)
```

（***-***）にはエラーコードが表示されます。
次の表を参照して、必要な有寿命部品を確認し、販売店、またはサービス窓口にご相談ください。なお、有寿命部品（定期交換部品、有償）は、エンジニアが交換いたします。

エラーコード	原因	部品名	推奨交換周期 （寿命の目安）
010-421	定着ユニットの交換時期です。	100K キット（8500）	約 100,000 ページ
094-422	転写ローラの交換時期です。	100K キット（8500）	約 100,000 ページ
042-401	ギアユニットの交換時期です。	600K キット（8450）	約 600,000 ページ
061-400	レーザユニットの交換時期です。	600K キット（8450）	約 600,000 ページ
077-401	レジユニットの交換時期です。	600K キット（8450）	約 600,000 ページ
07N-401 （N：標準ホッパは1、増設ホッパがあるときは2から4の数字を表示）	ホッパ N のピックローラキットの交換時期です。	ピックローラキット（トレイ） 注記　標準ホッパは、100K キット（8500）に含まれています。	約 100,000 ページ
075-401	手差しトレイのピックローラキットの交換時期です。	ピックローラキット（手差し）	約 100,000 ページ
07N-410 （N：標準ホッパは1、増設ホッパがあるときは2から4の数字を表示）	ホッパ N のカセットシュートキットの交換時期です。	カセットシュートキット	約 600,000 ページ

・各有寿命部品（定期交換部品、有償）の推奨交換周期（寿命の目安）は、A4 ヨコサイズ（坪量 64g/ ㎡の普通紙）の用紙を使用し、片面印字、一度に印刷するページ数を 2 枚、22 ℃、55% の温湿度環境で印字した場合の印字可能ページ数です。実際の印字可能ページ数は、用紙サイズ、用紙種類、使用環境、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、印字品質保持の調整動作など使用条件により変動し、参考値と大きく異なることがあります。

●補修用性能部品および消耗品について

弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

●ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記の PC マニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になります。あらかじめお調べのうえ、お申し込みください。

機種名	型番
MultiWriter 8450N	PR-L8450N
MultiWriter 8250N	PR-L8250N
MultiWriter 8250	PR-L8250

NEC PC マニュアルセンター

URL： http://pcm.mepros.com/
電話： 03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00 ～ 12：00/13：00 ～ 16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX： 03-5471-3996
24時間受付。ただし、いただいたFAXに対する回答は翌営業日以降になります。

・ 製造終了後 7 年を経過した製品のマニュアルは販売しておりません。
・ 一部取り扱いのないマニュアルがあります。

●情報サービスについて

・ プリンター製品に関する最新情報
インターネット「NEC Web サイト」
URL:http://www.nec.co.jp/products/laser/
・ プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
NEC 121 コンタクトセンター
（電話番号、受付時間などについては、「NEC サービス網一覧表」をごらんください）
URL:http://121ware.com/121cc/

主な仕様

●製品の仕様

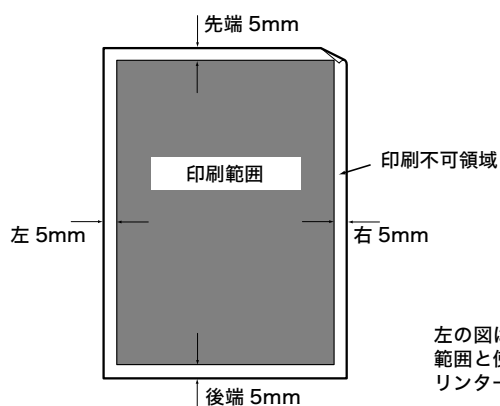
項　目	内　容
形式	デスクトップ
プリント方式	レーザーゼログラフィー 注記 * **半導体レーザー＋乾式電子写真方式**
定着方式	ヒートローラー（オイルレス）
ウォームアップ・タイム	16 秒以下（電源投入時、室温 22°C）
連続プリント速度 [*1]	MultiWriter 8450N 片面：35.1 枚 / 分 [*2]、両面：25.2 ページ / 分 [*3] MultiWriter 8250N/8250 片面：30.5 枚 / 分 [*2]、両面：21.9 ページ / 分 [*3] 注記 [*1] はがき、OHP フィルム、封筒などの用紙種類、サイズやプリント条件によって、プリント速度が低下する場合があります。また、画質調整のためプリント速度が低下する場合があります。 [*2] A4 ヨコ 同一原稿連続プリント時（普通紙）。 [*3] A4 ヨコ 連続プリント時。
ファーストプリント	約 7.5 秒 注記 * **当社、テストパターンにより測定。プリンターのエンジンにプリント指示をしてから 1 枚目の用紙が完全に排出されるまでの時間。（プリンターコントローラーがデータ受信・処理を行なう時間を含みません。）**
解像度	データ処理解像度： 1200 x 1200dpi：1200dpi 多値 600 x 600dpi：600dpi 多値 400 x 400dpi：400dpi 多値 出力解像度： 1200 x 1200dpi 600 x 600dpi（スムージング機能により 2400dpi 相当） 400 x 400dpi
階調	256 階調

項　目	内　容
用紙サイズ	手差しトレイ： A3、B4、A4、B5、A5、11x17" (Ledger)、8.5×14" (Legal)、8.5×13" (Legal)、8.5×11" (Letter)、5.5x8.5、7.25x10.5" (Executive)、往復はがき、はがき、封筒（洋形4号、長形3号、COM-10、モナーク、DL、C5)、 長尺紙（297x900mm） ユーザー定義（幅75～297mm、長さ148～431.8mm）
	ホッパ1～4（ホッパ2～4はオプション）： A3、B4、A4、B5、A5、11x17" (Ledger)、8.5×14" (Legal)、8.5×13" (Legal)、8.5×11" (Letter)、5.5x8.5、7.25x10.5" (Executive)、往復はがき、はがき、封筒（洋形4号、長形3号、COM-10、モナーク、DL、C5)、 ユーザー定義（幅75～297mm、長さ148～431.8mm）
	両面印刷： A3、B4、A4、B5、A5、11x17" (Ledger)、8.5×14" (Legal)、8.5×13" (Legal)、8.5×11" (Letter)、5.5x8.5、7.25x10.5" (Executive)、往復はがき、はがき ユーザー定義（幅100～297mm、長さ148～431.8mm） 注記 * **MultiWriter 8250の場合は、両面印刷ユニット（オプション）が必要です。**
	像欠け幅：先端 / 後端 / 両端 5mm（NPDLの場合）
用紙種類	手差しトレイ、ホッパ1～4： 普通紙（60～80g/m2)、厚紙1（81～156g/m2)、 厚紙2（157～216g/m2)、OHPフィルム
	両面印刷： 普通紙（60～80g/m2)、厚紙1（81～156g/m2)、 厚紙2（157～190g/m2) 対応メートル坪量：60～190g/m2 **注記** * **MultiWriter 8250の場合は、両面印刷ユニット（オプション）が必要です。**
	注記 * **推奨紙をご使用ください。用紙の種類によっては、正しく印刷できない場合があります。インクジェット専用用紙はご使用にならないようお願いします。年賀状などの再生紙はがきは使用できません。使用済用紙の裏面や事前印刷用紙への印刷では、プリント不良などの品質低下が発生する場合がありますので、ご注意ください。** * **推奨紙については、販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。**
給紙容量	標準： 手差しトレイ　150枚 オプション： 増設ホッパ　250/550枚 MultiWriter 8450Nの場合： 標準と増設ホッパ3段に手差しを合わせて、最大2,050枚 MultiWriter 8250N/8250の場合： 標準と増設ホッパ2段に手差しを合わせて、最大1,500枚 **注記** * **坪量64g/㎡の普通紙の場合です。**

項　目	内　容
出力トレイ容量	標準：約 250 枚（フェイスダウン） **注記** *** 坪量 64g/ ㎡の普通紙、Letter/A4 以下の場合です。**
両面機能	MultiWriter 8450N/8250N：標準 MultiWriter 8250：オプション
CPU	RM5231A
メモリー容量	標準：64MB(MultiWriter 8250)/ 128MB(MultiWriter 8450N/8250N) メモリースロット 1 個（空スロット 1 個） オプション：256/512MB 増設メモリ 最大：576MB（MultiWriter 8250） 640MB（MultiWriter 8450N/8250N） **注記** *** 出力データの種類や内容によっては、記載されるメモリー容量でも出力画像を保証できない場合があります。**
内蔵ハードディスク	オプション：40GB
搭載フォント	標準：アウトラインフォント（平成明朝体 ™ W3、平成角ゴシック体 ™ W5、欧文 15 書体、MM フォント 2 書体） PCL フォント：欧文 81 書体 オプション PostScript フォント： 平成2書体、欧文136書体、OCR-Bフォント、バーコードフォント
ページ記述言語	標準：NPDL LEVEL2（201 エミュレーション含む） オプション：Adobe® PostScript® 3™ *1 **注記** ***1 PostScript ソフトウエアキット（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。**
エミュレーション	標準： ART IV、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2、PDF、PCL 5e、 PCL 6、TIFF、XPS（XPS は、XML Paper Specification の略称です。）
対応 OS *1	Windows® 98/Me、Windows NT® 4.0(SP4.0 以上）、Windows® 2000/ XP、Windows Server® 2003、Windows Vista™、Windows Server® 2008*2、Windows 7、Mac OS*3 **注記** ***1 最新対応 OS については「情報サービスについて」(P. 116) に記載の弊社ホームページを確認してください。** ***2 本マニュアルの「Windows Server® 2008」という表記は、特に断りがない限り、Windows Server® 2008 R2 を含みます。** ***3 Mac OS 9.2.2、Mac OS X 10.3.9/10.4/10.5/10.6 に対応。Mac OS 9.2.2 は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）が必要です。Mac OS X10.3.9 以降は、Macintosh 用プリンタードライバーを使用して印刷できます。Macintosh 用プリンタードライバーについては、弊社のホームページからダウンロードしてください。**
インターフェイス	標準：双方向パラレル（IEEE1284 準拠）、 Ethernet（100BASE-TX/10BASE-T）、 USB2.0（Hi-Speed）

項　目	内　容
対応プロトコル	TCP/IP*2（LPD、Port9100、IPP*1、SNMP、HTML/HTTP、DHCP、FTP）、SMB*1、NetWare*1、EtherTalk*1、WSD*1（WSD は、Web Services on Devices の略称です。） **注記** *1 マルチプロトコル LAN カード（オプション）が取り付けられている場合に使用できます。 *2 MultiWriter 8250 の場合、マルチプロトコル LAN カード（オプション）が必要です。
電源	AC 100V±10%、15A、50/60Hz 共用 **注記** * 推奨コンセント容量。機械側最大電流 11A
動作音 （本体のみ）	MultiWriter 8450N 稼動時：7.13B、55dB（A）以下 待機時：5.30B、33dB（A）以下 MultiWriter 8250N/8250 稼動時：6.97B、55dB（A）以下 待機時：5.30B、33dB（A）以下 **注記** * ISO7779 に基づく 単位 B：音響パワーレベル 単位 dB：放射音圧レベル（バイスタンダ位置）
消費電力	MultiWriter 8450N 最大：1230W 以下 スリープモード時：5W 以下 平均：待機時 115W 以下、動作時 700W 以下 MultiWriter 8250N 最大：1230W 以下 スリープモード時：5W 以下 平均：待機時 115W 以下、動作時 700W 以下 MultiWriter 8250 最大：1230W 以下 スリープモード時：5W 以下 平均：待機時 115W 以下、動作時 700W 以下 **注記** * 低電力モード時：20W （本機は電源スイッチを切った状態でも、0.1W 以下の電力を消費しています。この消費電力を回避（または節約）するためには、機械の電源プラグをコンセントから外してください。）
大きさ（本体のみ）	幅 459× 奥行 506*1× 高さ 309mm 幅 459× 奥行 640*2× 高さ 309mm **注記** *1 手差しトレイは閉じ、用紙カセットは引き伸ばしていない状態 *2 手差しトレイは閉じ、用紙カセットは引き伸ばした状態
質量	各機種の質量（本体のみ、消耗品を含む）は、次のとおりです。 ・MultiWriter 8450N：　21.8kg ・MultiWriter 8250N：　21.8kg ・MultiWriter 8450：　20.8kg

項　目	内　容
使用環境	使用時：温度 10 ～ 32.5 ℃、湿度 20 ～ 80%（結露による障害は除く） 非使用時：温度 0 ～ 35 ℃、湿度 15 ～ 80%（結露による障害は除く） **注記** * 使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招く場合があります。

●印刷範囲

左の図は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、使用するプリンタードライバー、プリンター設定により多少異なる場合があります。

補足

・ 添付の NPDL プリンタードライバーの標準設定では、ドライバーの機能によって余白はすべて約 5mm です。

トラブルについては ➔「トラブル索引」(P. 124)

キーワード索引

→【○○○○】の【 】内は、本書で使用している用語です。

記号・英数

ア

カ

サ

トラブル索引

機械本体のトラブルや操作で困った！

印刷できない、遅くて困った！

印字品質や画質で困った！

手差しトレイやホッパ、用紙送りで困った！

プリンタードライバーで困った！

メッセージで困った！

操作パネルメニュー一覧

操作パネルの基本的な使い方

メニューの上下を切り替えるには	：〈▲〉または〈▼〉ボタン
メニューを選択、右に進むには	：〈▶〉ボタン
選択を取り消し、左に戻るには	：〈◀〉ボタン
値を確定するには	：**〈ストップ/排出〉**ボタン
メニューを終了するには	：**〈メニュー〉**ボタン

数値や文字の入力のしかた

値を切り替え（増減）は	：〈▲〉または〈▼〉ボタン
桁やフィールドの移動は	：〈▶〉または〈◀〉ボタン
初期値に戻すには	：〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押す

管理者メニューでの表記について

（濃い灰色の枠）	：メインメニュー
（薄い灰色の枠）	：本プリンターのオプション構成によって表示/非表示する項目
＊	：初期値

プリントメニュー

プリントメニューは、オプションのハードディスクが必要です。

*1：増設ホッパ（オプション）を取り付けていない場合は、
[ホッパ1]は[ホッパ]と表示

管理者メニュー

ホッパ1　A4ヨコ　ポート
フツウシ *1

- アンショウバンゴウヲ　イレ [ハイシュツ]ヲ　オス　[0000] 操作パネル制限を設定している場合だけ

〈メニュー〉ボタン

- プリントゲンゴノ　セッテイ
  - NPDL — 次ページ以降　★Aへ→
  - ESCP — 詳細は設定ガイドを参照してください。
  - HPGL — 詳細は設定ガイドを参照してください。
  - PDF
    - ブスウ — 1ブ* *2
    - リョウメン — シナイ*、チョウヘン トジ、タンペン トジ
    - インサツ　モード — ヒョウジュン*、コウガシツ、コウソク
    - パスワード — [　　　　　　] *3
    - ソート — シナイ*、スル
    - ヨウシサイズ — ジドウ、A4* *4 / ジドウ、8.5x11"* *5
    - レイアウト — ジドウバイリツ*、100%(トウバイ)、カタログ(ショウサッシ)、2アップ、4アップ
  - PCL — 詳細は設定ガイドを参照してください。
  - PostScript
    - PSエラー　レポート — スル*、シナイ
    - PSジョブ　タイムアウト — シナイ*、900フン（1〜900分:1分単位）
    - PSディスク　ショキカ
    - ヨウシセンタクモード — ジドウ*、トレイ　カラ　センタク
  - XPS
    - PrintTicket ｼｮﾘ — ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ﾓｰﾄﾞ*、ｼﾞｭﾝｷｮ ﾓｰﾄﾞ、ﾑｺｳ

*1：増設ホッパ(オプション)を取り付けていない場合は、[ホッパ1]は[ホッパ]と表示
*2：1〜999ブ
*3：32文字
各桁0x20〜0x7d
*4：キホン ノ ヨウシサイズがA4の場合
*5：キホン ノ ヨウシサイズが8.5x11"の場合

- レポート/リスト — ジョブリレキ　レポート、エラーリレキ　レポート、シュウケイ　レポート、プリンター　セッテイ　リスト、パネル　セッテイ　リスト、フォント　リスト、PCL フォント　リスト、ＰＳフォント　リスト、ユーザーテイギ　リスト、ART　EX フォーム　リスト、PCL マクロ　リスト、ESC/P トウロク　リスト、HP-GL/2トウロク　リスト、TIFFトウロク　リスト、PS トウロク　リスト、チクセキブンショ　リスト

- メーター　カクニン — メーター1、メーター2、メーター3

- キカイ カンリシャ メニュー
  - ネットワーク/ポート セッテイ — 次ページ以降　★Dへ→
  - システム　セッテイ — 次ページ以降　★Fへ→
  - プリント　セッテイ — 次ページ以降　★Hへ→
  - メモリー　セッテイ — 次ページ以降　★Jへ→
  - メンテナンス　モード — 次ページ以降　★Kへ→
  - ショキカ/データ サクジョ — 次ページ以降　★Lへ→

- ゲンゴ　キリカエ — ニホンゴ*、English

★A

NPDL
テスト　メニュー
ステータスインサツジッコウ
レンゾクインサツジッコウ
LANステータスジッコウ
インサツ セッテイメニュー
コピーマイスウ
01＊
1～20
トナー　セツヤク
OFF＊、
ON
インジノウド
フツウ＊、ヤヤコイ、
コイ、アワイ、ヤヤアワイ
ヨウシ メニュー
ホッパ　ショキセッテイ
ホッパ1＊、ホッパ2、ホッパ3、
ホッパ4、テサシ
＊1、＊3
ヨウシ　シュベツ
ホッパ1
＊2、＊3
フツウシ＊、アツガミ1、アツガミ2、
OHP、1.ユーザー1 ～ 5.ユーザー5
ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4
＊3
テサシ
テイケイガイ　ヨウシ
ホッパ1
＊2、＊3
OFF＊、
ON
ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4
＊3
テサシ
ヨウシ　サイズ　セッテイ
ホッパ1
＊2、＊3
LT＊、
テイケイガイ
ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4
＊3
リレーキュウシ　セッテイ
ホッパ1
＊2、＊3
OFF＊、
ON
ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4
＊3
テサシ
ジョブセパレートキノウ
ムコウ＊、
ユウコウ
インジイチセッテイメニュー
ホッパ1　ビチョウセイ
＊2
ホッパ2、ホッパ3、
ホッパ4　ビチョウセイ
テサシ　ビチョウセイ
オメテメン　ビチョウセイ
ウラメン　ビチョウセイ
TM、
LM
0mm
-3.9～+3.9mm：0.3mm単位
＊1：増設ホッパ(オプション)を
取り付けていない場合は、
[ホッパ＊、テサシ]と表示
＊2：増設ホッパ(オプション)を
取り付けていない場合は、
[ホッパ]と表示
＊3：メニュー設定の［MPカセット
ゴカンモード］が［ユウコウ］
時、トレイの名称が次のように
変わります。
・ホッパ1→MP
・ホッパ2→ホッパ1
・ホッパ3→ホッパ2
・ホッパ4→ホッパ3

次ページ★Bへ→

前ページから ★B (NPDL つづき)

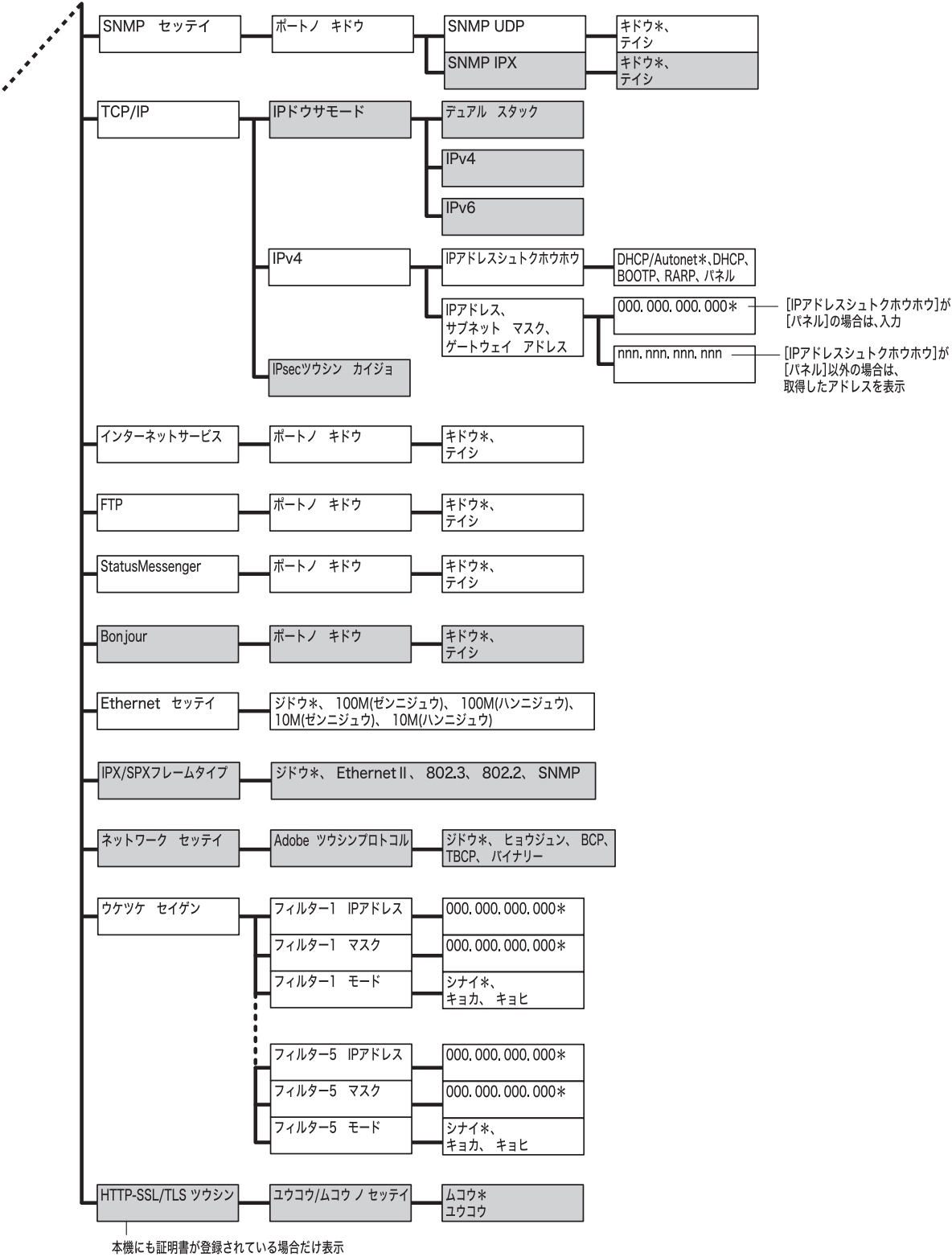
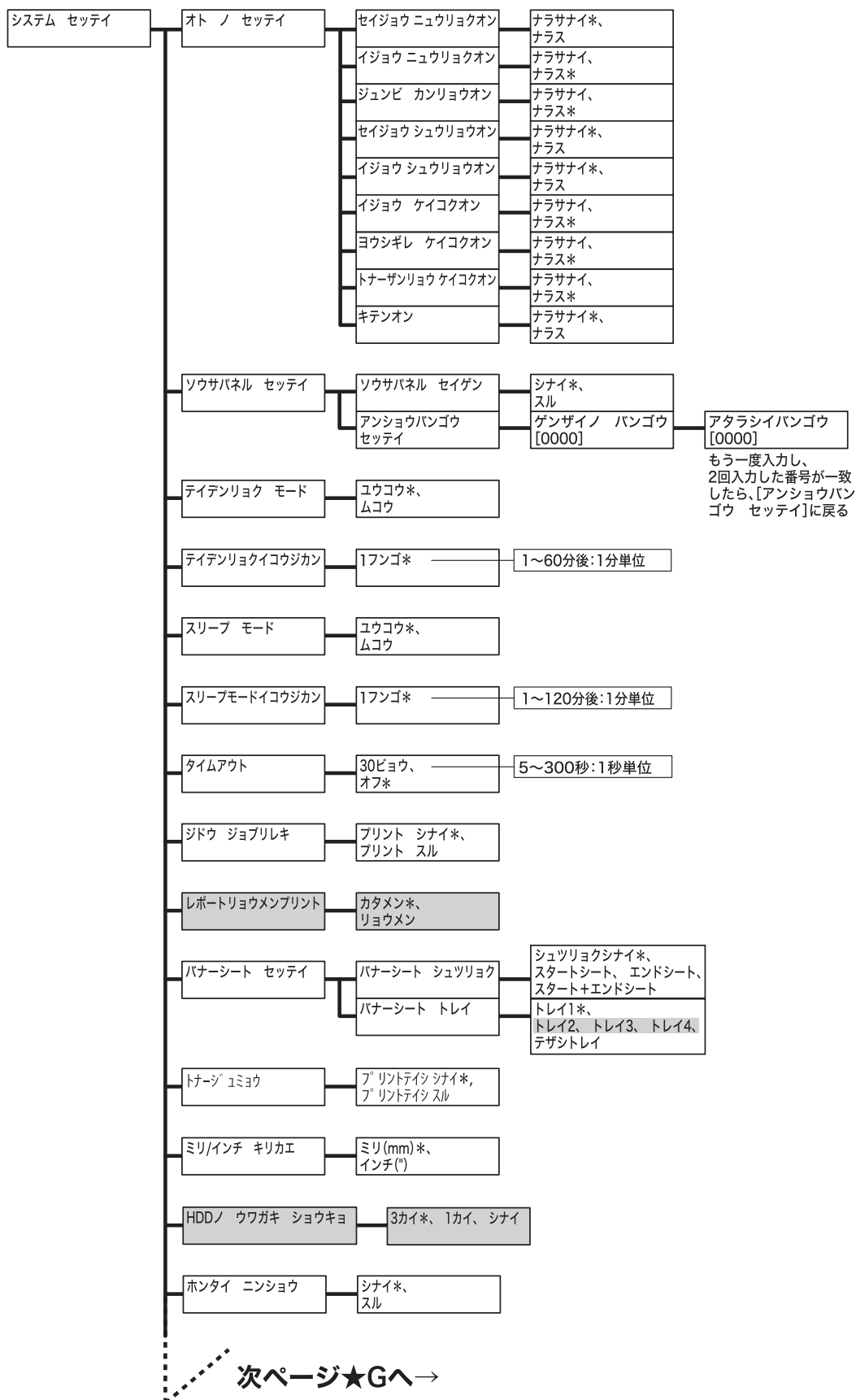
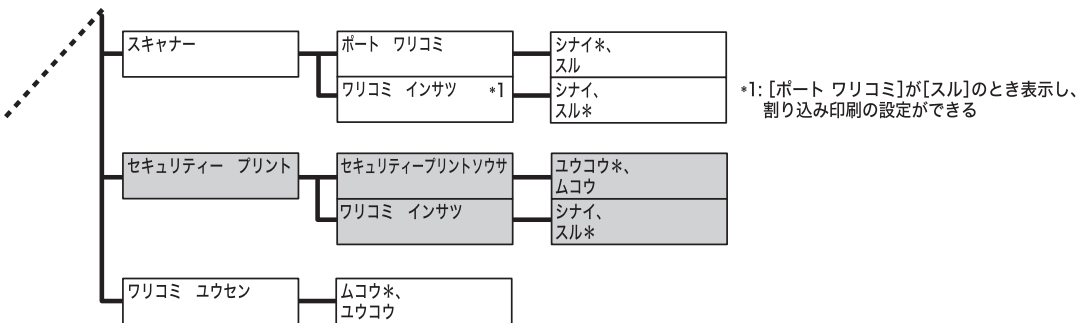
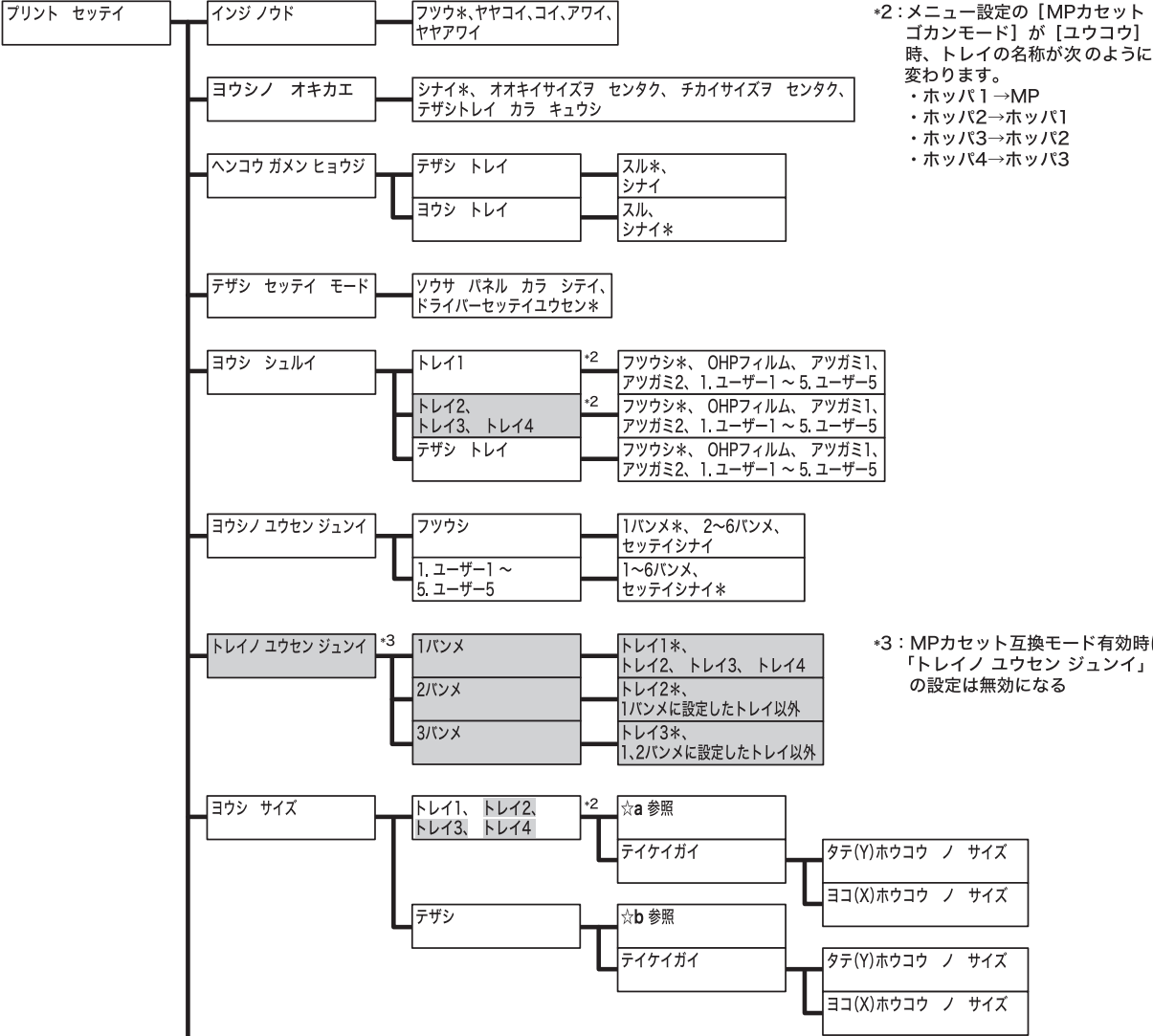
次ページ★Cへ→

前ページから ★C (NPDL つづき)

★D

ネットワーク/ポート セッテイ
パラレル
ポートノ　キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード　シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
Adobe ツウシンプロトコル
ジドウ、ヒョウジュン、BCP、TBCP*、バイナリー
ソウホウコウ　セッテイ
ニブル*、ECP、ナシ
LPD
ポートノ　キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード　シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
NetWare
ポートノ　キドウ
NetWare TCP/IP
キドウ*、テイシ
NetWare IPX/SPX
キドウ*、テイシ
プリントモード　シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
WSD
ポートノ　キドウ
キドウ*、テイシ
SMB
ポートノ　キドウ
SMB TCP/IP
キドウ*、テイシ
SMB NetBEUI
キドウ*、テイシ
プリントモード　シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
IPP
ポートノ　キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード　シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
EtherTalk(ゴカン)
ポートノ　キドウ
キドウ*、テイシ
USB
ポートノ　キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード　シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
Adobe ツウシンプロトコル
ジドウ、ヒョウジュン、BCP、TBCP*、バイナリー
Port9100
ポートノ　キドウ
キドウ*、テイシ
プリントモード　シテイ
ジドウ*、ART EX、ART4、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、PDF、PS、PCL、NPDL、HexDump
Eメールプリント
ポートノ　キドウ
キドウ*、テイシ

次ページ★Eへ→

前ページから ★E （ネットワーク/ポート セッテイ つづき）

★F

システム　セッテイ
オト　ノ　セッテイ
セイジョウ ニュウリョクオン
ナラサナイ*、
ナラス
イジョウ ニュウリョクオン
ナラサナイ、
ナラス*
ジュンビ　カンリョウオン
ナラサナイ、
ナラス*
セイジョウ シュウリョウオン
ナラサナイ*、
ナラス
イジョウ シュウリョウオン
ナラサナイ*、
ナラス
イジョウ　ケイコクオン
ナラサナイ、
ナラス*
ヨウシギレ　ケイコクオン
ナラサナイ、
ナラス*
トナーザンリョウ ケイコクオン
ナラサナイ、
ナラス*
キテンオン
ナラサナイ*、
ナラス
ソウサパネル　セッテイ
ソウサパネル　セイゲン
シナイ*、
スル
アンショウバンゴウ
セッテイ
ゲンザイノ　バンゴウ
[0000]
アタラシイバンゴウ
[0000]
もう一度入力し、
2回入力した番号が一致
したら、[アンショウバン
ゴウ　セッテイ]に戻る
テイデンリョク　モード
ユウコウ*、
ムコウ
テイデンリョクイコウジカン
1フンゴ*
1～60分後:1分単位
スリープ　モード
ユウコウ*、
ムコウ
スリープモードイコウジカン
1フンゴ*
1～120分後:1分単位
タイムアウト
30ビョウ、
オフ*
5～300秒:1秒単位
ジドウ　ジョブリレキ
プリント　シナイ*、
プリント　スル
レポートリョウメンプリント
カタメン*、
リョウメン
バナーシート　セッテイ
バナーシート　シュツリョク
シュツリョクシナイ*、
スタートシート、　エンドシート、
スタート+エンドシート
バナーシート　トレイ
トレイ1*、
トレイ2、　トレイ3、　トレイ4、
テザシトレイ
トナージュミョウ
プリントテイシ シナイ*,
プリントテイシ スル
ミリ/インチ　キリカエ
ミリ(mm)*、
インチ(")
HDDノ　ウワガキ　ショウキョ
3カイ*、　1カイ、　シナイ
ホンタイ　ニンショウ
シナイ*、
スル

次ページ★Gへ→

前ページから★G (システム セッテイ つづき)

次ページ★Iへ→

前ページから★I（プリント セッテイ つづき）

★J

★K

★L